



第8回アジア太平洋都市サミット
報 告 書

大連市

(2008 年 9 月 28 日～9 月 30 日)



アジア太平洋地域は、経済成長が著しい地域として世界の中で注目を浴びています。しかしその一方で、都市においては活発な経済活動に伴う人口集中等による様々な「都市問題」が深刻化しています。

このような状況にあって、「アジア太平洋都市サミット」は、アジア太平洋地域の諸都市の首長が一堂に会し、率直な意見交換等を行うことにより都市の友好親善はもちろん、都市問題の解決に向けた相互協力、更には相互の都市の一層の発展に向けたネットワークの構築を図ることを目的に、1994年から隔年で開催されています。

9月28日(日) 共同会見、歓迎夕食会



9月29日(月) 全体会議、基調講演、分科会



9月29日(月) 全体会議、基調講演、分科会



9月30日(火) 市内視察等



共同事業：大連－バンコク－福岡 まちづくり市民交流ワークショップ



目 次

I 会 議 概 要

(1) 会 議 の 名 称	1
(2) 開 催 期 間	1
(3) テ ー マ	1
(4) 会 場	1
(5) 主 催	1
(6) 使 用 言 語	1
(7) プ ロ グ ラ ム	2
(8) 会員都市位置図	4

II 会 議 内 容

1 全体会議

(1) 開会の言葉	5
(2) 来賓挨拶	10
(3) 基調講演者プロフィール	12
(4) サミット提唱都市挨拶	14
(5) アジア太平洋都市サミット事務局事業説明	15

2 分科会（会員都市のみ掲載）

分科会の発表原稿につきましては、都合によりアジア太平洋都市サミット事務局で要約しております。なお、全文につきましては、追ってホームページに掲載する予定です。詳しくは事務局までご連絡ください。

(1) 釜山市（韓国）	19
(2) 光陽市（韓国）	24
(3) 広州市（中国）	28

(4) 北九州市（日本）	35
(5) 熊本市（日本）	40
(6) 浦項市（韓国）	46
(7) 福岡市（日本）	48
(8) 宮崎市（日本）	52
(9) 長崎市（日本）	57
(10) 上海市（中国）	60
(11) ウラジオストク市（ロシア）	61
(12) ウルムチ市（中国）	64
3 APCS 共同事業：APCS Charm Hunting Workshop 3	
(1) スケジュール	71
(2) ワークショップ概要	72
(3) 福岡市・バンコク都からの提言	73
(4) フォトマッピングセッションから気づいたこと	74
Ⅲ 共 同 宣 言	75
Ⅳ 参 加 者 名 簿	76
Ⅴ サ ミ ッ ト 規 約	84
Ⅵ 参 考 資 料	
(1) 実施状況	88
(2) 新聞報道記事等	89

I 会議概要

(1) 会議の名称

第8回アジア太平洋都市サミット
The 8th Asian-Pacific City Summit

(2) 開催期間

2008年9月28日(日)～9月30日(火)

(3) テーマ

全体テーマ： 「アジア太平洋先進都市～環境、資源、文化及び
産業に関する新思考～」

分科会テーマ： ・アジア太平洋をリードする都市の地域的責任と地域協力
・現代都市資源の利用と管理
・都市における経済社会の持続可能な発展と環境保護
・現代都市文化の継承とイノベーション
・自然の恵みと都市産業の選択
・知識所有権の保護
・都市生態の保護
・都市の交通

(4) 会場

フラマホテル大連
中国大連市人民路60号

(5) 主催

中国大連市

(6) 使用言語

5か国語（中国語、英語、日本語、韓国語、ロシア語）

(7) プログラム

9月28日(日)

18:00～18:30	共同会見
18:30～20:00	歓迎夕食会

9月29日(月)

8:30～9:00	共同会見
9:00～11:45	全体会議 歓迎挨拶…大連市長 夏徳仁 (Dr. Xia Deren) 挨拶…中国人民対外友好協会副会長 李建平 (Mr. Li Jianping) 挨拶…韓国前総理 韓明淑 (Mrs. Han Myeong-sook) 基調講演1 “クリエイティブエコノミーの父” Mr. John Howkins 基調講演2 学校法人立命館理事長 長田豊臣 (Mr. Nagata ToyoOmi) 挨拶…福岡市長 吉田宏 (Mr. Yoshida Hiroshi) アジア太平洋都市サミット事務局報告 新入会員表決
11:45～12:00	参加都市代表者記念撮影
12:10～13:00	昼食
13:30～17:50	分科会 釜山広域市(韓国) 政務副市長 郑乐亨 (Mr. Jeong lak hyeong) 光陽市(韓国) 市長 李聖雄 (Mr. Lee Sung-woong) チェレムホボ行政地区(ロシア) チェレムホボ行政地区経済部長 Mr. Dmitry Khorokhonov 広州市(中国) 広州市都市計画局設計所副所長 Mrs. 黎亦众 北九州市(日本) 副市長 麻田千穂子 (Ms. Asada Chihoko) 熊本市(日本) 副市長 森田弘昭 (Mr. Morita Hiroaki) 浦項市(韓国) 市長 朴承浩 (Mr. Park Seung-ho) 福岡市(日本) 市長 吉田宏 (Mr. Yoshida Hiroshi) 宮崎市(日本) 市長 津村重光 (Mr. Tsumura Shigemitsu) 長崎市(日本) 副市長 椎木恭二 (Mr. Shinoki Kyoji) 上海市(中国) 上海市政府副秘書長 尹弘 (Mr. Yin Hong) ウラジオストク市(ロシア) 副市長 Mr. Zubritskiy Alexander トムスク市(ロシア) 第一副市長 Mr. Nikolaychuk Nikolay ウルムチ市(中国) 市長 吉尔拉・衣沙木丁 (Mr. Jierla Yishamuding) ロサンゼルス郡(米国) Mr. William Allen, President & CEO of the LAEDC Mr. Vance Baugham, President of the WTCA ボラレスガムワ市(スリランカ) 市長 Mr. K.D. Aruna Priyashantha
17:30～17:40	質疑応答
17:40～17:50	議長総括
18:00～19:30	大連市人民政府歓迎レセプション

9月30日（火）

9:00～12:00	市内視察 東海公園広場－北大橋－星海湾広場－大連 Ascendas IT パーク
12:00～13:00	昼食
13:00～17:00	市内視察 経済技術開発区－童牛嶺展望台－金石灘国家観光リゾート－金石ゴルフ場－モデル学校

サミット共同事業：APCS Charm Hunting Workshop 3

9月29日（月）

10:30～17:00	1. 福岡市からの事例発表 <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市の概要 ・天神における魅力作りの取組 ・Green Bird 福岡の活動とまちづくり ・博多における魅力ある駅づくり・にぎわいのあるまちづくり ・バンコクで行ったワークショップ成果の応用及び共働まちづくりについて 2. 大連市の中心商業地区の現状と課題発表 <ul style="list-style-type: none"> ・大連市天津街における魅力づくり Walking Tour 天津街チャーム・ハンティング・ツアー <ul style="list-style-type: none"> ・天津街担当者と街歩き「魅力」の写真を撮る
-------------	--

9月30日（火）

15:00～17:00	Workshop 大連の魅力ワークショップ “Creating New Value” <ul style="list-style-type: none"> ■魅力プレゼンテーション：写真説明・発表 <ul style="list-style-type: none"> ・福岡から見た天津街（チーム福岡7名） ・バンコクから見た天津街（バンコクゲスト2名） ■フォトマッピングセッション：写真配置比較
-------------	--



Ⅱ 会議内容

1. 全体会議

(1) 開会の言葉

都市の持続可能な発展を重視し

北東アジアの新しい先進都市を建設する

大連市長 夏徳仁

尊敬する韓明淑前韓国総理、尊敬する李建平副会長、尊敬する各都市の市長の方々、ご来場のみなさま

おはようございます。本日この美しい大連で、みなさまとお会いできたことを非常にうれしく思います。この度のアジア太平洋都市サミットは、非常に重要な会議です。その上、とても大事な時期に開催された会議でもあります。現行の世界は、いろいろな問題に直面しており、とりわけアメリカのサブプライム危機による世界経済の停滞は、アジア太平洋地域の発展にとって大きな困難となりました。このような特殊な時期に、市長の皆様がここ大連に一堂に会し、アジア太平洋地域の都市発展のこれからを展望し、都市間の協力を検討することは、非常に有意義なことだと私は考えています。この度の会議の重要性は、都市一つに限ったものではなく、アジア太平洋地域をも越えるものになると思います。今後のアジア太平洋地域の発展と、世界経済の発展にとっても大きな影響を及ぼすものになると私は思います。

大連の状況を簡単にご紹介します。

大連は中国の東北地方に位置する重要な都市で、遼東半島の最南端にあります。三方を海に囲まれ、背後には中国の東北地方があります。大連の面積は1万2500平方キロメートルで、人口は608万人です。

大連は北東アジアにおいても、重要な国際水上輸送センターで、世界160以上の国と地域の300以上の港と貿易関係を結んでいます。大連国際空港は、東北地方最大のターミナル空港で、開通しているラインは133ライン、去年の国際旅客数は、中国で第4位でした。大連は国際化のレベルの高い都市で、現在外資系企業1万2900社あまり、そのうち世界トップ500にランクインする88の会社が200近いプロジェクトを投資しました。実際の外資利用額は300億ドル以上に及びます。

大連のサービス業も急速に発展しており、すでに中国の会議展示センターとなりました。ここ数年、APEC高官会議、アジア・ヨーロッパビジネスフォーラムやWTO非公式閣僚会合などを開催し、昨年は夏期ダボス会議を行いました。ダボス会議は今年、天津で行われ、来年は大連で再び開催されます。大連は自然環境も美しく、国連グローバル500、世界人間居住環境賞、中国環境保護模範都市などの称号を獲得しました。2007年には、中国最優秀旅行都市の称号も獲得しました。

みなさま、今回の会議は、「アジア太平洋先進都市—環境、資源、文化及び産業に関する新思考」をテーマとし、経済グローバリゼーションの下での、アジア太平洋地域の先進都市の地域責任と地域協

力、そして現代都市が発展する上で直面する問題や新思考を議論するもので、本日のような経済情勢の下では、非常に重要な意味を持つと私は思います。この会議は、アジア太平洋地域の交流と協力、そして都市の発展にとって、大きな推進となると私は信じています。

都市の持続発展に注目し、新たな産業先進都市を作りあげることについて発言します。

1. 都市は経済発展の原動力である。

都市は空間と環境の利用を基礎として、経済効果の集約、人類の進歩を目的とする、人口、経済、文化そして科学技術などが集まった空間的なシステムです。都市は人口が集まった場所だけでなく、生産額を構成する各要素が集まったものでもあります。1900年には世界では、14%の人が都市で生活していましたが、今では半分以上の人が都市で生活しています。多くの国の都市では80%以上の就業チャンスと経済成長に貢献しています。

中国では都市人口は5.94億人に達し、都市化の比率は44.9%に達しました。全国のGDPの70%、税金の80%以上は都市が生み出しています。現在、主な先進国の都市は2%の国土面積をもって、97%以上の富を生み出しています。中国には現在600あまりの都市があり、これらは1%未満の面積で、70%以上のGDPを生み出しています。都市は経済を発展するための最も重要な場であり、経済が持続的により速く成長するために、最も大事な位置を占めます。

都市は発展を続ける地域空間として、文化、生態、人口などが集まった総合的な産物です。都市は経済の発展とともに発展し、また逆に、経済の発展によって、大きな要因にもなります。中国を例にしますと、中規模の都市の都市化水準が、1%上がるごとに、農村の労働力14万人を吸収することができます。都市化が1%上がるごとにGDPは1.5%上がります。経済や社会の発展にとって、都市は決定的な役割を果たしています。国や地域にとって必要不可欠な原動力です。都市の文明は国の文明を代表していて、都市の成功のみが国の成功につながるのです。

2. 都市の人と自然の共存を求める。

現在、新興都市の人口の増加と、大都市の加速度的な発展が、世界の都市化の2つの主な特徴です。都市の誕生と発展は、経済の発展と社会の進歩を現しているわけではありますが、そのような発展の中で、多くの問題にも直面しています。例えば環境汚染、ヒートアイランド効果、水資源やエネルギーの不足、交通問題、住宅問題、就業などの問題です。これらの問題を解決するには、昔の発展様式を変え、人と自然の共存を求めなければなりません。

改革・開放以来、経済の高速な発展により、中国の都市化も加速度的に発展してきました。しかしそれと同時に、都市の増大、人口の増加、渋滞、環境問題、エネルギーの不足などを特徴とする、「都市病」も生まれました。先進国がかつて歩んだように、「生産してから整備する」という道を歩むのか、それとも経済と社会が共存し発展する道を進むのか。これはすべての都市のリーダー達が直面する重大な選択であります。

大連はかねてより、この都市を人と自然が共存する都市として位置づけ、それを実現するために努力をしてきました。大連は生態型都市の建設を、持続発展の戦略の重要な一環とみなし、環境の建設を都市計画の各方面に行き渡らせました。生態文明という立場から、都市の発展と経済を測る視点を確立しました。生態型都市に関する企画と要綱などもうちだしました。都市の人口、経済の発展、都市のレイアウトと産業構造の融合、そして自然資源の保護と開発などの問題に際し、大連は国と国際

的に通用する原則をうちだし、それを徹底させました。その結果、都市建設、経済の発展、環境保護を統一させ、省エネかつ環境にやさしい工業システムを確立し、効率の高い経済システムを確立しました。そして社会文化、居住面でも目覚ましい成果をあげました。

大連の歴史を振り返ってみると、これらの成果の取得は、環境汚染への対処、企業の移転作業、緑化作業、住民の住宅プロジェクト、汚染整理プロジェクトを抜きにして語ることはできません。20世紀、90年代以来、大連では汚染企業に対し、移転を命じ、大連鉄鋼工場、大連石油化学工場、大連セメント工場など、200あまりの企業を移転しました。セメント企業36社を閉鎖しました。今年は、パルプ製紙業などの企業を20社閉鎖しました。このような移転や改造を通して、産業構造の合理化につながり、都市部の産業の高度化と、都市が海に向かって発展することを促しました。今まで海に臨んでいても、海の恵みを利用できなかった問題を解決し、大連のビクトリアハーバーを建設し、都市の持続可能な発展のために新たな活力を生み出しました。また大連では、多くの省エネ措置を測定し、汚水処理場を11ヶ所新たに建設、または改造しました。汚水処理能力は90.3万トンで、市街地の汚水処理率は90.4%に達しました。また、生態・居住面でも力を入れ、去年のGDP1万元あたりの総合エネルギー消費は4%下がり、廃棄物は3.4%下がりました。現在、都市部では、1人あたりの緑地は11.1㎡で、都市の緑化被覆率は43.3%に達しました。2001年、イタリアのトリノで、大連は美しい自然環境と、暮らしやすい生態環境をもって、国連の「グローバル500」という称号を獲得しました。

3. 新たな情勢の下での都市産業の新思考

経済の要素を集約させるのは、都市化の主な動力の一つですが、都市化の過程において、産業の集約は都市の経済成長と繁栄を促す大きな原動力です。そのため新たな情勢の下での産業新思考を確立させ、循環型経済、そして自身の特色にかなった経済を確立させ、それをもって競争力を形成させることは、より一層大事なことになります。我々はいくつもの面でこれに取り組んでいます。

(1) 海岸線の資源を利用して、産業構造の調整を行う。

都市の資源はその都市がいかに関発展するかを決定する重要な要素です。資源を十分に利用することは、人と自然の共存を促すだけでなく、都市化を推進するものでもあります。そして都市の競争力を高めることにもつながります。2004年大連では、海に近く、港があるという資源を利用し、重点産業を大連全域に行き渡らせるプロジェクトを実施しました。黄海、渤海の海岸線沿いに工業地区を建設し、大型企業を順次、北の地区に移転させ、その移転の過程において、循環型経済システムの確立に気を配りました。こういった操作と同時に、都市空間をも広くし、都市の発展を推進しました。移転した後、大連の都市の中心部はすべて、サービス業の発展に使われます。

2007年、船舶業や機械製造業の発展を促すために、工業地帯の建設を始めました。大連湾保税港区、大連自動車埠頭、そして保税港区などの地域を利用し自動車産業やデジタル産業を重点とする、臨港経済集約地区を建設し、そして大連湾の海岸線をもとに、大型機械を重点とする臨海集約を構築しました。そして北は長興島、南は旅順に至るまでの海岸を利用し、船舶業を重点とする産業ベルトを建設しました。これにより大連の競争力を一層高めることができました。今年の初めには、沿海経済ベルトの開発を再度行いました。このベルトにアジアでも重要なIC産業基地を建設し、大型石油化学基地や国家レベルの高品質鉄鋼材の基地なども建設しました。これ

らの新思考により、土地の配置を合理化させ、もともとの工業局面を改善し、国際的にも競争力をもつ現代的な産業基地を建設しました。企業の移転や、産業の改造のなかで、大連は生態環境にも注目し、夏家河海浜公園、前関湿地公園、大黒石海浜公園、大連湾森林公園、旅順国家森林公園、西郊国家森林公園などを建設しました。ここ2年間で建設した森林公園の総面積は、300平方キロメートル以上に達しました。これらの生態的なプロジェクトを通して、都市と緑が融合した生態的な都市を作りあげることができました。

(2) 自分のアドバンテージを活かし、世界的な産業転移を受け入れる。

経済のグローバル化の下で、世界的な産業の移転はさらに進むものとみられます。アジア太平洋地域の都市は、目覚ましく発展している時期にあり、独特なアドバンテージを有しており、これから世界資金が移転する重点的な地域となることが予想されます。

大連はかねてから自身のアドバンテージを活かし、投資環境の整備に努めました。現在新たな産業移転を受け入れるホットな地域になりつつあります。去年総投資額 60 億ドルのインテルプロジェクトは、すでに 25 億ドルが投入され、2010 年に生産が開始されると、大連がアジアでも最も重要な超大型集積回路の産業基地になることが予想されます。また大連湾保税港区、大連自動車埠頭などには、ドイツフォルクスワーゲンのエンジン、トランスミッションなどの企業が集まっており、すでに中国国内最大のエンジンや部品製造基地になりつつあります。また、渤海沿岸では STX 造船、万邦修造船、中远造船などの造船企業や、海洋プロジェクトなどを建設しました。海洋プロジェクトというのは、石油採掘に使われるものです。2012 年には、大連の船舶生産能力は 1200 万トンになり、世界の 20%を占めることが予想されます。その時には、世界で最も重要な船舶基地になることが予想されます。また有名な物流企業も大連に進出しました。アメリカのプロロジス、日本の伊藤忠商事などがそうです。大連湾保税港区は、物流業が集結するエリアになりつつあり、都市の持続可能発展のために、大きな原動力となり、これからの国際競争で勝ち残るためにも大きなバックアップとなります。

(3) 時代の先に立ち、新たな先進都市を作りあげる。

ハイテクノロジー産業を発展させることは、現在世界各国が追い求めていることではありますが、アジア太平洋地域の都市が特に力を入れていることでもあります。ソフト産業や情報サービス業は付加価値が高く、汚染がなく、エネルギー資本も少ないなどの特徴をもっています。今や世界的に人気な産業になっています。大連ではソフトやサービスのアウトソーシング先進都市を作りあげるという目標を掲げ、関連の園區の建設、人材の育成などの措置をうちだしました。

1998 年以来、大連の IT 産業、とりわけソフトウェア産業はゼロから始まり、発展を経て、すでに北東アジアのソフト情報産業センター、対日本ソフトアウトソーシングセンター、国家レベルのソフト模範基地になりました。高進技術園區には 30 以上の世界トップ 500 の企業が集まり、本土のソフト企業 271 社、オリエンタルソフトなど、3 つの本土企業は 4 年連続でソフトの輸出ベスト 3 になっています。去年のソフトの売上は、410 億元に達し、50%の成長を見込みました。今年には 300 億以上に上ることが予想されます。高進技術園區だけでも、年売上 100 億以上、輸出 6 億ドル以上が見込まれます。現在、旅順などの産業ベルトには、522 社のソフトや情報サービス企業が集まっており、そのうち雇用者が 1000 人以上の企業は 22 社に達します。

現在、大連は、さらに環境や政策の整備に力を入れていて、大企業を育てることに余念があり

ません。旅順などの産業ベルトの建設をこれからも推進していくつもりです。我々は 2012 年までに、ソフト企業を 2000 社以上にし、1 万人以上の大型企業を 5 社以上、5000 人の企業が 10 社以上、総雇用者が 20 万人、年売上が 700 億円になることを目標にしています。国内最大のソフト、アウトソーシング企業を建設し、産業の競争力では、中国トップを実現します。2017 年までに、産業規模や総合実力で、世界トップレベルに達し、大連を真の意味で中国のシリコンバレーに仕上げるつもりです。

市長の皆様、世界経済のグローバリゼーションに伴い、都市間の交流はより緊密なものとなりました。アジア太平洋地域には巨大なポテンシャルを秘めた都市が集まっています。現在、各都市は共同で同じようなチャンスに直面しており、同様にチャレンジにも直面しております。世界経済情勢が不穏な中、我々の交流や協力はとりわけ大事になります。本日の会議が、アジア太平洋地域の都市にとって、さらに協力そして交流を進める土台になればうれしいです。

我々がより交流し、より深く協力すれば、各都市がより一層発展すると私は確信しています。我々が手を取り合い、共同で発展し、**win-win** を構築し、アジア太平洋地域の未来を作りあげましょう。

どうもありがとうございました。

（２）来賓挨拶

李建平 中国人民対外友好協会副会長

尊敬する韓明淑女士、尊敬する夏徳仁市長、尊敬する市長の方々、貴賓の皆様、

第8回アジア太平洋都市サミットは本日大連で開催される運びとなりました。中国人民対外友好協会と中国国際友好都市連合会を代表いたしまして、夏徳仁市長ならびに今般の会議にご出席賜りましたアジア太平洋地域の指導者の方々に熱烈なる祝賀の意を表したいと思います。

中国にとって 2008 年というのは極めて特別な年です。今年、いくつかの注目すべき事柄が起きています。一つ目は、終わったばかりのオリンピックです。北京オリンピックはスポーツのイベントだけでなく、中国国民が世界の国民と友好交流を展開する重要なプラットフォームでもあったわけです。その成功裏の開催は、中国の国民が世界の国民と共同で平和と協力を追求し、友情と発展を友に勝ち取る意欲の表れでもあります。神舟 7 号は昨日の午後、安全に中国に戻ってきました。これもまた、記念すべきことです。今年は、中国の改革・開放 30 周年の記念すべき年にもあたります。過去 30 年間に於いて中国は経済、政治、文化、社会発展のあらゆる分野において、著しい成果をあげています。ここで特に指摘すべきは、大連は我が国の成功を取得してきたモデルの一つだということです。

大連は今まで対外型経済発展を発展の重点に指名し、絶えず都市レベルをアップしていき、都市化がどんどん進展し、都市の顔ぶれがますます進化しています。経済社会はより良く、より速く発展しています。しかし、先ほど夏市長がご指摘されたように、大連市は現段階の実績に満足、あるいは陶醉しているのではなく、より実務的な態度で、前へ前へと邁進し、国民の生活を重視し、経済のさらなる発展を追求しています。

このような歴史的な瞬間において、大連市は今般のアジア太平洋都市サミットを開催することになりました。42 に上るアジア太平洋都市地域の主要都市の指導者の方々が一堂に会して、アジア地域の経済、社会、文化の分野について交流し合い、意見を交換しあうことは極めて重要なことであり、有意義なことであります。出席者のほとんどは、この地域の各都市の市長です。環境、資源、文化及び産業のイノベーション、新たな思考パターン等の分野において、みなさまは極めて貴重な経験をもっておられます。交流とコミュニケーションを通じて、成功の経験を勉強しあい、ブレインストーミングを通して新たな成果を生み出すことが予想されます。またそれぞれお帰りになった後、それぞれの都市において新たな局面が開かれることになるかと存じます。

中国は現在、大規模な都市化のプロセスの中にあります。都市化のレベルはどんどん高くなっています。都市の総数はすでに 656 にも到達しています。都市間の交流はますます重要性を増しており、民間交流の重要なコンテンツにもなりつつあります。35 年の発展を経て中国は世界各国と様々な形で協力関係を組み、友好都市の数はすでに 1500 を突破しています。中国人民対外友好協会は国务院の委託を受けて、都市協力を主管する部門として、今後も一貫的にみなさまの間の協力・発展をサポートしていきたいと思っています。協調のとれた世界の構築のために、一緒に努力しようではありませんか。会議の成功をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

韓明淑 韓国前総理

第8回アジア太平洋都市サミットの開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。夏市長、李副会長、友人のみなさま、今般このような形で歴史の悠久な大連において、このような素晴らしい会議に参加できて、大変うれしく存じます。北京オリンピックが成功裏に開催されました。中国人の1000年に及ぶ夢が実現されたわけです。夢が現実になりました。北京オリンピックの開催成功は中国人だけでなく、アジア人共通の誇りです。オリンピックの感動がまだ記憶に新しい中、私たちは悠久な歴史と文化を有し、非常にきれいな環境と良好な治安で有名な大連に来ることができ、第8回アジア太平洋都市サミットに参加することができ、大変光栄に存じております。

私はここまで10年間にわたり女性部長官、環境部長官、国務総理を歴任し、他のいかなる人よりも東アジアの発展と相互交流に大きな関心をもっておりました。とりわけこのような会議は私にとって極めて重要であります。21世紀は開放された世紀です。21世紀の都市は閉ざされた空間ではありません。これは多くの人種、文化、産業が共存し、交流を深める舞台です。科学技術と通信技術の日進月歩な進歩に伴い、世界の都市は現在リアルタイムに結ばれています。パソコンをつければ、世界中の情報が入ってきます。私が今住んでいるソウルから大連までは1時間の距離しかありません。国と国、都市と都市、人間と人間の間の距離は未曾有に縮められています。21世紀において、都市、あるいは地域の境界線はますます異なる意味をもつようになったわけです。在来の意味がますますなくなっています。中国の問題が韓国の問題となり、韓国の問題は中国、そしてアジア太平洋地域全体の問題となるような時代が訪れています。このような中で我々がよりオープンな態度で、虚心坦懐で互いに意見を聞きあい、共通の青写真とソリューションをともに探るべきでしょう。これは単なる指導者の問題だけでなく、この地域の各国、各分野の産業界、及び国民の共通の努力が求められる時代です。アジア太平洋地域は現在、21世紀の世界経済を主導する新しい成長センターになりつつあります。この地域は都市のスプロール化、急激な膨張により発生した人口の流入、及び環境問題に取り組んでいますが、様々な矛盾も起こっています。皆様はよくご存じだと思いますが、気候変動、温暖化、地震、津波などの問題がはびこっています。様々な災害が絶えず発生しています。これは自然のルールを無視した、過度な開発による自然の人類に対する罰ではないかと私は考えています。今後は開発の中で、より良い環境との協調が求められることになるでしょう。今般の会議においてもこのようなテーマが設定されており、議論されることを期待しています。我々の会議は関連の重大なテーマについて真剣に取り込み、有益な成果が得られることを切に期待しています。

大連は600万人を有する大都市です。北東アジア地域を代表する国際海上輸送のセンターとして、すでに160以上の国と地域に航路が開通しており、ますます中国の都市からアジアの都市、世界の都市へと成長を遂げています。先ほど、夏市長も言われましたように、大連市は製造業だけでなく、IT、アウトソーシングの新しい中心地にもなりつつあります。これは大連のことだけでなく、今回の会議に参加されているすべての地域もおそらく大連と同じような成長の成果、あるいは悩みを経験されていると思います。そのために今回の会議は意味深いと思います。今回の会議のテーマは、「環境、資源、文化及び産業に関する新思考」です。著名な学者、指導者の方々も参加されていて、様々なイベント、セミナーが用意されています。今回の会議は、会員都市、オブザーバー都市の交流の機会だけでなく、協力をさらに展開していく大きなプラットフォームになると期待しています。

最後になりますが、今回の会議に多大なご尽力をされました大連市政府の関係者に感謝申し上げます。今回の会議開催のために多大な努力をされた薄熙来元書記に対しても感謝申し上げます。人間と

人間、都市と都市、国家と国家の努力が合流して、その相乗効果が期待されます。ありがとうございました。

(3) 基調講演者プロフィール

1. ジョン・ホーキンス

ジョン・ホーキンスは、ITR コンサルタントと John Howkins & Co, BOP コンサルタントの会長で、クリエイティブエコノミーの世界的発展の中心人物である。彼はまた、上海創造産業協会の監査官でもある。

ジョン・ホーキンスは新思考の世界的発展の立役者である。2001 年に出版された彼の著書、“**The Creative Economy**”は新しい経済に関する初めての報告となった。それ以来、彼は多くの世界的企業、国際機関、政府、企業を相手にコンサルタント業務を行ってきた。

現在、彼は、中国の **Shanghai School of Creativity** とイギリスのリンカーン大学の客員教授である。彼は上海創造産業と上海創造産業センターの顧問である。ジョン・ホーキンスの ITR オフィスは、北京の国際創造産業同盟のメンバーとなっている。

彼は創造性、革新、知的財産における「アデルフィ憲章」のディレクターをしている。彼は現在“**Own It**”と呼ばれているロンドン知的財産相談サービスを考案した。

彼はロンドン証券取引所の新興企業向け市場 AIM (エイム) (*Alternative Investment Market*) に上場している映画と権利の所有者、**HandMade plc** と **Hotbed Media Ltd.**のディレクターである。彼は、テレビ、映画、デジタルメディア、出版分野の経歴をもつ。ITR & Co のディレクターとして、ABC、BBC、CBS、欧州委員会、IBM、ニューズ・コーポレーション、NHK、RAI、上海創造産業協会、**Sky TV**、ソニー、タイム・ワーナー、ユニバーサル・スタジオなどの顧客に助言をしてきた。彼はオーストラリア、カナダ、中国、フランス、ギリシア、インド、イタリア、日本、ポーランド、シンガポール、イギリス、アメリカを含む 30 以上の国で働いてきた。

彼はヨーロッパで 1982 年から 1996 年まで HBO 及びタイム・ワーナーのテレビ関係の仕事に関わっていた。彼は **British Screen Advisory Council (BSAC)** の副委員長、**Creative Economy** に関する国連諮問委員会のメンバー、ロンドンフィルムスクールの元委員長、国際通信学会 (IIC) の前事務局長、フリープロデューサー教会の副委員長である。

2. 長田豊臣

学歴

1962 年 立命館大学文学部史学科西洋史学専攻卒業

1965 年 立命館大学大学院文学研究科修士課程西洋史学専攻修了

1993 年 立命館大学文学博士

職歴

(立命館大学での職歴)

1965～70 年 立命館大学文学部助手

1970～79 年 同文学部助教授

1979 年～ 同文学部教授

1993 年～97 年 文学部長

1997 年～98 年 立命館副総長・副学長

1999 年～2006 年 立命館総長・立命館大学長

2007 年～ 立命館理事長

(他大学での職歴)

1974 年～76 年 プリンストン大学客員研究員(アメリカ学術会議(ACLS)招聘研究員)

1984 年～85 年 コロンビア大学およびニューヨーク市立大学客員研究員(フルブライト上級交換教授)

1988～89 年 New School for Social Research 附属社会変動研究所客員研究員(アメリカ学術会議(ACLS)上級招聘研究員)

※基調講演の内容については、別途ホームページにて掲載予定

(4) サミット提唱都市挨拶

福岡市長 吉田宏

本日ここ大連市にて、アジア太平洋地域をはじめヨーロッパや北米を含め多くの都市にご参加いただき、第8回アジア太平洋都市サミットが開催されますことを心からお喜び申し上げます。私は、本サミットの提唱都市、事務局都市の市長としてご挨拶させていただくことを大変光栄に思いますとともに、まず今回の会議の準備のため、ご尽力くださった夏市長をはじめ大連市の皆様に深く感謝申し上げます。

本サミットは、アジア太平洋地域の首長が一堂に会し意見交換を行うことにより、急激な経済成長に伴って発生する都市問題の解決に向けて、都市間ネットワークの構築を図ることを目的として1994年に創設されました。21世紀の幕開けを経て、アジア太平洋地域は急速な成長を続ける一方で、環境問題などの課題もかかえており、今回のメインテーマの「アジア太平洋先進都市～環境、資源、文化及び産業に関する新思考～」は、まさに時宜を得たものと考えております。このアジア太平洋という地域が躍動し、世界の発展の一翼を担っていく。これは、世界の他の地域からも強く期待されているところであります。

本サミットは、事業の充実を図るため、2006年から事務局を本市のシンクタンクであります福岡アジア都市研究所に設置し、取り組みを進めております。

例えば、今回大連市の行政と福岡の市民の協働により、まちづくりのノウハウを提供し都市の魅力を向上させるワークショップが、サミット開催中にここ大連で行われます。これは、行政同士だけではなく、行政と民間が国境を越えて連携するというもので、昨年バンコク市での共同事業に引き続き開催されたものです。これは、本サミットによるネットワーク事業の着実な成果のひとつであり、後ほど事務局より報告が行われることとなっております。

今回のサミットでは大連市のご英断により、会員都市だけではなく、広くアジア太平洋地域に関心を持っておられる他の地域の都市の皆様にも参加を呼びかけておられ、この機会に従来の枠を超えた都市の間で都市問題の解決にあたっての情報共有が進み、それが更なるネットワークの構築に繋がることを願ってやみません。

最後に、第8回アジア太平洋都市サミットの成功、夏市長をはじめとされます地元大連市の皆様方のご健康、ならびに参加各都市の一層のご発展を心から祈念いたしまして、ご挨拶の言葉とさせていただきます。謝謝。

(5) アジア太平洋都市サミット事務局事業説明

福岡アジア都市研究所 理事長 樗木 武

私ども福岡アジア都市研究所は、2006 年から福岡市と共にアジア太平洋都市サミットの事務局を務めさせていただいております。前回 2006 年 8 月に、ウルムチ市で開催されましたサミットでは、福岡市長から今後のサミットの充実についての提案を行い、会員都市の皆様のご同意を頂きました。このため、事務局では、これらの提案を実現していくための取組を進めております。本日はその活動の一部を紹介させていただきます。

まず私どもが取り組みましたのは、会員都市の皆様のお話をお聞きすることです。2007 年前半に、ここに上げております 23 都市に直接お伺いしました。また、訪問出来なかった都市には、文書で調査をさせていただきました。そして、それぞれが抱えるニーズやシーズを始めとして、都市サミットの管理・運営に関する事など、大変有意義な意見交換を行うことが出来ました。

サミットに求められているテーマとして代表的な声をご紹介しますと、4 つのことがあげられます。

まず第 1 に、環境保護教育・啓発です。東南アジアを中心として最も多くの都市から要望がございました。

2 つめが街の美化についてです。これは、市民の街を愛する気持ちや、市民による清掃活動、町並み、景観など多様な課題を含みます。

3 つめは、市民参加の推進です。今申し上げたような環境問題への対応などを含めて、多様な取り組みを行う NGO 等の組織の活用問題などが含まれます。

そして 4 つめは、ゴミ処理の問題です。アジアでは埋め立てが主要な処理方法となっている都市が多く、それに関連して、悪臭や土壌・水質汚染などの問題が挙げられました。

そこで、2007 年 7 月に、こうした意見を踏まえ、北九州市に主催をお願いして第 7 回の実務者会議を開催いたしました。

全体テーマは 「住民による美しいまちづくりと都市の魅力」 です。その上で、

第 1 部会では 「環境啓発・教育による 3R=Reduce, Reuse, Recycle の推進」

第 2 部会では 「持続可能な 3R のしくみと環境ビジネス」

第 3 部会では 「美しいまちづくり 中心市街地の活性化と官民の役割」、

としたところです。第 1、第 2 部会のテーマについては、主催いただいた北九州市が、環境の分野では世界の最先端を行く都市であり、大変充実した内容となりました。参加者アンケートによると 7 割以上の方が市政の参考になったとの回答であり、1 割前後の方は、実際に市の施策などに取り入れたいと回答がありました。第 3 部会は、福岡市における市民協働のまちづくりを紹介し、ワークショップと併せて企画したものです。

また、視察は、エコタウン、安川電機ロボット工場、および環境ミュージアムなど、世界でも先進的な場所や施設を見学し、参加者に満足いただいたところです。

最終日は、福岡市で、先に紹介しました実務者会議の第 3 部会とセットである、“美しいダウンタウンと市民参画” と題した「APCS まちの魅力探索ワークショップ第 1 弾」を開催しました。写真に見られますように、市民とともに、市民によるまちづくり活動の現場を体験したところです。

また、これは直接の実務者会議ではありませんが、関連事業として、福岡に事務所がある国連ハビ

タットの主催で「アジア都市ジャーナリスト会議」を開催しました。

参加者は都市サミット会員都市の主要新聞社の方々です。タイ、インドネシア、シンガポール、ベトナム、フィリピン、マレーシア、中国、韓国、日本の各新聞社 11 社にお集まりいただきました。実務者会議の全てのプログラムにも参加いただくとともに、活発な意見交換会が行われました。その結果、帰国後に記事を作成されるなどで、都市サミットの成果が多くの国の多くの人々に伝わり、大変実り多いものであったといえます。

なお事務局では、これらの事業について、実務者会議参加者にアンケートを行い、分析・評価を実施しました。

11 月には、やはり都市サミットの 2 つめ関連事業として、サミットのこれからを考えるために、「アジア太平洋都市連携専門家会議」を開催しました。アジアを中心とした都市連携を推進する組織の専門家を集めた会議です。世界銀行、国連などの国際機関、自治体連合である UCLG やアジアを中心にシティー・ネット、韓国の 2 つのネットワークと、北九州市、福岡の専門家が一堂に会したものです。

会議では、都市化が急速に進展することから、環境問題や都市間交流、貧困への対応、ごみや水問題等に関し多くの都市問題が派生し、その解決に当たって、都市の果たす役割が益々重要になるとの指摘がありました。しかしながら、こうした都市問題への対応は、個々の都市や、個別の都市連携組織だけでは十分な対応が難しいと意見でありました。結局は、今後、都市の諸組織で情報交換を活性化させ、一層連携を強化させることが求められる、とまとめられ、互いの協力が約束されたところです。

ついで 12 月には、会員都市のタイ、バンコクにおいて、「APCS まちの魅力探索ワークショップ第 2 弾」、すなわち、「まちづくりにおける市民参加推進ワークショップ」を開催しました。福岡とバンコクの両市民が、一緒になって、レクチャーやまち歩き、写真を用いたワークショップなどを体験しました。従来の行政の立場や、自国の住民の感覚とは、全く異なる視点による意見交換ができたところです。こうした成果は、これからのまちづくりに活かされるものと期待されます。

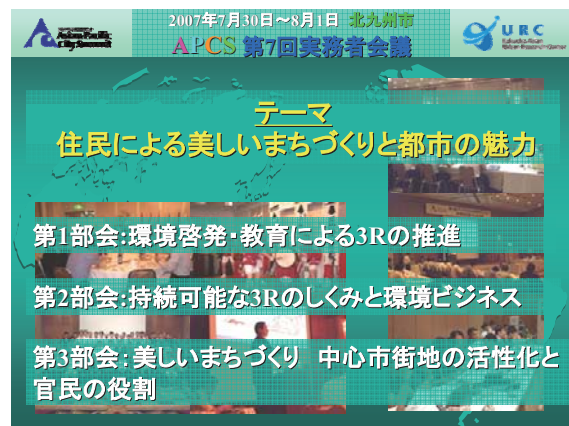
これらの事業以外にも、私ども研究機関がもつシンクタンクとしての機能を活かし、国際間の都市連携やアジアの都市機能、さらには世界主要都市との情報交換などを行い、都市サミットに関わる調査・研究も行いました。それらの成果の一部は私ども研究所のホームページからダウンロード出来ますので、ご利用下さい。

以上が、この 2 年間の活動の流れです。これを踏まえて、今日の大連サミットになりますが、本サミットに平行して「APCS まちの魅力探索ワークショップ第 3 弾」を予定しております。めざましい発展を遂げている大連市で、これからの時代の要請に対応出来るまちづくりを推進するため、“新たな価値の創造”と題した市民参加型のワークショップを行います。興味のある方は是非のぞいていただければ幸いです。

以上で事務局からの経過報告とさせていただきます。なお、次回の開催都市については、決まり次第事務局から皆様にご連絡致します。

最後になりますが、今サミットに会員都市および非会員都市合わせて 36 自治体の方の参加いただいています。ご多忙中にもかかわらずこうして多くの御参加いただいた皆様に心より感謝を申し上げ、また、主催である大連市の関係者の方々には大変なお骨折りがあったことを、厚くお礼を申し上げます。

どうもありがとうございました。



2007年11月27日～28日

Asian-Pacific City Network Forum

URC

ワシントン, D.C. 東京 シドニー 横濱

“躍動するアジアと国際都市連携”

釜山 北九州 大田 福岡

2007年12月13～15日 バンコク

APCS まちの魅力探索ワークショップ第2弾

“まちづくりにおける市民参加推進ワークショップ”

その他の調査研究報告

URC

東南アジア地域における自治体政府の国際政策に関する研究

東アジアの国土政策プラットフォーム構築に向けた基礎的情報の整理に関する調査

国際都市戦略比較から学ぶ福岡市の施策展開に関する検討調査

国際都市ネットワーク政策の研究

私どものホームページからもダウンロードできます。(www.urc.or.jp)

2008年9月29～30日

大連市で 開催！

APCS まちの魅力探索ワークショップ第3弾

“新たな価値の創造”

APCS Action Report

URC

谢谢你!

고맙습니다!

спасибо!

cám ơn anh!

Thank you!

ご静聴ありがとうございました。

2. 分科会

(1) 釜山広域市

釜山市民公園造成プロジェクト紹介

釜山広域市政務副市長 鄭乐亨

I. 背景

釜山市民公園建設予定地は日本占領の後、米軍基地となり、屈辱的な歴史が刻まれていた。この計画は痛みを伴うが、新たな将来設計の機会となる。

都市中心部の公開空地を重要と考え、ニューヨークのセントラルパークのような世界的レベルのランドマーク的市民公園の造成を決定。

II. 市民公園の目標と方針

目標：世界的な名所となる、未来のための、すべての人のための、文化をつなぐ、都市中心部の再生を促進する、公園となること。

テーマ：文化、芸術、商業。

III. 市民公園のコンセプト

変化と歴史を統合し、新たな空間の可能性を創出する。

「流れ、あつまり、つながる」の3つの空間的特徴、「記憶、文化、幸福、自然、参加」の5つをその空間のサブテーマとする。

IV. フレームワークプランのコンセプト

韓国のマスタープランに基く公園造成。さざ波の文様と地形を考慮し、アウトドア活動のための空間とする。

V. 概要

良好な景観形成。生態系に考慮し、サブテーマに沿った歩道を敷設。土地を均し、水系を穏やかにする。地下で主要施設をつなぎ、地上と一体化する。公園の建物、映画館、美術館を文化の軸とする。博物館も設置する。

つらい過去を克服し、市民の心に帰る、サブテーマに基づいた空間とする。

VI. 作業工程と資金調達

市民のボランティア参加促進。専門家・機関と協働する。市は計画と開発を担当。

資金は市（設計・建築工事）、国（土地利用、インフラ）、民間（地下空間開発）から調達。

VII. 予測される効果

経済活性化、市民生活、都市機能、都市のイメージを一新する。

VIII. 結論

2015年に市民公園が完成すると、釜山は世界レベルの市民公園を所有することになる。



Contents	
1	Background
2	Future Direction
3	Design Concept
4	Concept Framework Plan
5	Construction Plan
6	Implementation and Financing
7	Expected Effects



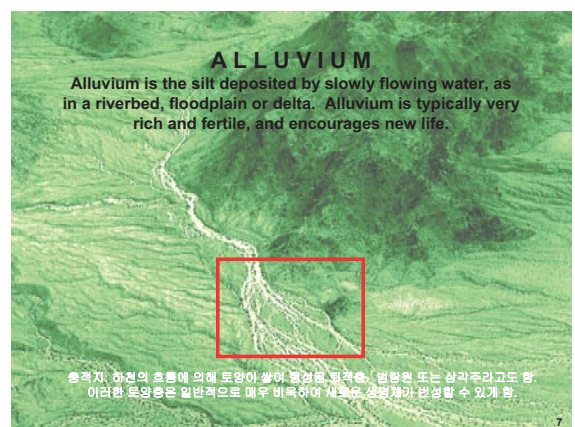
2. Future Direction

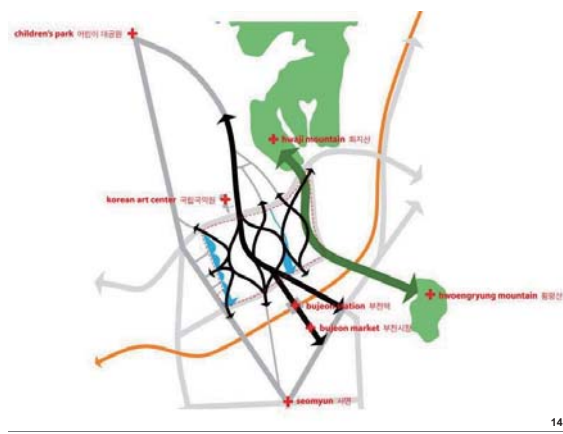
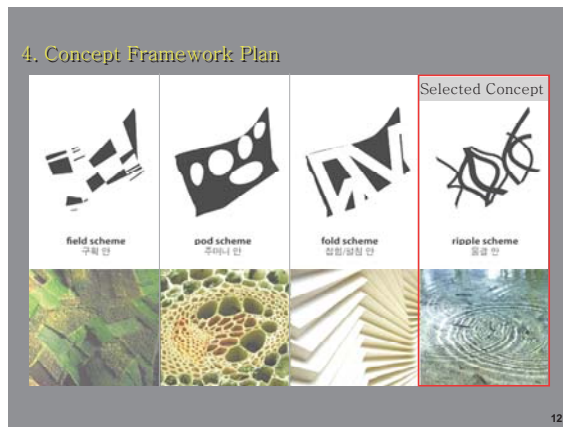
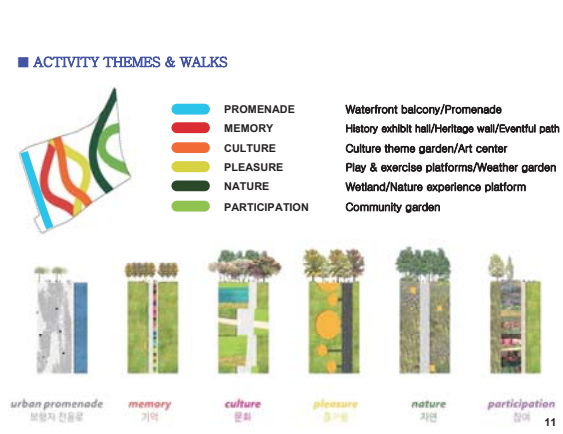
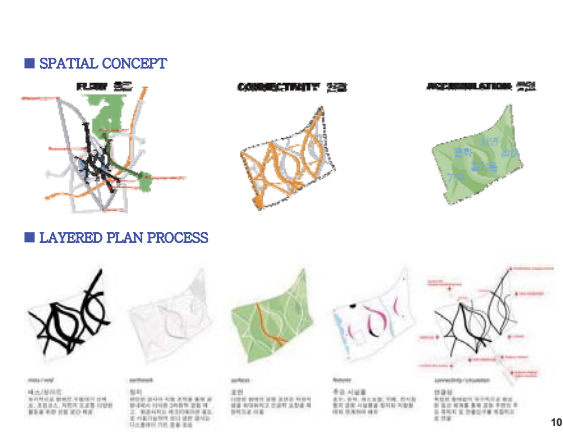
■ 개념설정 / GOAL

- A WORLD CLASS DESTINATION IN BUSAN**
세계도시 부산을 향한 공원
- A PARK FOR THE FUTURE**
미래를 향한 공원
- A PARK FOR EVERYBODY**
모두를 위한 공원
- A CULTURAL CONNECTION**
문화가 있는 공원
- A CATALYST TO REVIVE THE CENTER OF THE CITY**
도시 재성성을 촉진하는 공원

■ 공원조성 전략 / STRATEGY

- To Designate a Culture Belt
- To Establish a Green Network
- To Best Serve the Public Interest





■ Memory / Heritage (기억의 숲길)



16

■ Culture (문화의 숲길)

3. 공간별 계획 및 설계



17

■ Pleasure (즐거움의 숲길)



18

■ Nature (자연의 숲길)



19

■ Park Map



20

■ Bird's Eye View



21

■ View from the Southeast



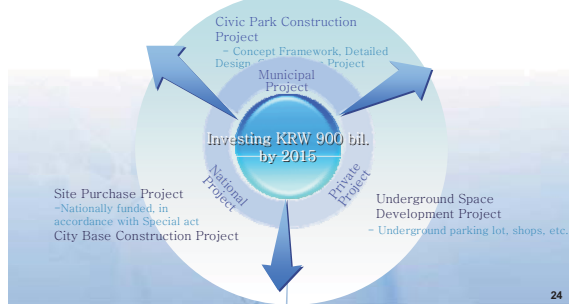
22

■ View from the Southwest



6. Implementation and Financing

To be implemented separately as projects funded by the city, the nation or the private sector, depending on the nature of the projects



24

7. Expected Effects



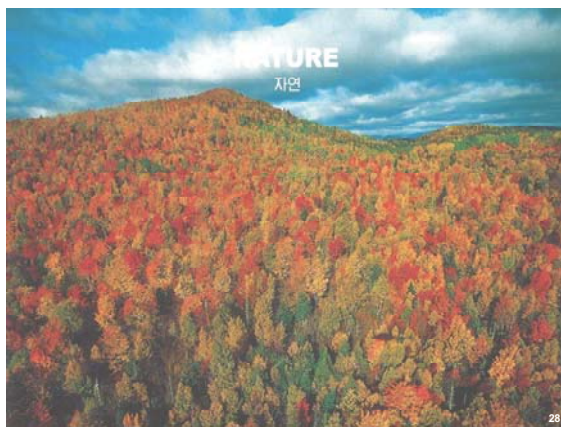
25



26



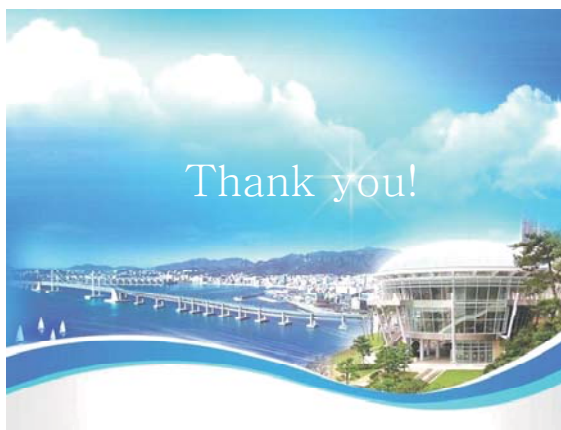
27



28



29



（２）光陽市

アジア太平洋地域における主要都市の責任および地域間の協力 光陽市長 李聖雄

90年代以降、国境を超えた競争時代となり、多くの経済ブロックが登場。中でもアジア太平洋ブロックは最も多様性に富んでいる。

そして今、世界は環境やエネルギー、金融等の共通の課題を抱えており、アジア太平洋地域の安定的発展と、都市間の責任と協力が求められている。港湾都市である光陽市は、港湾都市の相互協力が重要と考えている。

光陽港は東北アジアの中心に位置する主要港湾の一つで、2020年までに1,245万TEU、規模面で世界10位圏の港湾となる予定である。

しかし、熾烈な競争で、厳しい現実もある。今後相互発展のためには、役割分担と協力を基づいた共生の道を探る必要がある。

光陽市は大連市など国際都市間の協定、蘇州市の太倉港とのMOUの締結、厦門港との協力等を通じ、港湾交流の活性化に向けて多角的な努力をしている。

また、地理的な位置を活用し中国の東岸と北米西岸を結ぶダイナミックな物流システムを構築している。

北東アジア域内における主要港湾と、東南アジア域内における主要港湾との交流も段々活発になっている等、アジア太平洋地域間の港湾貿易と協力が活発になることで、協力による発展がこの地域の重要な課題として浮かびあがっている。

実際、アジア太平洋地域における都市間の協力は、政治、経済、文化、環境、エネルギーなど多様かつ幅広い分野で行なわれている。各分野の専門家が知恵を集めて、具体的で実現可能な施策を策定し、アジア太平洋都市の未来に繋がる積極的な協力と友好関係が形成されることを希望する。



Gwangyang,
The Republic Of Korea

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit



• Gwangyang

Lee Sung-woong
The Mayor of Gwangyang City, the Republic of Korea

- Present) Mayor of Gwangyang City, From 2002 to the present(Two consecutive terms)
- Present) Member of Presidential Committee on Balanced National Development
- Past) Professor of Industrial Engineering Department in Jeonnam National University
- Past) Vice President of the Korean Society for Quality Management

Table of Contents

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

- ① Developments of Dalian City
- ② Relations between Gwangyang city and Dalian City
- ③ The introduction of Gwangyang City
- ④ Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities
 1. World Economic Environment and Asian-Pacific Blocks
 2. The Importance of Bay Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities
 - ① The Introduction of Gwangyang Port
 - ② The Importance of Port Cooperation in the Asian-Pacific Major Cities
- ⑤ Conclusion

1. Developments of Dalian City

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit



Quick Developments in various areas such as Economy, Trade, Science Technology, Port, Culture, Tourism

Successful Host of 2007 China "Summer Davos"

Beijing 2008 Olympics and Shanghai World Expo

Expectation for a Dramatic Development of Dalian city and China

2. Relations between Gwangyang city and Dalian City

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit



• Active international exchanges since the conclusion of the international friendship city agreement in Sept. 1999

2. Relations between Gwangyang city and Dalian City

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

• International Exchanges between Two Cities

- 1999, 9, 17 : The conclusion of the International Friendship City Agreement
- 2001, 8, 15 : Sister group agreement between Junior Chamber Intl. Korea-Gwangyang and the Youth Union of Dalian, Mutual biennial visit
- 2002, 3, 7 : 8 delegates led by Lee Manjae, vice mayor of Dalian visited Gwangyang City
- 2006, 9, 7 : 8 delegates led by Gwangyang city Mayor participated in Intl. Friendship City Market Forum Dalian, China.
- 2008, 4, 22 : Inviting 4 delegates including Vice president of Dalian Port Group in the 5th Gwangyang Port Forum

3. The introduction of Gwangyang City

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

• Major Industries

- Steel Industry : 17.4 million tons . The Largest in the world-POSCO's Gwangyang Steel Works , Emerging as the world's best quality of car body panel works.
- Port Industry : Aiming at becoming the 10th largest port in the world Building 34 berths of 50,000 tons by 2020
- Shipbuilding Industry : Building the POSCO Backbord Factory of 3 million tons Large shipbuilding companies move into Gwangyang Port

3. The introduction of Gwangyang City

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

The land of Hope



Southern Coastal (SUN BELT) Three bases for the Growth

A Heavy Investment Plan : A total investment of 756.3 million dollars in Gwangyang by 2010

A total investment of 13.73 billion dollars for the next 5 years National, local, civilian funds

The Confirmation of the 2012 Yeosu Expo

The Southern-coastal SUNBELT Plan of the Korean Government Expectation for a Dramatic Development in the Southern-middle Region led by Gwangyang

3.The introduction of Gwangyang City

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

The Development only in 14 years, The Vision of Gwangyang

- Fostering the excellent industries in 14 years since Gwangyang started as a city in 1995, Being an Example to Other cities
- The Increase of the Per Capita Income to 35,000 dollars
- Citizen's welfare, renown education, clean natural environment and top class business environment



4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

1.World Economic Environment and Asian-Pacific Blocks



- The Unlimited Competition of Capital and Technology since the inauguration of WTO in 1990's
- Appearance of the Various Economic Blocks such as EU, FTA, APEC and ASEAN

4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

Meaning of the Asian-Pacific Blocks

•Formation

The Asian-Pacific Region including Korea, China, Japan and the South-east Asian Region

The American-Pacific Region including the U.S and Canada

Pacific Region including Australia and New Zealand

•Characters

Political, Cultural, Racial Varieties

Difference in the Economic Size and the Development Level

4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

World Economic Situation and Prospects



Environmental Pollution, Global Warming, Energy Exhaustion, subprime mortgage crisis of the U.S, instability of the financial market

The Dark Prospects for the World Economy in the diversifying age

4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

The Need for the Economic Cooperation in the Asian-Pacific Region



Mutual Responsibility and Cooperation are important for the Stable Development in the Asian-Pacific Regions

4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

2. About the Importance of Bay Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

The Introduction of Gwangyang Port



Location : Located in the Center of the Northeast Asia. Lying on the Main Shipping Lanes connecting Asia, North America and Europe.

4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

Bay Conditions and Size : A Sea Traffic Route accommodating 300,000 tons of Ships(The Average Sea Depth of 22 meters, Coastal Depth of 17 meters, Port Conditions that can work all the year round)

Prospects for Development : Planning to build 34 berths by 2020 → Handling 12.45 million TEUs

Free Trade Zone in the hinterland complexes, Various SOCs, the state of the art port distribution system.
-Korean Government's strategy to foster this Port

Problems : Severe Competition Among the Asian-Pacific Major Ports, Dark World Economy, → Difficulty in inducing the Cargoes for the Shipping.

4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

The Importance of Port Cooperation in the Asian-Pacific Major Cities

Growing Global Competition among the Bay Cities

- The Increase of the World GDP to 3.5%, the Increase of the World Container Cargo Volume to 9.1 %

- Globalization of the Production results in the Globalization of the Port Distribution

- Port Distribution Economy leads the World Economy

The Change of the Port Competition System

Hub Port system → Multi-poles Port System

The Competition by Heavy Investment in the Facilities → Growing need to increase efficiency in Port Cooperation and Port Operation

4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

Regional Port Cooperation within the Asian-Pacific Blocks

Domestic Port Cooperation (Between Gwangyang Port and Busan Port)



Gwangyang

Busan

4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

The Strong Points and Weak Points of Gwangyang Port



- The Strong Points
The Newly-Built Port, The state of the art Facilities, Excellent Incentives
- The Weak Points
Not-well known, Difficulty in inducing the shipping Carriers because of the Shortage of the Intl. Regular Carriers

The Strong Points and Weak Points of Busan Port



- The Strong Points
Long History and Well-known
- The Weak Points
Limitation in meeting the new requirements such as lowering the price

The Need for Cooperation : Win-win Development through the role sharing and the mutual supplements

4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit



TIANJIN • DALIAN
QINGDAO
LIANYUNGANG
SHANGHAI
NINGBO
SHENZHEN

Port Cooperation in Asia (Port Cooperation between Gwangyang Port and Chinese Major Ports)

The Growing Competition among the Asian Ports
→ Building Cooperation System with the other ports of similar conditions.

4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

- Conclusion on the Intl. Friendship City Agreement with Dalian, and Yingkou City of China
→ Diversifying Efforts to activate Port Exchanges
- Concluding MOU for Cooperation with Taichang Port, Suzhou City, China
- Building the Intl. Stone Processing Center in the Gwangyang Port hinterland complexes
→ Inducing Stone Material Companies of Fujian Province in China
→ Building Cooperation Network with Xiamen Port
- Port Cooperation between the Asian Region and the Pacific Coastal Region

4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

Port Cooperation between the Asian Region and the Pacific Coastal Region

LA/LB(Los Angeles/Long Beach)
Ports cover 40% of the total U.S Trade

Major Trading Partners in Asia - China, Japan, Korea, Taiwan, and Thailand

Asian Container Cargoes cover two-thirds of the total Container Cargo Volumes

Utilizing Geographical Advantages → Building a Dynamic Distribution System connecting the east coast of China to the west coast of the North America



Los Angeles

Long Beach

4.Regional Cooperation Among the Asian-Pacific Major Cities

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

Port Cooperation Between the North-East Asian Region and the South-East Asian Region



Strengthening the Cooperation among the Major Ports of the North-east Asia and the South-east Asia(Singapore, Malaysia, Indonesia and the Philippines)

5. Conclusion

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit

Expectation for developing the concrete methods and the business cooperation models by experts



- Cooperation of the Asian-Pacific Regions includes various areas such as politics, culture, economy, environment and energy
- Expectation for developing the concrete methods and the business cooperation models by the experts

Thanks and Wishes

2008 Dalian China Asia Pacific Cities Summit



Thank You!

(3) 広州市

歴史的地区の再生 ― 広州市新河浦歴史地区保存・修復プロジェクト 広州市都市計画局設計所副所長 黎亦众

広州市は今から 2222 年さかのぼること、紀元前 214 年（秦の始皇帝 33 年）の「任嚣市」建設から始まり、南三朝の古都となり史跡と華麗な文化をもつようになった。ヨーロッパ、他のアジア諸国をつなぐ「海のシルクロード」の出発点でもある。

地図は 1900 年から 1998 年にかけての広州市の都市開発・建設を反映している。中国の 24 歴史文化都市の一都市として、219 の史跡がある。

広州は 22 の史跡がある都市中心部 20 km²を歴史都市地区として指定し、積極的な保存や修復を行っている。新河浦歴史地区は広州市の中心に位置し、最大の伝統的な低層中庭式住居地区、中国と西洋の特徴を統合した歴史エリアだ。

東山庭園館が集中する新河浦地区の建物は 1920～30 年代に住宅用として建設され、赤レンガ壁、骨材露出工法、西洋スタイルが特徴的だ。清時代には郊外だったが、広九鉄路が開通し、国外や地元の裕福な人々が居を構えるようになり、地価が上がり繁栄した。

最近では、このような建物が撤去される一方、新たに修復される建物もある。

新河浦住宅群は、大規模な新スタイルの住宅地域であり、現代広州の多文化を表している。2000 年 6 月の広州市政府保存計画作成によって、初めて認められた歴史地区の一つだ。新河浦地区には省レベルの史跡や 485 の歴史的建造物等豊かな歴史的資源がある。新河浦保存計画の最も重要な点は歴史的遺産を保存しながら、社会的・経済的発展を促進し、生活環境を改善することであり、ポイントは下記の 4 つである。

- (1) 新河浦地区の特徴を反映する総合的な歴史的特徴を保存すること。
- (2) 保存と発展を調整し、歴史保存、社会発展、経済発展、生活環境の改善のバランスを保ち、合理的な発展と利用を進めること。
- (3) 保存と修復において、「元の外観に回復する」、「原型を保存する」という原則を守ること。
- (4) 人口をなるべく分散し、追加や新規の建設工事を禁止すること。

主な内容と対策は以下のとおりである。

1. 保存範囲を確定し、保存価値に応じて建造物のタイプを分類、保存要求を提出する。
2. 地区の全体的な特徴をよりよく保存し、保存する建造物のそれぞれの特徴を維持するため、効果的な保存規制システムを提案する。これにより、計画の管理と実施を促進する。
3. 計画の実施可能性と保存対策の有効性が重要視され、新河浦保存計画は広州市の都市計画管理情報プラットフォームに統合された。これにより日常の計画管理が強化され、効果的に計画を遂行出来るようになった。
4. 段階的な発展、部分的修復、変化を前提とした微小循環型の保存修復メカニズムの実現。



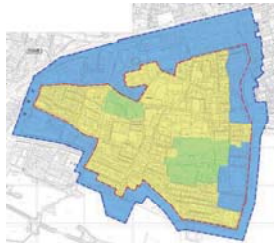
<div data-bbox="643 210 742 259" data-label="Page-Header">新河浦</div> <div data-bbox="236 248 497 521" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 广州曾有“富西关，贵东山”的说法。东山的小别墅俗称为“东山花园洋房”，尤以新河浦地区为主要地段成片集中分布。建于二十世纪二三十年代，以居住功能为主体，以清水红砖墙、民国水刷石、西洋式风格为主要建筑特色。 ■ It is an old saying in Guangzhou that the wealthy live in Xiguan while the potentates live in Dongshan. The so-called Dongshan Garden Houses are mainly concentrated in Xin He Pu area. Most buildings in this area were built in 1920s and 1930s mainly for residential purpose and characterized by red-brick wall, exposed aggregate finish and western architectural style. </div> <div data-bbox="517 250 758 577" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="209 533 319 618" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="402 580 577 613" data-label="Caption"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>	<div data-bbox="1249 210 1348 259" data-label="Page-Header">新河浦</div> <div data-bbox="815 250 1382 551" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="815 551 925 618" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1005 580 1182 613" data-label="Caption"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>
<div data-bbox="643 667 742 716" data-label="Page-Header">新河浦</div> <div data-bbox="236 696 489 945" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 东山地区直到清朝都是广州城郊。据载，自宣统3年（1911年）广九铁路通车后，外国人和本地富商在东山择地大建住宅，才使“地价日境，屋宇日盛”。 ■ Dongshan District used to be Guangzhou's suburb area in Qing Dynasty. It is recorded that ever since the opening of Guangzhou-Kowloon railway in the 3rd year of Emperor Xuantong (1911), the foreign and local wealthy people built their residences in Dongshan District and made the land price in this area more and more expensive and the whole area more and more flourishing. </div> <div data-bbox="494 736 775 909" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="593 911 707 943" data-label="Caption"> <p>1930年代的广州地图 Guangzhou Map of 1930s</p> </div> <div data-bbox="209 976 319 1061" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="402 1025 577 1059" data-label="Caption"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>	<div data-bbox="1249 667 1348 716" data-label="Page-Header">新河浦</div> <div data-bbox="841 696 1094 815" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 民国初年，不少华侨汇资回乡建住宅，主要集中在东山新河浦一带。 ■ In the beginning of Republic of China, many overseas Chinese remitted money back home to build their residences, which were also concentrated in Xin He Pu area of Dongshan district. </div> <div data-bbox="1101 716 1361 974" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1206 974 1292 1003" data-label="Caption"> <p>1920年代的别墅 Kui Yuan of 1920s</p> </div> <div data-bbox="815 976 925 1061" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1005 1025 1182 1059" data-label="Caption"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>
<div data-bbox="643 1124 742 1173" data-label="Page-Header">新河浦</div> <div data-bbox="236 1144 489 1413" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新河浦曾居住过国共两党著名的人物，如毛泽东、廖仲恺等，也曾见证了历史上著名的事件，如“中共三大”。而今，这些有着历史意义的建筑，有的已灰飞烟灭，湮没于历史长河中，有的则旧貌换新颜，仍散发着昔日的光彩。 ■ Several renowned elites of the Communist Party of China (CPC) and Kuo Min Tang (KMT) used to live Xin He Pu, such as Mao Zedong and Liao Zhongkai. This area also witnessed some important historical events such as the 3rd Congress of CPC. Nowadays, some of these buildings have been removed while some still exist with new look. </div> <div data-bbox="533 1158 758 1469" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="533 1469 767 1496" data-label="Caption"> <p>中共“三大”遗址 Site of the 3rd CPC National Congress</p> </div> <div data-bbox="209 1424 319 1509" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="402 1473 577 1507" data-label="Caption"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>	<div data-bbox="1249 1124 1348 1173" data-label="Page-Header">新河浦</div> <div data-bbox="834 1144 1088 1411" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新河浦民居群是近代中国人兴建大规模新式住宅区的范例，印证了近代广州多元文化并存的重要事实，于2000年6月被广州市政府列入首批“历史文化保护区”，通过编制保护规划进行重点保护。 ■ Xin He Pu Residential Complex is an example of large-scale new-style residential community built by modern Chinese people, and an important evidence of multi-culture in modern Guangzhou. It was recognized as one of the first Historic Districts by Guangzhou Municipal Government in June, 2000 to be conserved through the formulation of conservation planning. </div> <div data-bbox="1091 1173 1382 1400" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1149 1400 1345 1429" data-label="Caption"> <p>新河浦保护规划总平面图 Master Plan of Xin He Pu Conservation Plan</p> </div> <div data-bbox="815 1424 925 1509" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1005 1473 1182 1507" data-label="Caption"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>
<div data-bbox="643 1581 742 1630" data-label="Page-Header">新河浦</div> <div data-bbox="228 1590 456 1848" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新河浦北侧为东山口商业中心区，南侧为东湖公园，东北角紧邻五羊新城，西侧及西南角为东湖新村等住宅区。 ■ 现在居住人口总共约2.5万，人口密度比较大。 ■ Xin He Pu has Dongshankou commercial area to the north, Dongshanhu Park to the south, Wuyang New Town to the Northeast and residential areas such as Dong Hu Xin Cun to the west and southwest. ■ Currently, this area is densely inhabited with a population of 25,000 residents. </div> <div data-bbox="459 1621 775 1861" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="526 1874 715 1908" data-label="Caption"> <p>新河浦现状建设图 Existing Construction Diagram of Xin He Pu</p> </div> <div data-bbox="209 1872 319 1957" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="402 1919 577 1953" data-label="Caption"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>	<div data-bbox="1249 1581 1348 1630" data-label="Page-Header">新河浦</div> <div data-bbox="834 1590 1062 1841" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新河浦历史街区的范围为：东起达道路，南临东华东路、新河浦涌和东湖公园，西至均益路，北接庙前西街、庙前直街、寺贝通津和广州铁路局用地。总用地面积为62.9公顷。 ■ The scope of Xin He Pu Historic District begins in the east from Dadao Road and ends at Junyi Road in the west, with Donghua East Road, Xin He Pu Canal and Donghu Park to its South and Miao Qian Xi Jie, Miao Qian Zhi Jie, Sibeitongjin and Guangzhou Railway Bureau site to its north, with a total site area of 62.9 hectares. </div> <div data-bbox="1069 1621 1382 1868" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1174 1868 1292 1895" data-label="Caption"> <p>新河浦航拍图 Aerial photo of Xin He Pu</p> </div> <div data-bbox="815 1872 925 1957" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1005 1919 1182 1953" data-label="Caption"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>

<div data-bbox="643 212 742 268" data-label="Image"></div> <div data-bbox="228 253 478 374" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■新河浦地区的历史文化资源丰富，包括1处省级文保单位（即中共“三大”会址）和7处市级文保单位。 ■Xin He Pu boasts abundant historic and cultural resources with one provincial historic site (Site of the 3rd CPC Congress) and seven municipal historic sites. </div> <div data-bbox="210 409 489 546" data-label="Image"></div> <div data-bbox="489 311 774 546" data-label="Image"></div> <div data-bbox="545 544 738 566" data-label="Caption"> <p>Distribution plan of existing historic resources</p> </div> <div data-bbox="403 582 577 613" data-label="Text"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>	<div data-bbox="1249 212 1348 268" data-label="Image"></div> <div data-bbox="842 253 1096 389" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■除了8处文物保护单位以外，区内总共还有485栋历史保护建筑，其中保存完整的有401栋，需要进行整治的有84栋。 ■Besides the above-said eight historic sites, there are 485 historic buildings in the area. Among them 401 are preserved intact and 84 require renovation and maintenance. </div> <div data-bbox="817 533 925 613" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1121 280 1345 421" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1121 425 1345 568" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1008 582 1184 613" data-label="Text"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>
<div data-bbox="643 660 742 716" data-label="Image"></div> <div data-bbox="228 660 462 685" data-label="Section-Header"> <h3>新河浦保护规划的主要思路</h3> </div> <div data-bbox="228 689 493 705" data-label="Text"> <p>The main conception of Xin He Pu conservation plan</p> </div> <div data-bbox="228 719 738 983" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■保护地区历史遗存的总体规划格局，恢复人文景观特征，协调地区历史风貌，保证地区的历史价值。具体来说，包括下面四点： <ol style="list-style-type: none"> (1) 保护反映新河浦街区特色的整体历史风貌； (2) 协调好保护与发展的关系，既保护好历史文化遗产，又促进社会进步、经济发展和生活环境的改善，进行合理的开发和利用； (3) 保护和更新中要“整旧如故”、“以存其真”； (4) 尽量控制疏散人口，不再加建、新建。 ■To conserve the overall planning pattern of the original Historic District, restore its characteristics of historic and cultural views, coordinate the historic features of this area and preserve its historic value. Four aspects are stressed in particular: <ol style="list-style-type: none"> (1) Conserve the overall historic features that can reflect the characteristics of Xin He Pu area. (2) Coordinate the conservation and development, balance the historic conservation, social progress, economic development and improvement of living environment, and conduct reasonable development and utilization. (3) Observe the principles of “restoring to original appearance” and “preserving the original” in conservation and renovation. (4) Decentralize the population as much as possible and forbid any additional or new building construction. </div> <div data-bbox="210 974 319 1061" data-label="Image"></div> <div data-bbox="403 1025 577 1059" data-label="Text"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>	<div data-bbox="1249 660 1348 716" data-label="Image"></div> <div data-bbox="842 660 1206 685" data-label="Section-Header"> <h3>新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施</h3> </div> <div data-bbox="842 689 1219 705" data-label="Text"> <p>Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan</p> </div> <div data-bbox="842 710 1096 990" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■1、划定保护范围，将建筑根据保护价值进行分类，提出保护要求 <ul style="list-style-type: none"> ■(1) 保护范围划分 <ul style="list-style-type: none"> ■新河浦历史文化保护区 <ul style="list-style-type: none"> ■核心区、建设控制地区、环境协调区 ■不同的空间分区对应相应的建筑高度、街巷保护等规划管理政策。 ■1. Define the conservation scope, classify building types as per the conservation value, and propose conservation requirements <ul style="list-style-type: none"> ■(1) Definition of conservation scope <ul style="list-style-type: none"> ■Xin He Pu Historic District <ul style="list-style-type: none"> ■Core area, Construction control area, Environment coordination area ■Different spatial zones correspond to the respective planning and management policies such as the policies on building height and street & lane conservation. </div> <div data-bbox="1101 725 1370 1005" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1184 992 1329 1008" data-label="Caption"> <p>Conservation Scope Division Map</p> </div> <div data-bbox="817 974 925 1061" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1008 1025 1184 1059" data-label="Text"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>
<div data-bbox="643 1108 742 1164" data-label="Image"></div> <div data-bbox="228 1108 600 1133" data-label="Section-Header"> <h3>新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施</h3> </div> <div data-bbox="228 1137 612 1153" data-label="Text"> <p>Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan</p> </div> <div data-bbox="228 1160 505 1386" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■(2) 建筑保护分类 <ul style="list-style-type: none"> ■将新河浦的全部建筑根据保护价值总分共分为历史保护建筑、非历史保护建筑两大类，再细分为5小类。其中，历史保护建筑分为三类： <ul style="list-style-type: none"> ■A类：文物类建筑，不得改变原状，修复前要进行详细测绘，修复过程要采用“可逆性”原则，修旧如故。 ■(2) Classification of building conservation <ul style="list-style-type: none"> ■All buildings in Xin He Pu are classified into two categories according to the conservation value, i.e. historic buildings and non-historic buildings, which are further divided into 5 sub-categories. Among them, Historic buildings are divided into 3 sub-categories. <ul style="list-style-type: none"> ■Type A: Buildings of historic sites: the original appearance cannot be changed. Surveying and mapping shall be carefully done before restoration. The process of restoration shall observe the “reversible” principle and restore to the original appearance. </div> <div data-bbox="513 1184 761 1402" data-label="Image"></div> <div data-bbox="561 1404 707 1433" data-label="Caption"> <p>Type A: Buildings of historic sites</p> </div> <div data-bbox="210 1422 319 1509" data-label="Image"></div> <div data-bbox="403 1471 577 1505" data-label="Text"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>	<div data-bbox="1249 1108 1348 1164" data-label="Image"></div> <div data-bbox="842 1108 1206 1133" data-label="Section-Header"> <h3>新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施</h3> </div> <div data-bbox="842 1137 1219 1153" data-label="Text"> <p>Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan</p> </div> <div data-bbox="842 1160 1112 1326" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■(2) 建筑保护分类 <ul style="list-style-type: none"> ■历史保护建筑分为三类： <ul style="list-style-type: none"> ■B类：保护类建筑，以修缮为主，必须维持原有的空间布局 and 传统建筑形式，保护外部面貌，其内部可以进行现代化改造。 ■(2) Classification of building conservation <ul style="list-style-type: none"> ■Historic buildings are divided into 3 sub-categories: <ul style="list-style-type: none"> ■Type B: Buildings of conservation: such buildings will mainly be maintained and renovated. The original layout and traditional architectural form must be maintained. The exterior appearance shall be reserved while the interior can be renovated with modern facilities. </div> <div data-bbox="1144 1164 1361 1440" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1184 1442 1334 1467" data-label="Caption"> <p>Type B: Buildings of conservation</p> </div> <div data-bbox="817 1422 925 1509" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1008 1471 1184 1505" data-label="Text"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>
<div data-bbox="643 1556 742 1612" data-label="Image"></div> <div data-bbox="228 1556 600 1581" data-label="Section-Header"> <h3>新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施</h3> </div> <div data-bbox="228 1585 612 1601" data-label="Text"> <p>Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan</p> </div> <div data-bbox="228 1608 505 1760" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■(2) 建筑保护分类 <ul style="list-style-type: none"> ■历史保护建筑分为三类： <ul style="list-style-type: none"> ■C类：改善类建筑，可以进行修缮和翻建，适应现代的生活方式，其翻建建筑必须维持原有的空间布局 and 传统建筑形式。 ■(2) Classification of building conservation <ul style="list-style-type: none"> ■Historic buildings are divided into 3 sub-categories: <ul style="list-style-type: none"> ■Type C: Buildings of improvement: renovation or reconstruction can be done to adapt to modern lifestyle while the reconstructed building must maintain the original layout and traditional architectural form. </div> <div data-bbox="557 1612 761 1877" data-label="Image"></div> <div data-bbox="584 1879 734 1904" data-label="Caption"> <p>Type C: Buildings of improvement</p> </div> <div data-bbox="210 1870 319 1957" data-label="Image"></div> <div data-bbox="403 1919 577 1953" data-label="Text"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>	<div data-bbox="1249 1556 1348 1612" data-label="Image"></div> <div data-bbox="842 1556 1206 1581" data-label="Section-Header"> <h3>新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施</h3> </div> <div data-bbox="842 1585 1219 1601" data-label="Text"> <p>Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan</p> </div> <div data-bbox="842 1608 1011 1760" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ■(2) 建筑保护分类 <ul style="list-style-type: none"> ■非历史保护建筑分为两类： <ul style="list-style-type: none"> ■D类：保留类建筑。 ■E类：更新类建筑。 ■(2) Classification of building conservation <ul style="list-style-type: none"> ■Non-historic buildings are further divided into 2 sub-categories: <ul style="list-style-type: none"> ■Type D: Reserved buildings ■Type E: Buildings for renewal. </div> <div data-bbox="1037 1632 1201 1850" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1056 1852 1184 1874" data-label="Caption"> <p>Type D: Reserved buildings</p> </div> <div data-bbox="1201 1632 1366 1850" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1212 1852 1350 1874" data-label="Caption"> <p>Type E: Buildings for renewal</p> </div> <div data-bbox="817 1870 925 1957" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1008 1919 1184 1953" data-label="Text"> <p>创造历史文化名城的新活力 Revival of A Historic District</p> </div>

新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施

Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan

- 2、提出了完善的保护控制体系，便于保护整体风貌又能突出保护对象的个性特色，便于规划管理和实施。
- 从整体历史风貌保护角度提出每一种保护要素的保护规定。
- 针对每栋建筑都编制了保护图则，提出每栋建筑的具体保护规定。
- 2、An effective conservation control system is proposed to better preserve the overall features of the area and meantime maintain the individual characteristics of each conserved building, and thus to facilitate the planning administration and implementation.
 - From the conservation of overall historic features, the general rules for each conservation element have been proposed.
 - The conservation plan has been prepared and the specific conservation regulation has been proposed for each building.



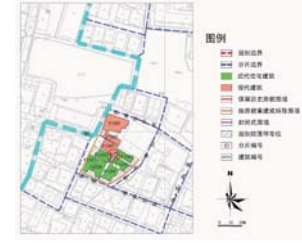
建筑高度控制分区图
Building Height Control Zoning Plan



创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施

Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan



保护建筑控制图则
Conserved Building Control Plan



创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施

Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan



F1306建筑修缮前
Buildings F1306 Before Renovation

F1306建筑修缮后
Buildings F1306 After Renovation

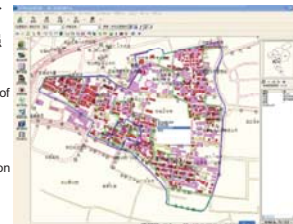


创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施

Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan

- 3、注重保护规划的可操作性和保护措施的有效性，将新河浦保护规划纳入广州市城市规划统一管理平台，加强日常规划管理，有效地加强了规划的控制力度和实施依据。
- 3、Importance has been attached to the operability of the planning and effectiveness of the conservation measures, incorporated the conservation planning of Xin He Pu into the integrated urban planning administrative information platform of Guangzhou, strengthening the daily planning administration and enhancing the control and rationale of implementation effectively.



广州市城市规划统一管理平台上的新河浦保护要求
Xin He Pu conservation requirements on the integrated urban planning administrative information platform of Guangzhou Urban Planning



创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施

Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan

- 4、实行渐进性、局部性、动态性的微循环保护和更新机制。
- 4、Implementation of micro-circulation conservation and renewal mechanism featuring step-by-step progress, partial change and dynamic concept.



建筑修缮前
Buildings Before Renovation

建筑修缮后
Buildings After Renovation



创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District



建筑修缮前
Buildings Before Renovation

建筑修缮后
Buildings After Renovation



创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施

Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan

- 以处于新河浦核心位置的中共“三大”会址周边地区为启动区，带动新河浦的保护和更新工作。
- Starting from the peripheral area of the Site of the 3rd CPC National Congress at the core of Xin He Pu, the conservation and renewal of Xin He Pu are further pushed forward.



中共“三大”会址位于新河浦的核心位置
Site of the 3rd CPC National Congress located in the core of Xin He Pu



创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施

Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan

- (1) 注意遗迹的历史真实性保护
 - 中共“三大”会址周边地区采用回填性、覆盖性保护方式，放弃了“原址重建”方案，保持历史的真实性。
- (1) Pay attention to the conservation of the historic authenticity of the sites
 - The peripheral area of the Site of the 3rd CPC National Congress adopts the conservation method of backfill and covering, and abandons the scheme of “reconstruction on the site”, so as to preserve the historic authenticity.



中共“三大”会址
Site of the 3rd CPC National Congress



中共“三大”会址保护
Conservation of the Site of the 3rd CPC National Congress



创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施

Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan



■ (2) 注意与周边环境相协调

- 会址的建设与周边街区整治同时进行，并注重与周边民居环境、风貌、建筑风格等相协调，形成统一有序的历史文化街区。
- (2) Pay attention to the coordination with the surrounding environment
 - The construction of the site should run parallel with the refurbishing of the peripheral districts, and coordinate with the residential environment, features and the building style etc. of the peripheral area, so as to form a uniform and orderly historic and cultural district.



整修后的春园后街
Chun Yuan Hou Jie After Refurbishing



整修后的徐家院子
Xu Gu Yuan Ri After Refurbishing



整修后的五福后街
Wu Yao Hou Jie After Refurbishing

创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施

Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan



■ (3) 会址保护推动街区有机更新

- 新建用于文物和历史资料展览的“三大”纪念馆。
- 修缮街区的保护建筑。
- (3) The conservation of the site drives the organic renovation of the district
 - Build a new memorial for the 3rd CPC National Congress for historic site and data exhibition.
 - Renovate the conserved buildings in the district.



中共“三大”纪念馆
Memorial of the 3rd CPC National Congress

春园修缮前
Chun Yuan Before Renovation



春园修缮后
Chun Yuan After Renovation

创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施

Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan



■ (3) 会址保护推动街区有机更新

- 增加广场和绿化，新增一个大型停车场，优化周边交通，兼顾了会址保护与街区的需要。
- (3) The conservation of the site drives the organic renovation of the district
 - Provide more plazas and green land, build a new large parking lot and optimize the peripheral traffic. Attention has been paid both to the site conservation and the requirement of the district.



街区生活环境改善
Improved living environment of the district



规划方案
Planning Scheme

创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

新河浦保护规划的主要工作内容和实施措施

Major contents and implementation measures of Xin He Pu conservation plan



创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

核心区保护与更新效果图
Rendering for the conservation and renewal of the core area

实施情况

Summary of project implementation



- 新河浦保护规划在编制过程中征询了各相关政府部门、公众等的意见，经过多次协商、修改和完善，并进行了公示和新闻发布，之后正式公告实施。
- In the process of formulating the Planning, relevant authorities and public have been consulted for comments and the Planning has been redrafted and revised for several times. The final version of the Plan Set was officially released for implementation through public notice and news release.



规划方案公示
Public Notice of Planning Scheme

创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

实施情况

Summary of project implementation



- 新河浦保护规划在编制过程中征询了各相关政府部门、公众等的意见，经过多次协商、修改和完善，并进行了公示和新闻发布，之后正式公告实施。
- In the process of formulating the Planning, relevant authorities and public have been consulted for comments and the Planning has been redrafted and revised for several times. The final version of the Plan Set was officially released for implementation through public notice and news release.



规划方案公示
Public Notice of Planning Scheme

创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District

实施情况

Summary of project implementation



- 新河浦的保护与更新工作实施以来，在社会、环境、经济等方面取得了良好的效益。
- Since the implementation of Xin He Pu conservation and renovation efforts, favorable results have been achieved in terms of social, environmental and economic benefits etc.



新河浦保护与更新实施照片
Implementation photos of the conservation and renewal of Xin He Pu

创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District



建筑整饰前
Buildings Before Renovation

建筑整饰后
Buildings After Renovation

创造历史文化名城的新活力
Revival of A Historic District



(4) 北九州市

北九州市の環境政策と持続可能な社会づくり

北九州市副市長 麻田千穂子

1. 北九州の公害とその克服

- ・ 重化学工業地帯として発展してきた北九州市は、同時に激甚な産業公害の惨害に遭遇したが、地元婦人会を中心とする市民の活動がきっかけで、公害対策が始まり、わずか20数年で、奇跡的回復を見た。

2. 「死の海」から環境国際協力へ

- ・ その経験を生かし、アジア諸都市に対して、環境保全に関する国際協力を開始。5,000 人を超える研修員の受入れや 130 名にのぼる専門家派遣などを実施。
- ・ 大連市とは「大連市環境モデル地区整備事業」を実施、大きな成果をあげ、都市間協力の重要性和有効性が高く評価され、都市ネットワークを構築、更なる環境国際協力を実施。

3. 3つの危機と挑戦

- ・ 日本政府も北九州市も共に、3つの危機①資源の浪費による危機、②地球温暖化の危機、③生態系の危機を認識しており、これらに対し①循環型社会づくり、③低炭素社会づくり、②自然と共生する社会づくり、の挑戦をしており、ここでは①②の取組みを紹介する。

① 循環型社会づくり

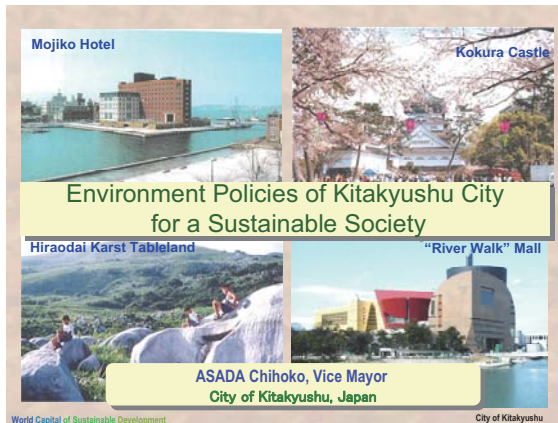
- ・ 1997 年 7 月、資源循環型社会の形成を促進させるため、北九州エコタウン事業が開始、市民生活などから排出される廃棄物を再使用・再資源化する、「静脈産業」の先進基地であり、世界でも類を見ない効率的な資源循環の仕組みが出来上がっている。

② 低炭素社会づくり

- ・ 国は北九州市等 6 つの自治体を「環境モデル都市」として選定。
- ・ 北九州市は、①ストック型都市への転換、②低炭素化に貢献する産業クラスターの構築、③低炭素社会を学び行動する学習・活動システム、④低炭素社会づくりを通じた豊かな社会の創造、⑤低炭素社会づくりのアジア地域への移転、を提案。157 の具体的な施策を実施している。

4. 「世界の環境首都」を目指して

- ・ 2004 年 10 月、「世界の環境首都」を目指した取組みが始まった。グランドデザインでは、「真の豊かさにあふれるまちを創り、未来の世代に引き継ぐ」ことを基本理念に、①共に生き、共に創る、②環境で経済を拓く、③都市の持続可能性を高める、を 3 本柱とした。ここでは、環境ばかりに目を配るのではなく、経済だけが繁栄すれば良いのでもない。環境と経済、雇用の促進などの社会政策も統合し、総合的に街づくりを行う。
- ・ これらが評価され、「環境首都コンテスト」で、2 年連続の第一位を獲得。今後も「世界の環境首都」を目指し「環境と経済と社会が共に向上する街づくり」に努める。



1 Getting Pollution under Control in Kitakyushu

2 From “Sea of Death” to International Environmental Leadership

3 Three Threats and Key Challenges

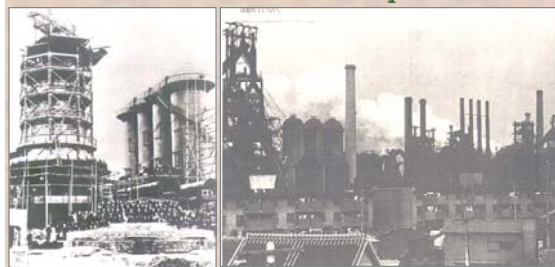
3-1 Challenge① A sound Material-Cycle Society

3-2 Challenge② A Low-Carbon Society

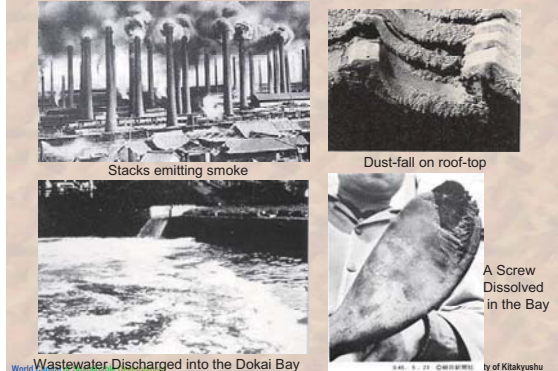
4 Towards the “World Capital of Sustainable Development”



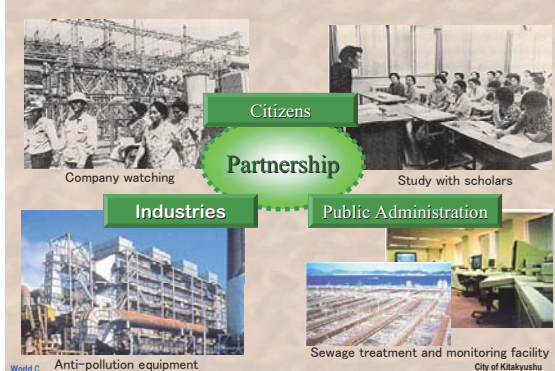
Kitakyushu's Industries Led to Modernization in Japan



Air Pollution and Water Contamination



Anti-pollution Movements by Stakeholders



Kitakyushu's Experience in Getting Pollution under Control - A Miracle in the World History -



1 Getting Pollution under Control in Kitakyushu

2 From “Sea of Death” to International Environmental Leadership”

3 Three Threats and Key Challenges

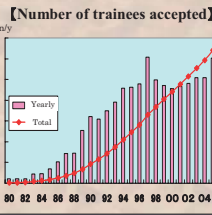
3-1 Challenge① A sound Material-Cycle Society

3-2 Challenge② A Low-Carbon Society

4 Towards the “World Capital of Sustainable Development”

From "Sea of Death" to International Environmental Leadership

Technologies and human resources accumulated through Pollution abatement



Trainees accepted: 130 countries 4,332 pns (FY1980~2007)
Experts dispatched: 26 countries 128 pns (FY1986~2007)

World Capital of Sustainable Development

City of Kitakyushu

Environmental Improvement in Dalian, China



1994

2000

Improvement of Ambient Air Quality

Year	1990	2001		** Dalian was given the Global 500 Award by UNEP in June 2001
SOx	0.090	0.031 mg/m ³	(1/3)	
TSP	0.245	0.123 mg/m ³	(1/2)	
CO	1.94	0.59 mg/m ³	(1/3)	

World Capital of Sustainable Development

City of Kitakyushu

Promotion of Environmental Cooperation Through City-to-City Network



World Capital of Sustainable Development

City of Kitakyushu

City-to-City Cooperation in South-East Asia

1997	Environmental Cooperation Network of Asian Cities established
1997-2001	Seminar on CP Technologies for Small Enterprises held in Ho Chi Minh, Vietnam
2001-2004	River Environmental Improvement Project conducted in Semarang, Indonesia
2002	Study on appropriate waste management system conducted in Surabaya, Indonesia and Chongqing, China
2003	Cooperation for regional environmental improvement in Cebu, the Philippines, focusing on domestic wastewater treatment
2004	Organization for the East Asia Economic Development was established
2004~2006	Garbage composting project conducted in Surabaya, Indonesia



Guidance on composting at a community in Surabaya, Indonesia



Guidance on monitoring technologies in Cebu, the Philippines

World Capital of Sustainable Development

City of Kitakyushu

Japan-China Recycling City Cooperation Project (Qingdao and Tianjin)

[Purposes] Practical Application of Experience from the Kitakyushu Eco Town Project

To implement cooperative actions for creating a sound material-cycle society in China through the practical application of know-how related to the construction and operation of Eco-Towns owned by local authorities in Japan under an agreement between the Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan and the National Development and Reform Commission of P.R. China.

[Outline of the Cooperation]

① City of Qingdao

- Assisting in making a plan on creating a sound material-cycle society in Qingdao
- Conducting a feasibility study on home appliance recycling project and related technical exchanges
- Inviting administrative and corporate personnel to Japan for training
- Holding a seminar on project achievements for wider dissemination

② City of Tianjin

- Assisting in making a plan on creating a sound material-cycle society in Tianjin
- Introducing policies of Japan and Kitakyushu
- Studying the possibility of exchanges between enterprises
- Inviting Tianjin administrative officers to Japan for training



The Vice Mayors of Kitakyushu and Qingdao signing an agreement at the 2nd Japan-China Joint Forum on Energy Conservation, Environment and Sustainable Development (Sept. 27, 2007, Great Hall of the People in Beijing)



The Mayors of Kitakyushu and Tianjin signing an agreement, accompanied by Chinese President Hu Jintao and Japanese Prime Minister Fukuda (May 7, 2008, Prime Minister's Official Residence in Tokyo)

1 Getting Pollution under Control in Kitakyushu

2 From "Sea of Death" to International Environmental Leadership

3 Three Threats and Key Challenges

3-1 Challenge① A sound Material-Cycle Society

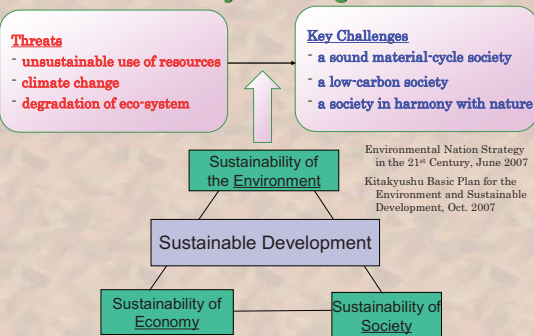
3-2 Challenge② A Low-Carbon Society

4 Towards the "World Capital of Sustainable Development"

World Capital of Sustainable Development

City of Kitakyushu

State of the Global Environment and Key Challenges



World Capital of Sustainable Development

City of Kitakyushu

1 Getting Pollution under Control in Kitakyushu

2 From "Sea of Death" to International Environmental Leadership

3 Three Threats and Key Challenges

3-1 Challenge① A Sound Material-Cycle Society

3-2 Challenge② A Low-Carbon Society

4 Towards the "World Capital of Sustainable Development"

World Capital of Sustainable Development

City of Kitakyushu

Profile of Kitakyushu Eco-Town Project

Practical Research Area

Comprehensive Environmental Industrial Complex, Hibiki Recycling Area

Background

- 1901 Government-run Yawata Steel Mill began operation
- Has grown up to be a material-production base for 100 years
- 1960s Faced serious environmental pollution
- Experience of getting pollution under control by multi-stakeholder engagement ⇒ "Kitakyushu Method"
- 1980s - International environmental cooperation has been conducted

Project results to date (as of Oct. 2007)

- Facilities on practical research: 17
- Industrial plants under operation: 26
- Total investment: about 60.4 billion yen (City: 6.1 billion, National: 11.7 billion, Private sector: 42.6 billion)
- Employee: about 1,200 persons including part-time workers
- Visitor: about 580,000 persons (1998-2007.3)

Eco-Town Project (Phase-I: 1997-; Phase-II: 2002-)

"Win-win policy for environmental, socio-economic co-benefits," playing a leading role toward a sound material-cycle society

City of Kitakyushu

Home appliance recycling project

(Plant)

(Operations)

According to the "Home Appliance Recycling Law," electrical household appliances (TV sets, refrigerators, washing machines, air-conditioners, and freezers) are dismantled and separated to a high degree, producing quality recycled raw materials.

Project leader: Nishimihon Kaden Recycling Corporation (Invested by Toshiba Corp., TERM Corp., Matsushita Electric Industrial Co., Ltd., Hitachi, Ltd., Mitsubishi Electric Corp., Sanyo Electric Co., Ltd., Sharp Corp., Sony Corp., and Fujitsu General Ltd.)

Operation commenced in April 2000

Processing capacity of approx. 750,000 per year

Project with the eco-town subsidies of Ministry of International Trade and Industry

World Capital of Sustainable Development

City of Kitakyushu

Used automobile recycling project

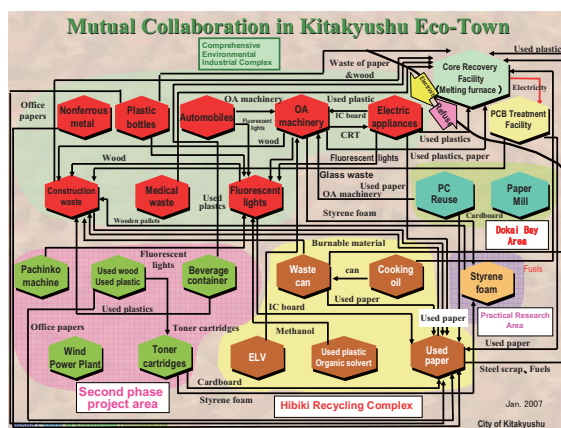
(Plant)

(Operations)

- Used cars are recycled with an improvement in the recycling rate and the promotion of proper treatment of oils and CFCs, producing quality scrap by advanced technology of dismantling and separation.
- Project leader:** West Japan Auto Recycle Co., Ltd. (invested by Yoshikawa Kogyo Co., Ltd., Mitsui & Co., Ltd., Nippon Steel Corp., Nippon Steel Transportation Co., Ltd., Kyushu Metal Industry Company)
- Operation commenced in February 2000**
- Processing capacity of 18,000 cars/year**
- Project with eco-town subsidies of the Ministry of International Trade and Industry**

World Capital of Sustainable Development

City of Kitakyushu



1 Getting Pollution under Control in Kitakyushu

2 From "Sea of Death" to International Environmental Leadership

3 Three Threats and Key Challenges

3-1 Challenge① A Sound Material-Cycle Society

3-2 Challenge② A Low-Carbon Society

4 Towards the "World Capital of Sustainable Development"

World Capital of Sustainable Development

City of Kitakyushu

Transforming into a Stock-Oriented City to Realize a Low-Carbon Society

Promoting the construction of a stock-oriented city with a low-carbon environment where citizens can live rich lives. Aiming for a compact city with a long-life span and low energy consumption by facilitating cooperation with enterprises for efficient energy use in the city and the expansion of green areas, a prominent CO2 reduction factor.

a Formation of Advanced Low Carbon Model 200-Year-Life Town

Formation of advanced model town

Long-term vision for sustainable development

b Construction of Highly Efficient Traffic System

Traffic system incorporating IC cards commonly used for public traffic systems and environmental ITS

c Expansion of Modal Shift Enhancement

Enhancement of the functionality of ferry/RO-RO terminals and railway cargo terminals in view of commodity distribution in Asia

d Construction of Energy Conservation System

Efficiently supplying power generated from a co-generation system and photovoltaic power generation facility

e Construction of Energy Conservation System through Advanced Utilization of Sewage Sludge

As a coal substitute fuel

f Comprehensive Greening Implementation of Woodland Infrastructure

1 million tree planting project for environmental capital

Accelerating the transformation into a low-carbon model urban structure and system!

Construction of Industrial Cluster Supporting Low Carbonization

Promoting the transformation to an industrial structure that can undertake the technological development and production required for a low-carbon society.

Promoting energy and material resources that are to be produced and consumed locally by defining the industrial sector as the source of the energy supply for the city.

Construction of the Next-Generation Heat Industry/Local Energy System

Maximizing the Utilization of Heat Emitted from Factories!

Promotion of Green IT

Construction of Hydrogen Energy Model Area

Resources Produced/Consumed Locally

Formation of Supply Base of Technology Development/Products/Services that Support a Low-Carbon Society

Automobile Electronics Project

Formation of Automobile Industry Cluster Focusing on Environmental Issues

Support for R/D and Commercialization of New Material and Energy Technologies

Significant Contribution to a Low-Carbonization Energy Structure in the Asian Region

Creation of a Rich Society Through the Construction of a Low Carbon Society

Creating new values and a culture that cannot be achieved in a flow-oriented society, and establishing a new paradigm where people, including seniors and children, can live rich lives

Construction of Kitakyushu Carbon Offset Eco Point System

Environment Passport for Kitakyushu Citizens

Kitakyushu Carbon Offset Method

Construction of Comprehensive Support Model for Incorporating Natural Energy

Establishing a unique highly practical system for diffusing natural energy such as photovoltaic and wind energy, in cooperation with banking institutions.

Local Collaboration Platform

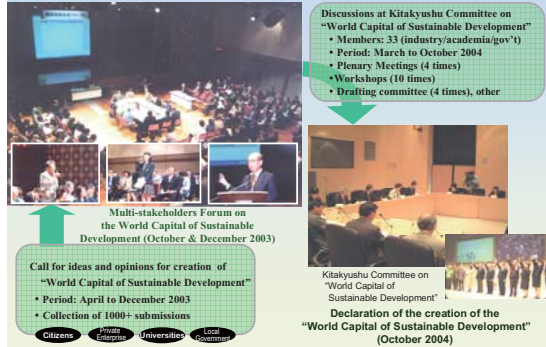
Construction of a platform where various local entities including citizens, NPOs, enterprises, universities, and the administration participate and collaborate

- 1 Getting Pollution under Control in Kitakyushu
- 2 From "Sea of Death" to International Environmental Leadership
- 3 Three Threats and Key Challenges
 - 3-1 Challenge① A Sound Material-Cycle Society
 - 3-2 Challenge② A Low-Carbon Society
- 4 Towards the "World Capital of Sustainable Development"

World Capital of Sustainable Development

City of Kitakyushu

Development of Grand Design on "World Capital of Sustainable Development"



Discussions at Kitakyushu Committee on "World Capital of Sustainable Development"

- Members: 33 (industry/academia/gov't)
- Period: March to October 2004
- Plenary Meetings (4 times)
- Workshops (10 times)
- Drafting committee (4 times), other

Multi-stakeholders Forum on the World Capital of Sustainable Development (October & December 2003)

Call for ideas and opinions for creation of "World Capital of Sustainable Development"

- Period: April to December 2003
- Collection of 1000+ submissions

Citizens Private Enterprise Universities Local Government

Kitakyushu Committee on "World Capital of Sustainable Development"

Declaration of the creation of the "World Capital of Sustainable Development" (October 2004)

Towards Creation of a "World Capital of Sustainable Development"

~ Commitments of Kitakyushu Citizens to Humankind, Earth and Future Generation ~

《Basic Philosophy》

"Creation of a city with true wealth and prosperity, inherited by future generation"

《Three Pillars》

■ Sharing conception of "symbiosis" among all stakeholders

***Social aspect

To view the environmental problems as our own matters, and to be citizens with the highest environmental awareness.

■ Exploring "green growth"

***Economic aspect

To further promote eco-industry, and create a sustainable society through mutual stimulation of environment and economy.

■ Enhancing sustainability of the city

***Environmental aspect

To convert into environmentally less-burden urban structure, and create an attractive city with plenty of nature.



<http://www.eco-stage.jp/>

Kitakyushu Eco Life Stage

For the Environmental Capital of the World

~ Protect Our Planet from Global Warming ~



Stage offered by Kitakyushu citizen groups as a place for presenting environmental activities Through information exchange, environmental awareness and activities have been expanding.

No. of Participants: 120,000/2 days 470,000/Year

Sharing conception of symbiosis among all stakeholders (social aspect)

28

Kitakyushu Eco-Products



Recycled fluorescent tube

Toner cartridge for reuse

Aggregates from Styrene foam

Construction materials from Waste wood/plastic

Livestock litter from used paper

Recycled organic solvent

Road bed materials from Demolition wastes

Steel pellet from waste can

Diesel fuel recycled from waste cooking-oil

Exploring "green growth" (Economic aspect)

City of Kitakyushu

Yahata-Higashida Green Village

— Revitalization/Town Management on Unused Corporate Land from an Environmental Point of View

Target Area: 112 ha



Natural Gas Co-generation Public use initiated in Feb. 2005

Photovoltaic power generation modules installed on the roof of the Kitakyushu Museum of Natural History and Human History in 2006

Kitakyushu Innovation Gallery Opened in Apr. 2007

Higashida Eco Clubhouse Established in Apr. 2004

Environmental Symbiosis Housing Complex

Kitakyushu Environment Museum Public use initiated in Apr. 2004

Car Sharing Public use initiated in Jan. 2005

Enhancing sustainability of the city (Environmental aspect)

30

Kitakyushu City Won the 1st Prize in 2006,07 Environment Capital Contest



Organizer:
All Japan Network of Environment Capital Contest (consisted of 11 NGOs)

"Environment Capital" of Japan: selected from the view of NPOs having initiated environmental movements
Participated by: 74 ('06), 66('07) municipalities across Japan

World Capital of Sustainable Development

City of Kitakyushu

World Capital of Sustainable Development

Thanks for your attention

Creation of a city with true wealth and prosperity to be inherited by future generation.

(5) 熊本市

現代都市資源の利用と管理

～自然・歴史・文化、豊かな資源を活用した熊本市の産業～
熊本市副市長 森田弘昭

1 熊本市のあらまし

熊本市は温暖な気候と豊富な降雨のため、街並みにも緑が多く古くから「森の都」と称される。高速交通基盤等のインフラも整っており、豊かな自然環境の中で、都市生活をおくれる暮らしやすい都市である。

2 豊かな自然資源－地下水都市－

東には世界最大級のカルデラ火山である阿蘇山があり、観光客が多い。高原地帯は夏でも涼しく、近隣には日本でも最も人気のある温泉や広大なゴルフ場など数多くのレジャー施設がある。

熊本市の最大の特徴は豊富な地下水だ。熊本市民の上水道は全て地下水である。他の地域では渇水するような日照りが続いても水不足が起きたことは一度もない。

これを維持するため、地下水保全条例の制定や地下水かん養事業に取り組んでいる。

これらにより、熊本市は今年、日本水大賞グランプリを受賞。

3 歴史と文化資源－城下町都市－

熊本市は城下町として発展、そのシンボルが市の中心部にある熊本城だ。

広さ約100万㎡の壮大な城郭は、市内を流れる河川を巧みに利用した堀と見事な石垣で防御されている。今年の4月、城中でも一際華麗で優美な本丸御殿を54億円を投じて復元。現在は国内外から多くの観光客が訪れている。

4 都市資源を活用した産業

主要産業は、商業やサービス業だが、農業や水産業も盛んだ。米、なす、みかん、メロン、すいかなど、近海ではノリやアサリなどの水産物も豊富。食品加工業も発達しており、味噌、醤油や日本酒の製造も盛んである。

バイオ関連産業も発達を見せており、大学等との共同研究により機能性食品の商品化などに取り組んでいる企業もある。

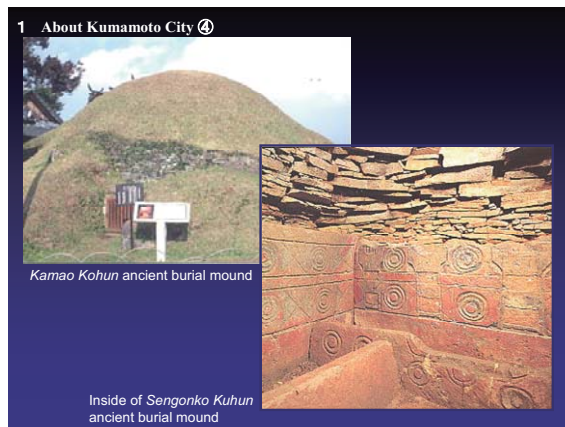
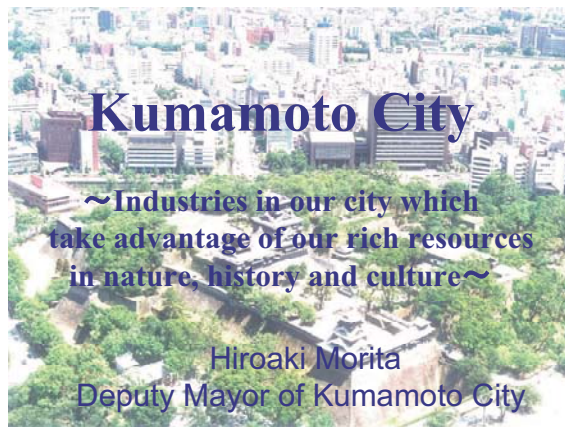
また、熊本市では、生産者と消費者が交流できる食品工業団地「フードパル熊本」を整備。食のテーマパークとして、年間約90万人の来客がある。

熊本市は世界に向けて、安全・安心な食糧を供給する「フードアイランド九州」の中心としての役割を担っていく。また先端技術を競う企業進出も相次いでいる。

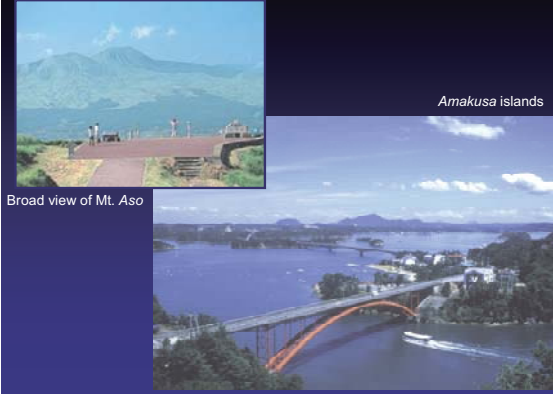
5 これからの都市づくり

熊本市は豊かな地域資源を活かし、九州中央の交流拠点として発展してきた。

今後は、これまでの都市資源や九州新幹線、高速道路などの広域交通網、あるいは情報通信網などの整備が促進される状況を踏まえ、アジア太平洋地域はもとより、広く内外から人々を引き付けるような新しい都市をつくっていききたい。



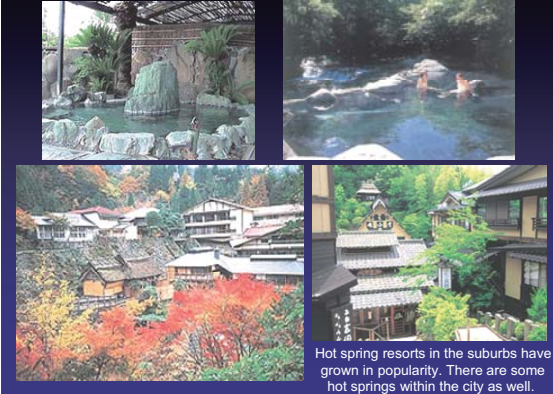
2 Abundant natural resources ①



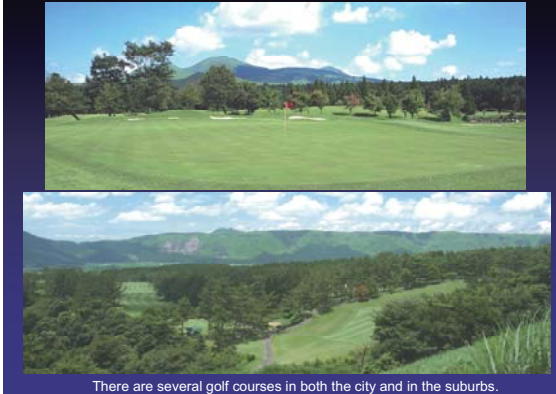
2 Abundant natural resources ②



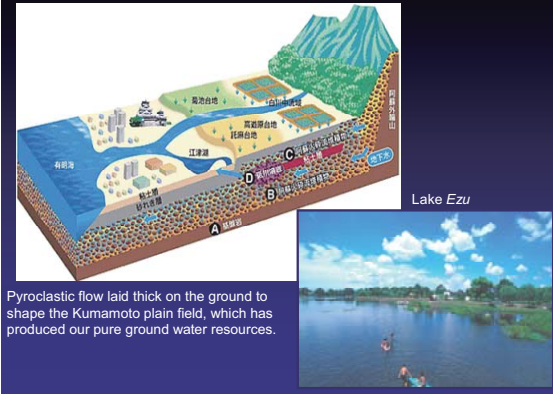
2 Abundant natural resources ③



2 Abundant natural resources ④



2 Abundant natural resources ⑤



2 Abundant natural water ⑥



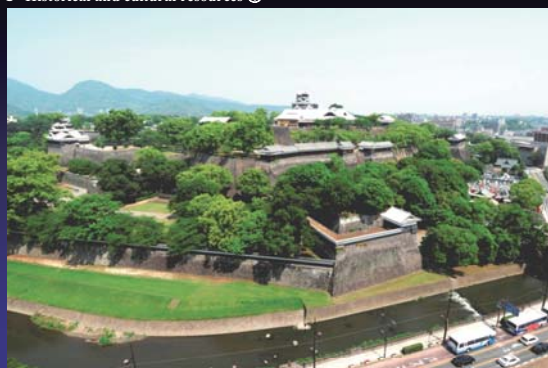
2 Abundant natural resources ⑦



2 Abundant natural resources ⑧

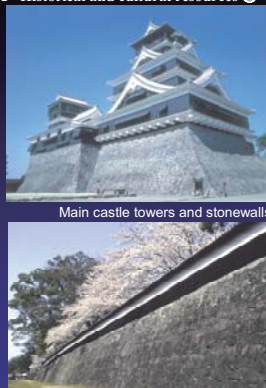


3 Historical and cultural resources ①

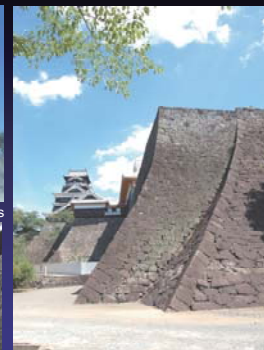


Kumamoto Castle as seen from the City Hall

3 Historical and cultural resources ②



Main castle towers and stone walls



The longest stonewall in Japan which surrounds the castle site.

3 Historical and cultural resources ③



Panoramic view of the Honmaru Goten Palace



Great guest rooms



Kurageri entranceway (underground passage)



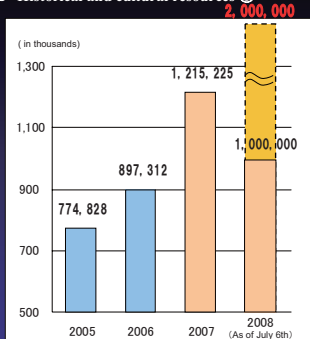
Veranda

3 Historical and cultural resources ④



Shokun hall, the highest ranked room

3 Historical and cultural resources ⑤

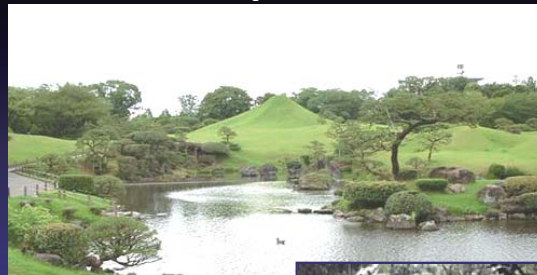


Number of visitors to Kumamoto Castle



The inside of the castle is always filled with tourists.

3 Historical and cultural resources ⑥



Suizenji Park

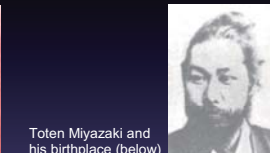


Koshō-ken tea house

3 Historical and cultural resources ⑦



Sun Wen



Tōten Miyazaki and his birthplace (below)



These two men had a talk in this house regarding the revolutionary movement, which is recreated today.

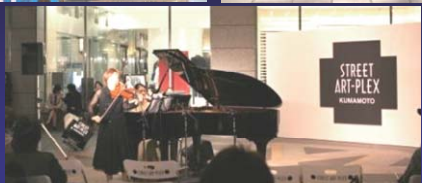
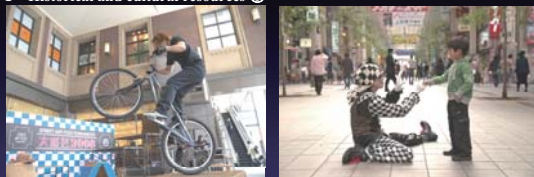
3 Historical and cultural resources ⑧



Celebration of the 25th year anniversary of the sister city relationship with Guilin, China

Li Jiang, Guilin City

3 Historical and cultural resources ⑨



Various performances are demonstrated at the 'Street Art-plex' event so that citizens can enjoy a wide variety of arts.

3 Historical and cultural resources ⑩



Kumamoto City Auditorium



Children's Cultural Center



Kumamoto City International Center



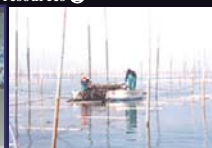
Kumamoto Municipal Craft Hall

4 Industries which take advantage of urban resources ①



Plenty of agricultural products

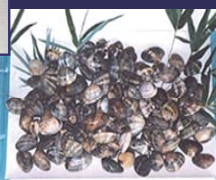
4 Industries which take advantage of urban resources ②



Seaweed harvest



Clam harvest



Plenty of marine products

4 Industries which take advantage of urban resources ③

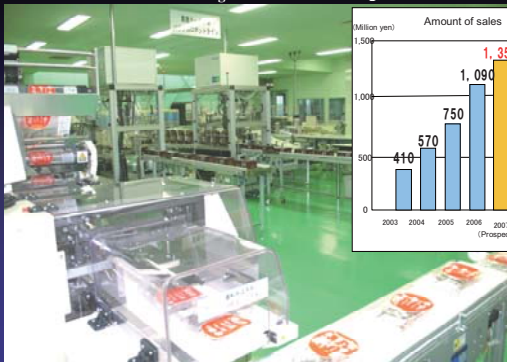


Soy sauce manufacturing plant (Fundodai Corp.)



Japanese Sake manufacturing line (Zuiyo Co., Ltd)

4 Industries which take advantage of urban resources ④



Food factory (Manufacturing line at Fujibambi Co., Ltd)

4 Industries which take advantage of urban resources ⑤



University-based Technology Incubation Center in Kumamoto

4 Industries which take advantage of urban resources ⑥



Foodpal, the food manufacturer industry park



Food Industry Promotion Center

4 Industries which take advantage of urban resources ⑦



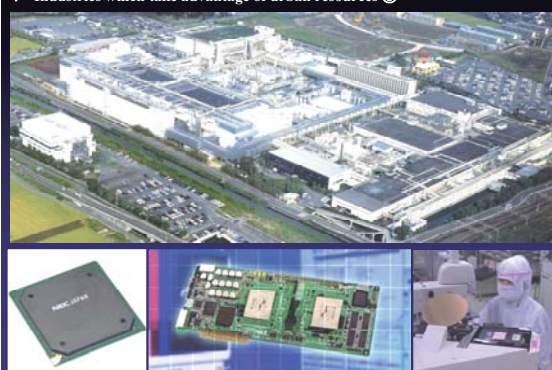
Kumamoto City booth in the Food Expo in Hong Kong

4 Industries which take advantage of urban resources ⑧



The restaurant industry which includes worldwide chains like Shigemitsu Sangyo, a ramen noodle company

4 Industries which take advantage of urban resources ⑨



IC plant at NEC Semiconductors Kyushu

4 Industries which take advantage of urban resources ⑩



Semiconductor factory at Sony Semiconductor Kyushu Corporation

Motorcycle factory at Honda Motor Co., Ltd

4 Industries which take advantage of urban resources ⑪



Universities in Kumamoto City

Entrepreneur cultivation seminar jointly hosted by universities and Kumamoto City

4 Industries which take advantage of urban resources ⑫



Life Science Companies

Solar battery produced by Fuji Electric. It's thin, light and easy to bend.

Kaketsuken, a chemotherapeutic research institute

Saishunkan, a pharmaceutical company



Thank you for your kind attention!

(6) 浦項市

都市経済および社会の持続的発展と環境保全方策

浦項市長 朴承浩

浦項は葦が鬱蒼として茂っている荒涼とした小さな漁村であったが、1960年代末に世界的な鉄鋼メーカーである POSCO が建設され、韓国の鉄鋼産業の中心部となり、韓国の近代化をリードしてきた。現在、51 万人の人口を抱える浦項市は、その面積がソウル市の約 1.8 倍に当たる 1,127 km²に達し、2 の区役所、33 の邑・面・洞の行政区域を有する慶尚北道第 1 の都市である。

浦項は鉄鋼都市として広く知られているが、美しい海や海岸線などに恵まれた地域でもある。現在、都心の水辺空間の再開発を通じて、空洞化された都心を再活性化するとともに、都市のイメージを新たに構築するための事業を行なっている。このような再開発事業については、それぞれの特性に合わせて歴史性を生かすとともに、環境にやさしい方向で行なっていく計画だ。

グリーン都市および持続可能な地球の実現は、いかに個別の国に共通の目的を持たせ、それに見合った適切な行動をさせるかに、その成否がかかっている。それを成功させるには、まず地域の環境保護および持続可能な開発の実践がいかに重要であるか、また共同協力がいかに必要であるかについて、コンセンサスの形成が先行されなければならない。これに向けて、会員都市の政治家、行政専門家、学識者または関連機関がネットワークを形成し、共通の認識を保有し、情報交流および協力を活性化する必要がある。

さらに、各種の環境問題には、問題を直接解決できる環境産業の役割が何よりも重要である。環境産業の分野は水質、廃棄物の処理、土壌の浄化など多岐にわたっており、これに必要な技術やノウハウを相互共有し、普及させることが重要である。

21 世紀に入って世界は、グローバル化、情報化などを背景に、地域間の境界が取り払われ、利害関係を中心にブロック化が進んでいる。特に、「都市経済および社会の持続的な発展と環境保全方策」の分野は、地方自治体レベルでアプローチすることが非常に困難な問題である。

本日の話し合いの場では、上記の分野に対する地方政府レベルでの具体的な協力および発展方策について、アジェンダをともに作成することを提案する。そうすることで、実質的な交流協力を促進し、アジア・太平洋経済圏を具体化するとともに、アジア・太平洋時代における経済中心として浮上する、希望に満ちた明るい未来を実現できると思う。

Ways to Facilitate Sustainable Economic and Social Development and Protect Environment

Global POHANG

"Everybody's dream city, Pohang"

No. 1 City in Gyeongsangbuk-do Province
with the Population of 510,000

- Logistics-based Global City
- Business City with Overflowing Creativity and Vitality
- Environment-friendly City with a pleasant & good-to-live-in Condition
- Education & Information City leading the Nation's Knowledge
- Culture & Art City with Beauty and Dignity



"Steel Industry & High-tech Science Industries Complex"

- Industrial complexes of 5,506 acres 726 companies in one operation
- Asia's Best Research-oriented university - POSTECH
- Tech Valley
- New Steel Industry Complex
- Development of National Industrial Complex for Earth and materials



"Pohang, the Strategic Point of International Trade, which leads the Pan-East Sea Rim"

- Opening of the Youngilman Port with its Container Port
- Development of Industrial Complexes of 6,535 acres
- Designation of Free Trade Zone
- Hosting the 2009 Conference of Major Cities in the East-sea Rim Region



"Construction of Environment-friendly Self-sustaining Global Community through Mutual Cooperation"

Destruction of the Natural Eco-system

- Typhoons and Storms
- Disruption of the Ozone Layer
- Extinction of Living Creatures

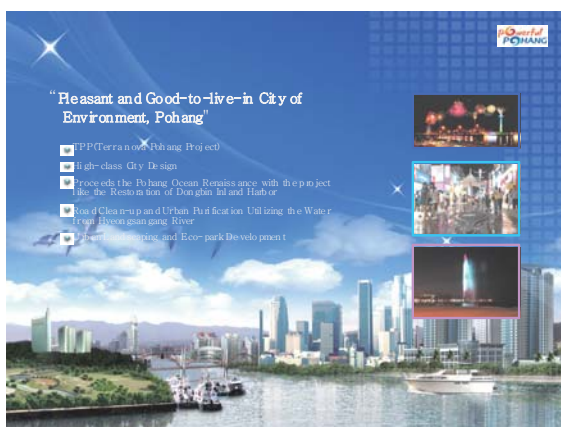
Minimized use of Natural Resources

Environment Friendly Life Style



"Environment-friendly City that Co-survives with the Nature"

- Gyeongsangbuk-do Province Arboretum
- Doem Forest Culture Center
- Sabang (Erosion Control) Memorial Park
- Deokdong Eco Park



"Pleasant and Good-to-live-in City of Environment, Pohang"

- PPTerra new Pohang Project
- High-class City Design
- Proceeds the Pohang Ocean Rejuvenation with deep project like the Restoration of Donggha Island Harbor
- Land Cleanup and Urban Purification Utilizing the Water from Hyosan-gang River
- Development of Living and Eco-park Development

Thank you



POHANG CITY

（７）福岡市

福岡市の都市景観行政

福岡市長 吉田宏

都市は、人間が創造した文化であり、したがって、その都市の姿、都市景観も文化の一部であるといえることができる。

本市においては、個性を生かした都市景観の創造と保全をめざし、1987年に都市景観条例を定め取り組みを始めた。

本市の都市景観形成理念として、福岡らしい地域特性を活かす視点から次の４点を掲げている。

１．「都市景観は市民の共有財産である」

一つひとつの建築物などは個別に所有されているものだが、それらによって形づくられる景観は、市民共有の大切な財産であることから、行政として適切に指導、誘導を行っていく必要がある。

２．「市民参加による都市景観の形成」

都市景観は企業や市民の活動によって形成されていくものであり、企業や市民の意識や関心を高めていく必要がある。

３．「長期的な視点をもつ」

都市景観は長い年月を持って形成されてきたものであり、今後も長期的な視点を持って将来的に良好な都市景観を形成していくことが重要だ。

４．「地域性、個性を活かす」

景観形成においては、福岡市らしい、また、その地区らしい特性を活かすという地域性、個性に対する視点が大切であると考えている。

福岡市では、1987年に制定した都市景観条例に基づいて様々な景観施策を展開しているが、ここでは主なものとして、３つの施策について紹介する。

１．「都市景観形成地区の指定」

新しい開発地区や際立つ特性を持つ地区などを指定することにより、将来にわたって優れた都市景観を保ち、形成していくために、地区特性に応じて定められた都市景観基準に沿って、地区内の建築行為を誘導する制度。

２．「大規模建築物等の届出」

都市景観の形成に大きな影響を与える大規模な建築物について、新築の機会をとらえ、建築物のデザインや緑化をはじめとするガイドラインに沿って誘導を行う制度。

３．「都市景観賞の表彰」

景観上すぐれた建築物や市民活動などの関係者を年１回表彰し、事業者のモチベーションや市民の関心を高めている。

このような景観施策を継続していくことにより、さらに質が高く美しい街並み、歴史や伝統、文化を感じさせる景観を創出し、都市としての価値の向上を目指したい。

その結果、市民が郷土（ふるさと）に愛着と誇りを感じ、さらには内外からの外来者や人材を呼び寄せる事にもつながり、新たな経済活動や文化・芸術活動などを生み出す原動力となるものと考えている。

The 8th Asian-Pacific City Summit

第8届亚太领导人会议

Public Administration for Urban Landscape

福岡市的城市景观政策

Fukuoka City
福岡市

福岡市
Fukuoka City

Population : 1.43 million

Land Area : 341 km²



Landscape as a city's culture 城市景观文化

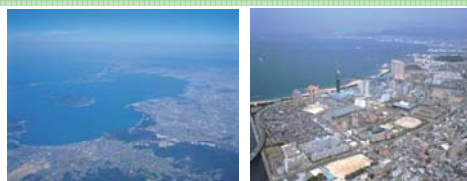
A city is a culture molded by its people. Thus, the city's appearance and landscape form a part of its culture.

城市是人类创造的文化，市容市貌、城市景观都是文化的一部分。

Landscape Development Principles 城市景观形成的理念

- ① City Landscape is an asset shared by citizens
城市景观为市民的共有财产
- ② Participatory development of city landscape
城市景观由市民的参与而形成
- ③ Having a long-term perspective 长远的眼光
- ④ Reflecting regional characteristics and individuality
充分展现其地域性及个性

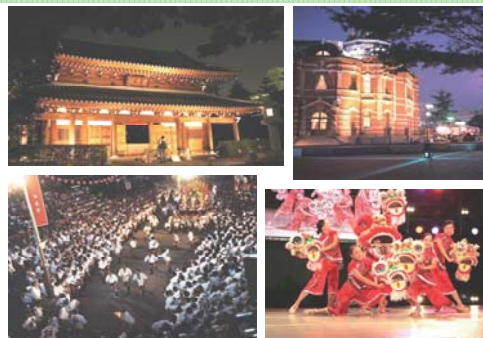
Introduction to landscapes unique to Fukuoka The Sea 景观的特征 ~大海~



Greenery ~绿化~



History & Culture ~历史·文化~

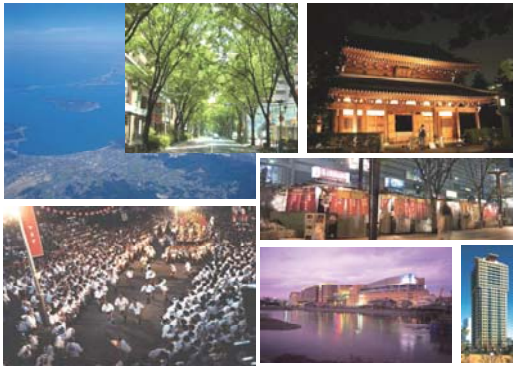


Downtown Areas ~市中心~



Buildings & Public Art ~张扬个性的建筑及艺术~





Milestones of Urban Landscape Development

城市景观行政的主要措施

Urban Landscape Ordinance was enacted in 1987

城市景观条例 (1987年实施)

Ordinance 城市景观条例

Master Plan 城市景观形成基本计划

Guidance 景观指导

Incentive 意识高涨

Designation of Landscaping areas

指定城市景观形成地区

Notification of buildings higher than 31m or with a floor area of over 10,000m²

大型建筑物等的申报

Urban Beautification Award

表彰 (城市景观奖)



Outdoor Advertisement is Regulated in Seaside Momochi Area

海滨百道地区的室外广告規制

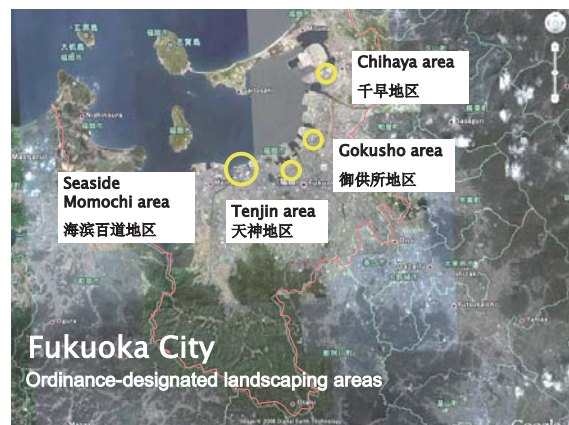


Example: Advertisement in high places (names only)

例如: 高处禁止设置除了名称以外的广告物

Informative advertisement is allowed only in low places

广告集中在低层部分



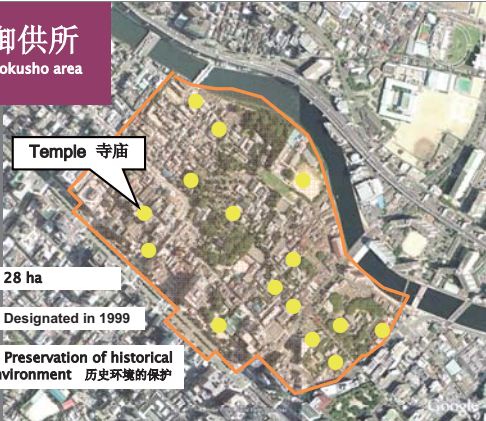
御供所 Gokusho area

Temple 寺庙

■ 28 ha

■ Designated in 1999

■ Preservation of historical environment 历史环境的保护



御供所 Gokusho area



Traditional Merchant Houses & Festival

传统街道及传统节日



御供所 Gokusho area

御供所 Gokusho area

Hakata Tomyo Watching
博多赏灯会



Landscape Renovation Project

待修缮的景点建筑

御供所 Gokusho area



Challenges 城市景观形成所面临的问题



御供所 Gokusho area

Clean City Fukuoka ~ Waste Collection System

美丽的城市福冈~垃圾夜间按户收集



Thank you for your attention!

谢谢!

Fukuoka City
福岡市



（８）宮崎市

景観とまちづくり ― 九州一の景観都市に向けて ― 宮崎市長 津村重光

宮崎市は、温暖な気候風土に恵まれ、南北に続く海岸線によって南国的色彩の豊かな都市だ。自然豊かな景観を多数有し、「太陽と緑」に象徴される国際観光リゾート都市として発展している。その一方で、市街地やその近辺において、良好といえない景観も数多く存在している。

これまでのまちづくりは、経済性、機能性を優先して進められてきた結果、自然や街並み等の景観に配慮がなされずに開発が進んだ。結果として、自然環境の破壊や、個性の無い街並みの広がり、観光客の低迷など、様々な問題をもたらしている。

本市では「九州一の景観都市」を政策目標の一つに掲げ、国際観光リゾート都市にふさわしい「美しいふるさと宮崎」創りのため、景観形成に力を入れてきた。

なお、景観行政を推進するため、２００５年４月に景観課を創設し、各種業務に取り組んでいるところだ。

<主な取り組み>

- 「宮崎市建築物等色彩ガイドライン」の作成
- 建築物の高さについての指導や助言
- 屋外広告物の大きさ、高さ、色彩、デザインの指導、助言
- 公共施設の外壁にツル性の植物を這わせ、建築物を緑化する「アイビー大作戦」の実施
- 市民、事業者、行政協働の景観形成事業の実施

<景観に関する学習の場の提供>

- 景観に関する市民の海外派遣研修
- 市内の中学生対象の景観教室の実施
- 市民を対象とした講演会、勉強会、「オープンガーデン市民見学会」等の実施

<景観形成の意義>

- （１）地域への誇りと愛着をはぐくむ、快適な住環境の創出
- （２）多くの人々が訪れる県都としての魅力の向上や観光・交流の促進
- （３）住民主体の景観づくりの取り組みによる、まちの活力の向上

今後も市民、事業者に対して、景観に対する正しい知識を伝えていくとともに、景観に対する興味を持ってもらい、最終的には、市民自らが景観の形成に取り組んでいけるように支援しながら、宮崎らしい特色あるまちづくりを進めていきたいと考えている。



景観とまちづくり
Landscape and Urban design
 ～宮崎市の取組み～

「九州一の景観都市に向けて」
 Miyazaki aiming at the highest quality for landscaping in Kyushu

第8回アジア太平洋都市サミット第2分科会
 The 8th Asian-Pacific City Summit: Sub-committee No.2

宮崎市の概要
Outline of Miyazaki City
「活力と緑あふれる太陽都市～みやざき～」
 The Sunshine City where vitality and greenery is abundant

- ・人口(Population)約370,000人
- ・面積(Area)596km²
- ・2006年1月周辺3町合併
- ・健康福祉、ボランティア、教育文化、環境、景観、子育て支援で九州一を目指す
- ・国際観光リゾート都市
- ・スポーツランドみやざき

日本代表チームキャンプ(野球・女子ソフトボール)
 The Japanese Sports Camp (Baseball and Women's Softball)

プロゴルフトーナメント(みやざきゴルフマンス)
 Professional Golf Tournament (Miyazaki Golf Month)

宮崎市の景観
Landscape of Miyazaki City

宮崎市の景観
Landscape of Miyazaki City

宮崎市の景観
Landscape of Miyazaki City

宮崎県庁前の楠並木
 Camphor Trees in front of Prefectural Government

宮崎市の景観
Landscape of Miyazaki City

広告物の乱立
 Lots of advertisement
上空を覆う電線
 Electric wire with which the sky is covered

画一的な公共構造物
 Standardized public construction

景観を悪くしている
 Landscape has been deteriorated

宮崎市とヨーロッパの街並み(1)

Miyazaki City – European Cities (1)



宮崎市
Miyazaki City



ドイツ(ハイデルベルグ)
Germany (Heidelberg)

宮崎市とヨーロッパの街並み(2)

Miyazaki City – European Cities (2)



宮崎市
Miyazaki City



フランス(パリ)
France (Paris)

宮崎市とヨーロッパの街並み(3)

Miyazaki City – European Cities (3)



宮崎市
Miyazaki City



ドイツ(ハイデルベルグ)
Germany (Heidelberg)

■これまでの街づくり Current city planning

経済・機能性を優先 ⇒ 様々な弊害が発生

Gives priority to economy and functionality

Various evils occur

(市街地における緑の喪失や、周辺と調和しない建築物など)



目標:『九州一の景観都市』

Aim: To Become a City with the Highest Landscape Quality in Kyushu

国際観光リゾート都市にふさわしい

「美しいふるさと宮崎」の形成

Creation of a suitable "Beautiful home Miyazaki" international resort city

宮崎市の取組み Approach of Miyazaki City

●建築物の色彩に関する規制・誘導 Restriction and guidance concerning colors of buildings



宮崎市の取組み Approach of Miyazaki City

●屋外広告物の規制・誘導 Restriction and guidance concerning outdoor advertisement



事前協議時
Before consultation



協議後(色の反転)
After consultation (change of color)



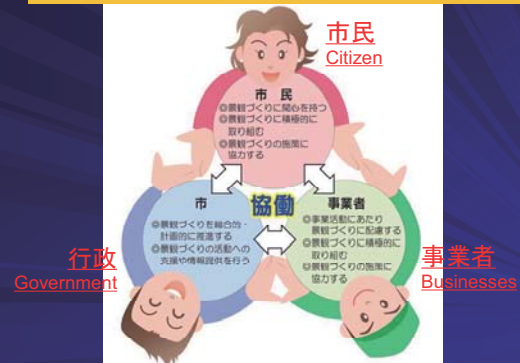
宮崎市の取組み Approach of Miyazaki City

●アイビー大作戦 Ivy main strategy

公共施設の壁面や屋上をツル性植物で緑化
The wall and the rooftop in communal facilities are greened with tendril plants



景観づくりは協働から Landscaping by cooperation



宮崎市の取組み Approach of Miyazaki City

●市民や事業者とのワークショップ Workshop with citizen and businesses



宮崎市の取組み Approach of Miyazaki City

●違反広告物の撤去 Removal of unauthorized advertisements



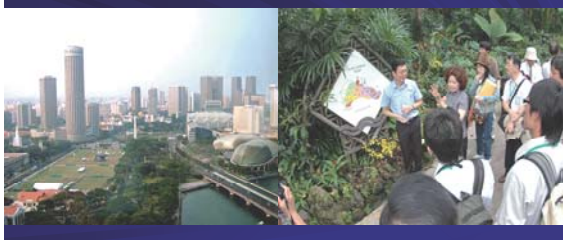
●花いっぱい！の景観づくり Landscape-making with flower



宮崎市の取組み Approach of Miyazaki City

●景観海外派遣研修 Landscape study tour

景観の先進国(シンガポール共和国)に市民を派遣
Citizens are sent to the Republic of Singapore, an advanced country in landscaping



宮崎市の取組み Approach of Miyazaki City

●景観教育の実施 Landscape education

中学生に景観をテーマにした授業を実施
A lesson focused on landscape is given to junior high school students



宮崎市の取組み Approach of Miyazaki City

●景観まちづくりのつどい

Seminar of urban design



●オープンガーデン 市民見学会

Private residents' gardens tour



景観形成の意義

The meaning of landscaping

1. 地域への誇りと愛着をはぐむ快適な住環境の創出

Creating a pleasant living environment by fostering proud and awareness towards the region

2. 多くの人々が訪れる県都としての魅力の向上や観光・交流の促進

Improving attractiveness and tourism visitors promote exchange

3. 住民主体の景観づくりの取組みによるまちの活力の向上

Improving the vitality of by building landscapes that are maintained by residents

「橋通りの公園化」 イメージ

Turning into a park
"Tachibana Street"





（９）長崎市

長崎市の景観

長崎市副市長 椎木恭二

＜都市景観基本計画の策定＞

長崎市民は、単なる利便性や効率性の観点からまちづくりを考えるのではなく、長崎の歴史や個性に立脚した文化的資産を活かしたまちづくりが大切であることに気づき、活動するようになった。

このことを受け、そこに住みたくなるような、また、訪れたくなるような街を、景観形成によるまちづくり手法で実現するため、長崎ならではの「都市魅力の強化」を目標として「都市景観基本計画」を策定した。その２つの柱として、以下の考え方がある。

1. 「長崎ならではのもの」として、海や山から眺められるパノラマ景や夜景などの大景観や都市のシルエットの魅力を引き出し、育成していく
2. 「今長崎に必要なもの」として、ともすれば埋没し、忘れられがちなまちすじやまちかどに刻まれた歴史的な景観を顕在化するとともに、広告物の誘導や公共施設の景観への配慮、緑化の推進などにより、都市空間としてのまちの快適性を高めていく

＜具体的な取り組み＞

- 景観形成地区の指定
- 大規模建築物計画の事前の届出制度の実施
- 地区毎に推奨する色彩範囲の設定
- 都市サインの計画的な整備
- 屋外広告物の規制と指導
- 違反広告物除却推進運動の実施
- 景観賞の贈呈、景観まちづくり地域団体に対する活動費の補助などの支援・啓発事業

＜新たな観光への取り組み＞

長崎は、海外との交流の中で発展してきたことから、重層的な歴史が刻み込まれた長崎独特の街並み景観がまちの随所に見られる。そこで、これらの歴史資産をまち歩きをしながら楽しめる、新たな観光スタイルの「長崎さるく」を観光施策として展開している。

この他、長崎における春節祭として毎年ランタンフェスティバルが開かれており、冬の寒い時期の一大イベントとして賑わいを見せている。

＜イノベーション＞

長崎では、これまでに福岡、大分などの主要都市や長崎空港と結ぶ高速道路が整備され、来年には長崎港の国際観光埠頭の整備が予定されている。また今後 10 年の間に新幹線が長崎へ乗り入れ、陸の玄関口としての新長崎駅の建設や長崎駅周辺の再開発が進められることとなっており、長崎は大きく変貌しようとしている。これらのアクセス手段の改善や新たなまちづくりと、歴史的、文化的資源の観光的活用を総合的に推進していくことが、長崎市にとってのイノベーションであり、長崎という都市の品格を磨き、経済の活性化へと繋がっていくものと考えている。

創建当時の長崎



Nagasaki
at the Time
of Founding

めがね橋
Spectacles Bridge



眼下に広がる長崎の街並み
Nagasaki's Scenery Stretching out Below



国際斜面都市会議
International Slope-Town Conference



東山手洋館群
Western-style Houses in
Higashi-Yamate



旧香港上海銀行長崎支店
Former Hong Kong & Shanghai
Bank Nagasaki Branch



まちの案内板(サイン)
Town Signpost



さるく観光 Saruku Tours





新地中華街
New Chinatown



ランタンフェスティバル点灯式
Lantern Festival Lighting Ceremony

中国ランタン
Chinese Lanterns



龍踊
Dragon Dancing



中国雑技
Chinese Acrobatics

獅子舞
Lion Dancing



皇帝パレード
Emperor's Parade

媽祖行列
Mazu Procession



長崎駅周辺 完成イメージ (模型写真)
Area Around Nagasaki Station (Proposed Development)



長崎から心よりお待ちしております
We are looking forward to seeing you in Nagasaki



(10) 上海市

環境保全を強め、上海の持続可能な発展を促進する

上海市人民政府副秘書長 尹弘

上海は経済中心都市で、経済総量が大きく、発展スピードが速く、人口密度が高い一方、都市面積が狭く、環境容量が限られていて、経済の発展及び歴史的に未解決な問題により、環境にますます大きなプレッシャーをかけている。従って、上海は、構造・配置が合理的で、資源が有効に利用され、人と自然が調和良く共存する持続可能な発展の道を歩むしかない。2010年万博を開催し、また、テーマである「ベターシティ、ベターライフ」を実践するためにも、資源を節約し、環境にやさしい街づくりの重要性と緊迫性が一層強められている。

1. 近年、上海は持続可能な発展戦略を徹底するため、汚染排出削減を核心とし、環境保全3カ年行動計画を足掛りにし、経済・環境が調和して発展できるよう、取り組んできた。以下はその内容である。

- 産業構造・配置の調整を強化し、経済発展方式の転換を逐次推し進める。
- 環境影響評価と総量コントロールを強化し、源から経済と環境の調和を促進する。
- 環境インフラ建設を通じ経済的かつ有効に汚染を削減する。
- 環境保全の体制とメカニズムを改革し、「行政が主導・全社会が共同推進」という環境管理体制の構築に努める。

2. 今後数年、上海は2010年万博の開催を契機とし、資源節約型、環境にやさしい街づくりを加速させ、持続可能な発展のレベルをさらに向上させようとしている。そのために以下のことに取り組んでいる。

- 省エネ・排出削減を突破口とし、環境保全をもって経済発展の優良化を図る。
- 環境保全3カ年行動計画を足がかりに、都市の生態系環境の品質をさらに改善する。
- 国家環境保全モデルシティの建設を契機に、環境にやさしい生産と生活様式の形成を推し進める。

ここ数年、上海は経済社会と環境保全の協調した発展のため、有益な模索をしてきた。この度の第8回アジア太平洋都市サミットを通じ、他都市の貴重な経験を参考に、上海の持続可能な発展水準を更に向上させ、経済がより繁栄し、社会がより調和し、生態環境がよりやさしい近代化国際大都市を世界に見せようと努力していく。

(11) ウラジオストク市

ウラジオストク市紹介

ウラジオストク副市長 アレクサンダー・ズブリツキー

1991 年 9 月 20 日に連邦大統領命令によって外国人に開放されて以来、ウラジオストク市はアジア太平洋地域との交流に努め、この地域の多くの都市と友好関係を結んできた。現在、対外経済貿易のつながりを強化することに力を入れている。

ロシアのメドベージェフ大統領とプーチン首相は、ロシアの極東に高知能型技術センターを建設した。現在、ロシアの東部で新たな現代化文明社会を建設する措置を検討している。ウラジオストクは非常に若い街だが、ロシアでも有数の短期間で変革を遂げた街でもある。

ウラジオストク市は、地理的なアドバンテージがある。アジア太平洋地域とロシア本土をつなぐ中継点で、2010 年の 7 月 2 日に我が市は市政 150 周年の記念イベントを行う予定だ。

2007 年、ロシアは「極東ザバイカル地域長期発展プログラム」を承認して、国がこの地域の交通、エネルギーなどのインフラの投資を負担することを決めた。これと同時に、「アジア太平洋地域における国際協力センターとしてのウラジオストク市発展案(2008～2012)」も国に承認され、2,801 億 5,600 万ルーブルが投入される予定だ。そのうちロシア連邦の予算は 2,022 億ルーブル、沿海地方からは、177 億ルーブルが投入される。この案の主要目標は、

- 現代的な空港ターミナルの建設
- 大陸と島をつなぐ橋梁の建設
- 沿海地方の道路及びその他のインフラ整備
- ルースキー島（ロシア島）のインフラ整備。APEC のための 7,000 人収容可能の会議センターの建設など

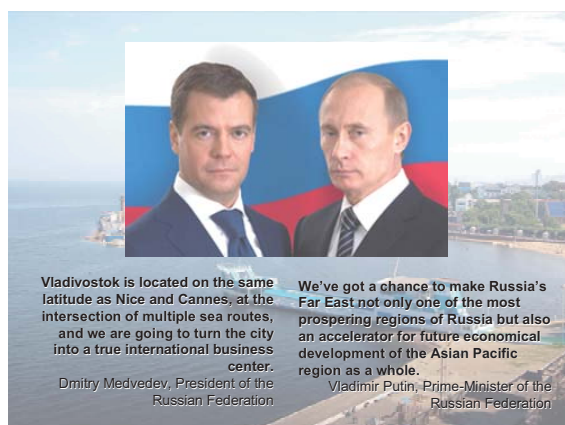
この計画の実行を保証するために、ロシアのシュワロフ第一副総理を委員長とする組織委員会を設立した。彼は同時に極東ザバイカル地域社会経済発展委員会の主席でもある。現在、我々はまたとないチャンスを迎えている。極東ロシア経済を牽引する地域をつくりあげるチャンスだ。

2012 年に APEC サミットが行われることが決定した。APEC はウラジオストクがアジア太平洋地域のパートナーと協力を拡大する絶好のチャンスになるとプーチン首相は指摘した。我々にとってこれは単なる大型なイベントではなく、このイベントを利用して、我が市を大型かつ認知度の高い国際協力センターにしていくつもりだ。



Vladivostok is the city of European culture in the Far East. Today Vladivostok is the only large European city on the Asian coast of the Pacific Ocean. Due to its unique geographical position Vladivostok is meant to be a place that brings various cultures together. This is our historical mission.

Igor Pushkaryov,
Mayor of Vladivostok

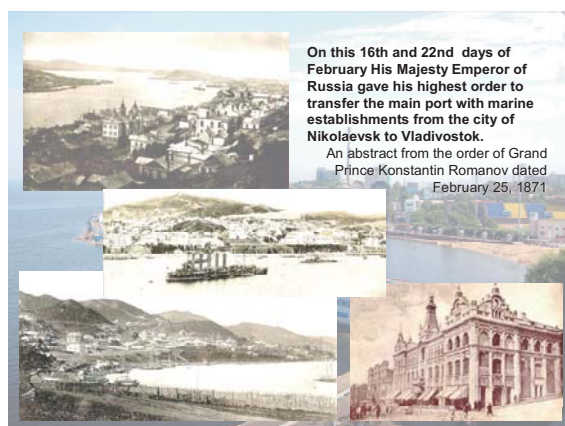
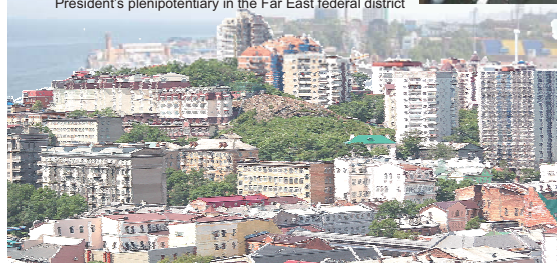


Vladivostok is located on the same latitude as Nice and Cannes, at the intersection of multiple sea routes, and we are going to turn the city into a true international business center.
Dmitry Medvedev, President of the Russian Federation

We've got a chance to make Russia's Far East not only one of the most prospering regions of Russia but also an accelerator for future economical development of the Asian Pacific region as a whole.
Vladimir Putin, Prime-Minister of the Russian Federation

We are prepared to complete very ambitious international projects and to start reliable mutually advantageous cooperation at all the levels and in various forms. This is of special importance in the light of future APEC Summit planned to be hosted in Vladivostok in 2012.

Oleg Safonov,
President's plenipotentiary in the Far East federal district

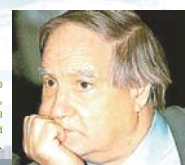


On this 16th and 22nd days of February His Majesty Emperor of Russia gave his highest order to transfer the main port with marine establishments from the city of Nikolaevsk to Vladivostok.

An abstract from the order of Grand Prince Konstantin Romanov dated February 25, 1871

The comparative study of population dynamics in Europe and Asia shows that in the nearest future the center for the population growth will transfer to the Asian Pacific region.

Сергей Калинин, академик, президент Евразийского физического общества, член Европейской академии наук, член Римского клуба, Манчестерского литературного и философского общества. Лауреат премии Калинга (ЮНЕСКО).



Subprogram: Developing Vladivostok as an Asian Pacific International Cooperation Center in 2008-2012 (284 bn. 156 mln. rubles)	
Federal budget	202.2 bn. rubles
Primorsky region's budget	17.7 bn. rubles
Off-budget sources	64 bn. rubles



Main objects of the subprogram Developing Vladivostok as an Asian Pacific International Cooperation Center in 2008-2012:

- reconstructing and upgrading Knevichi airport;
- constructing bridges connecting island and land parts of the city as well as Muraviev-Amurski peninsula where Vladivostok is located with the opposite coast of the Ussury Bay;
- developing road infrastructure of Primorsky region;
- developing APEC Forum infrastructure on Russky island including conference hall with a capacity of 7,000 people, 3,4 and 5 star hotels and multi-purpose medical center. ;
- Constructing waste treatment facilities;
- Cleaning water areas of the Amur and the Ussury Bays.
- Комплекс очистки прилегающих к Владивостоку морских заливов.

We will use APEC Forum's events to boost the development of Vladivostok as a key city of the region.
Igor Shuvalov, First Deputy Chair of the Russian Federation Government



It is our priority to construct objects of high technological standards to ensure long term ecological well-being of Vladivostok.

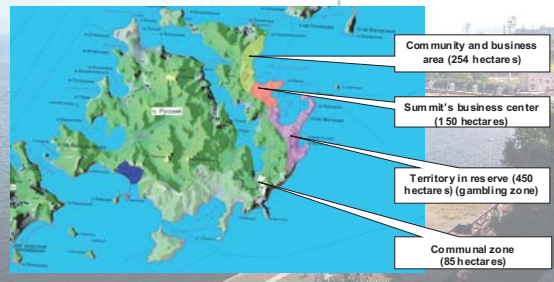


Igor Pushkaryov,
Mayor of Vladivostok



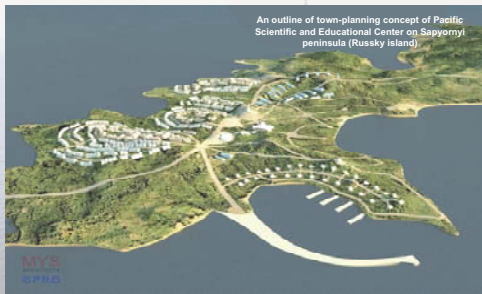
Hosting APEC Summit in Vladivostok does not mean huge expenses only. After the Summit Primorie's capital may receive huge benefits too, because event of such a scale is sure to attract large businesses to the region.

Sergei Lavrov,
Russian Federation Minister for Foreign Affairs



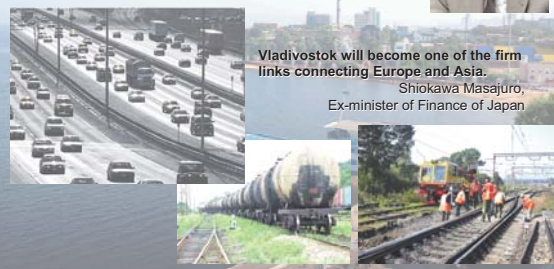
Far East Federal University is to become not only an institution of higher education but also a kind of dominating intellectual establishment of the region. A center of attraction. An engine for Russia's Far East development. It will become one of the most prominent educational and scientific centers both in Asian Pacific and in the whole world.

Vladimir Putin, Prime-Minister of the Russian Federation



After Chita-Khabarovsk highway is completed, the world's longest motorway with the total length of 10 thousand kilometers will come into operation. It will link Vladivostok to Moscow and Europe.

Alexander Zhukov, Deputy Chair of the Russian Federation Government.



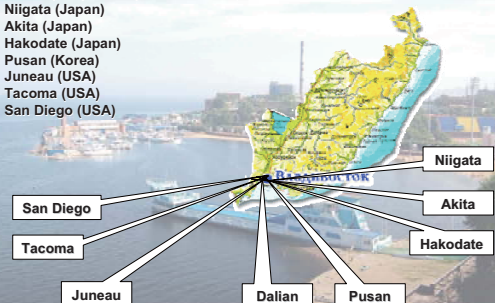
Vladivostok's investment projects

- ☐ Sister Cities Park
- ☐ International Exhibition Center
- ☐ Consuls' Street
- ☐ Новый жилой микрорайон
- ☐ Объекты социально-культурного и спортивного назначения



Vladivostok's sister cities

- ☐ Dalian (People's Republic of China)
- ☐ Niigata (Japan)
- ☐ Akita (Japan)
- ☐ Hakodate (Japan)
- ☐ Pusan (Korea)
- ☐ Juneau (USA)
- ☐ Tacoma (USA)
- ☐ San Diego (USA)



I liked the city immensely. I will take good impressions of the city back with me.

Mikhael Kantzler, Consul General of Germany in Novosibirsk city.

I feel very optimistic about the completion of the joint projects. And I am sure our collaboration will be fruitful and mutually advantageous.

Thomas Armbruster, Consul General of the USA in Vladivostok



**С открытым сердцем
Владивосток ожидает
в гости всех наших партнёров
и друзей.**



(12) ウルムチ市

環境にやさしい都市を構築し、経済社会の持続可能な発展を促進する ウルムチ市長 ジェルラ・イサムディン

環境にやさしい都市を構築し、経済社会の持続可能な発展を促進することによって、人と自然が調和良く共存することを実現するのは、いつでも各地の都市発展の目標である。ウルムチ市は中国西北部、新疆ウイグル自治区の首府であり、中央アジアの中心に位置している。昔からシルクロード東西文化の中枢地として繁栄し、歴史が長く、自然資源が豊かで、商業貿易および特色ある観光資源に恵まれ、様々な民族の風俗がある、中国西部の魅力ある新興都市である。

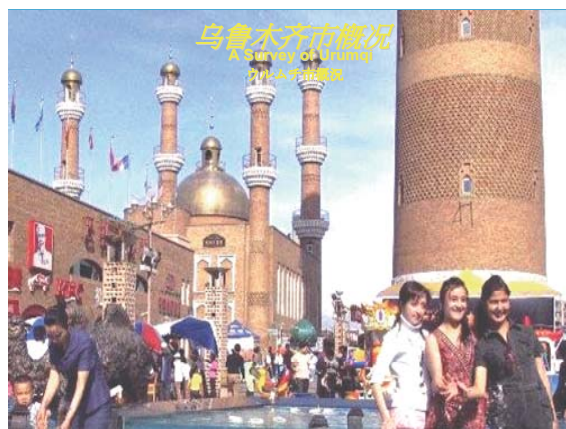
ここ数年、ウルムチ市は国の「西部大開発」政策の実施という歴史的な機会をしっかりとらえ、国務院の「新疆の経済社会発展のさらなる促進についての考え方」の精神を入念に実行している。ウルムチ市を中央アジア地域の現代的な国際ビジネスセンターや工業中心地とすることに重点的に取り組んできたことから、我が市は目覚ましい発展を遂げてきた。当面、ウルムチ市は環境にやさしい都市の構築を確固として進め、経済社会の持続可能な発展を強化している。私たちがその過程で経験したのは以下の通りである：

1. 市街地の機能配置を最適化し、地域統合を促進していくことによって、環境にやさしい都市の構築を推進し、持続可能な経済社会発展を強化することができる。
2. 持続可能な発展にこだわり、経済発展方式の転換を加速することが、持続可能な発展を実現し、環境にやさしい都市を建設するための唯一の方法である。
3. 都市の生態系の構築のインパクトと勢いを増大し、居住環境を改善することは、環境にやさしい都市を構築し、持続可能な発展を実現するための有効施策である。
4. “青空プロジェクト”を実施して、環境の質を向上させることが、環境にやさしい都市を構築し、持続可能な発展を実現するための鍵となる。

環境にやさしい社会は、新しい人類社会の発展のかたちで、持続可能な発展を続ける都市の特定の形態である。環境にやさしい都市を構築するのは私たちの共通目標で、また長期にわたる総合的なプロジェクトであるから、長期の実践、模索、参考、対照が必要だ。私たちは今回のフォーラムを通して、会議に出席された他の都市の経験を学び、環境にやさしい都市の構築に専念するために、私たちのアイデアや考えを改善したい。

构建环境友好型城市 促进经济社会持续发展
Construct environment-friendly city,
Promote sustainable development of economy and society
環境友好型都市を構築、経済社会の持続的発展を促進

乌鲁木齐市市长 吉尔拉·衣沙木丁
Mayor of Urumqi Jierla Yishamuding
ウルムチ市長 ジェルラ イサムディン



乌鲁木齐市概况 A Survey of Urumqi ウラムチ市概況	
行政区域总面积1.4万平方公里 The administrative area is 14,000 square kilometers. 行政区域總面積1.4萬平方公里 メートル	城市建成区262平方公里 The construction area is 262 square kilometers. 都市建成区面積262平方公里 メートル
总人口约300万 The total population is about 3,000,000. 全市總人口約300萬人	城市人口占90%以上 The urban population accounts for more than 90% of the total. 町人口は90%以上を占め

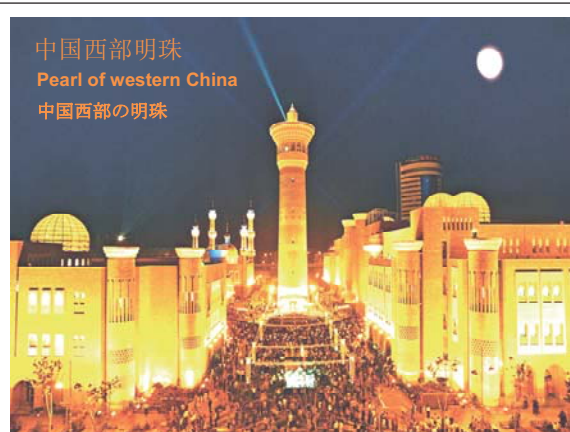
乌鲁木齐市概况

A Survey of Urumqi
ウルムチ市概況

乌鲁木齐市在全新疆地区生产总值及其他各项指标中占四分之一以上的位置，人均GDP达到4300美元。

The GDP and indices of Urumqi account for more than one fourth of the total in Xinjiang. GDP per capita is as much as \$ 4,300.

ウルムチ総生産額及び他の各指標は全新疆の1/4以上占め、一人当たりGDPは4,300ドルに達する



消费能力强，市场潜力大

Large consuming capacity and market potential
消費力が高い、市場の潜在力が大きい

口岸边贸优势突出

Prominent advantage of border trade at ports
国境貿易税関としての優位性が十分ある

交通区位优势明显

Clear superiority of traffic position
地域交通優位性が十分ある

地区竞争力强

Strong competitiveness of Urumqi
地域競争力が高い

一、优化城市功能布局，推进区域一体化

1. Optimize the function layout of urban area, promote regional integration

一、都市の産業立地を最善化、区域の一体化を推進

实施“南控北扩、东延西进”城市发展策略

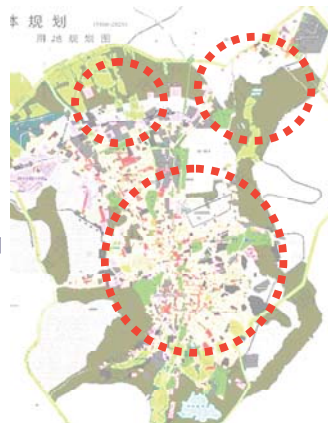
The implementation of urban development strategy—"control the south, enlarge the north, extend the east, advance the west".

南控北扩、东延西进という都市発展戦略を実施
 都市の発展は南への発展を控えて、北へ拡張、東へ市区を延ばし、西へ進む

“一个主中心、两个副中心”

One master and two assistants

一つの主中心と二つの副中心



二、坚持可持续发展，加快经济发展方式转变

II、Adhere to sustainable development and accelerate the transformation of economic mode.

二、 可持續發展を堅持、経済発展方式の転換を加速

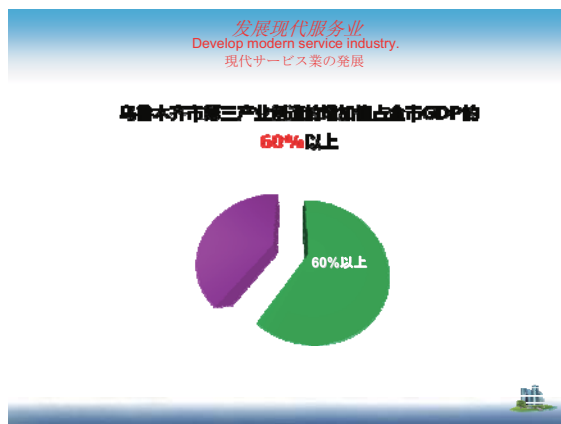


推进新型工业化进程
Promote the emerging process of new industrialization.
新型工业化を推進

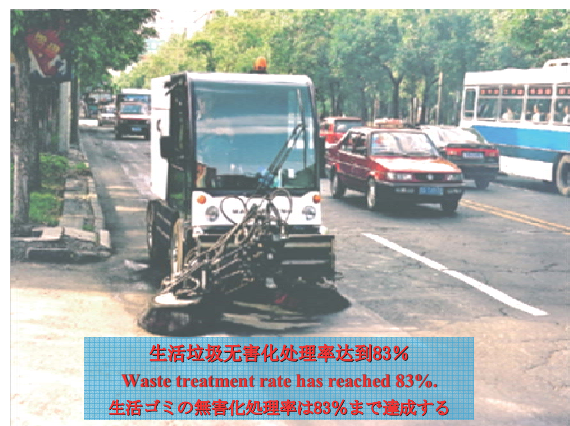
大力发展新材料、清洁能源、电子信息、生物医药等高新技术产业

Vigorously develop new materials, clean energy, electronic information, biological medicine, and other high-tech industries.

新しい材料、省エネルギー、電子情報、生物医薬などのハイテク産業を強力に発展する









- 供热企业脱硫除尘设施改造, 实现自动在线监测
- Transform facilities of desulfurization and dusting in heating enterprises to realize automatic online monitoring
- 供热企业脱硫除尘设施改造, 自动オンライン監視を実現

全市已完成了5个空气自动站、55套烟气在线监测系统建设

The city has completed five automatic air stations, 55 sets of smoke-line monitoring system construction.

全市ではすでに5つの空気自動ステーション、及び55セットの煙オンライン監視測定システムの建設を完成

- 建立环境许可证制度, 实现污染物排放量最控制
- Establish the system of environmental permit to achieve total control of pollutant discharge
- 環境許可証制度を導入、汚染物の全体の排出量への抑制を実現

- 治理车辆尾气排放, 提倡使用燃气车辆
- Control vehicle emission and promote the use of gas vehicles
- 自動車排出ガスを規制、LPガス自動車の使用を提倡

各类加气站75座

Various types of 75 filling stations have been built.

各類ガスステーション75所



谢谢!

Thank you!

ありがとうございます!

3. APCS 共同事業 : APCS Charm Hunting Workshop 3

まちづくり市民交流ワークショップ事業

“Creating New Value”

(1) スケジュール

9月29日	<p>9:00-</p> <ul style="list-style-type: none">●アジア太平洋都市サミット開幕式参加 (Team 福岡参加) <p>10:30-12:00</p> <p>「APCS Charm Hunting Workshop 3 “Creating New Value”」</p> <p>【Workshop の開会】</p> <p>①開会あいさつ</p> <p>大連市人民対外友好協会</p> <p>Team 福岡: 福岡アジア都市研究所</p> <p>②Session 1. 福岡市からの事例発表</p> <p>” The CBD(Central Business District) planning by citizen and government collaboration”</p> <ul style="list-style-type: none">・福岡市の概要 (URC)・天神における魅力づくりの取組 (We love 天神協議会)・Green Bird 福岡の活動とまちづくり (Green Bird 福岡)・博多における魅力ある駅づくり・にぎわいのあるまちづくり (URC/博多まちづくり協議会)・バンコクで行ったワークショップ成果の応用及び共働まちづくりについて (URC・福岡市役所) <p><昼食></p> <p>13:00-14:30</p> <p>③Session 2. 大連市の中心商業地区 (CBD) の現状と課題発表</p> <ul style="list-style-type: none">・大連市天津街における魅力づくり <p>15:00-17:00</p> <p>④天津街 Charm Hunting Tour : 120 分</p> <ul style="list-style-type: none">・大連市まちづくり担当者、まちづくりを行っている市民、観光事業者等の案内により、大連市の中心商業地区 (CBD)、とくに大連市が今後観光客の案内に力を入れている地区と一緒に歩いて回り、Team 福岡とバンコクからのゲストは写真を撮る
-------	--

9月30日	15:00-17:30 ⑤大連の魅力ワークショップ「Creating New Value」 ○魅力発表 <ul style="list-style-type: none"> ・「福岡から見た大連の素晴らしさ」 (Team 福岡 7名) ・「バンコクから見た大連の素晴らしさ」 (バンコクゲスト 2名) ・参加者がとった写真に説明をつけて発表する。1名あたり 10 枚。 ○写真配置地図作成比較(Photo Mapping) <ul style="list-style-type: none"> ・福岡チームと大連チーム、バンコクチームの3グループに分かれ、縦軸横軸（魅力的魅力的でない／伝統的現代的）に配置比較し、次の2つの作業によって分析を行う。 ・その配置の比較を通じて、両国の魅力に対する考え方の違いを把握し、集客交流策の方向性について意見交換する。 ・その分布のうち、最も優先的に改善すべき写真を40枚程度に絞り、その解決方法について、意見交換する。 ・このWorkshopを通じて、それぞれの都市の魅力に対する考え方を明らかにするとともに、政策に活かせる方策の検討を行う。
-------	---

（２）ワークショップ概要

事業目的

【政策への反映】

CBDエリアの魅力向上の為に訪問者である Team-Fukuoka が、大連の地元市民や行政担当者とは協力して「まちの魅力点検を行い」、今後の観光・まちづくり政策に生かせる情報を得る。

【観光PR】

Team-Fukuoka にメディア関係者を伴うことによって、訪問前訪問後のメディア露出を通じて、福岡市における大連の魅力PRを行う。

【交流】

青少年市民同士の交流を通じて、両市市民の友好の広がりを図る。

事業内容

【チーム福岡について】

福岡市CBDエリアにおいて、まちづくり活動に取り組む官民協働による都心のマネジメント団体「We Love 天神協議会」、「博多まちづくり推進協議会」と、都市の魅力向上とビジターズ・インダストリー振興のための市民人材育成講座「ビジターズ・インダストリー（VI）都市塾」、そして、「NPO 法人グリーンバード福岡」の4団体からなる。

【活動】

大連市のまちづくり・観光集客行政の担当者、及び市民とともにワークショップを行い、両市の魅力向上について意見交換し、今後の、両都市の政策、観光プロモーション戦略にその結果を生かすための方策を検討する。

バンコクからのスペシャルゲスト

2007年に行われた第2回ワークショップの主催都市である、バンコク都より4名が今回のワークショップに参加する。

(3) 福岡市・バンコク都からの提言

大連市最大の繁華街「天津街」地区を中心に街歩きを行い、その際に撮影した写真に基づき、福岡市から7名、バンコク都から2名が大連市の魅力について、またさらに魅力を向上させるために必要な事項について観光客・来街者の視点から発表した。

そこで以下のような意見があった。



- ・ 繁華街の歩行者天国に花壇や、ゆっくり休めるベンチが多かった。
- ・ 歩道沿いに植栽があり、緑が多いことに驚いた。
- ・ 中山広場など、人々が楽しめる公園が街中にあることがとてもよい。
- ・ 古い建造物が良い状態で維持されている。
- ・ 広告の方法が日本と異なり興味深い。
- ・ 歩行者天国には食べ物や土産物などの屋台がたくさん出ており、食べ歩きが楽しい。
- ・ 雑多の中ににぎわいがあり、街歩きが楽しい。

一方このような意見もあった。

- ・ 横断歩道があまり無く、横断時に歩行者が危険を感じる。
- ・ 交通量の多い車道のすぐ横にある歩道が狭く、通行時に危険を感じた。
- ・ 休日なのに観光案内所が閉まっていた。
- ・ 中国語のみの標識が多く、観光客向けに英語の表示も必要。

歩車分離式信号や歩道、横断歩道の整備、観光案内所のサービス充実、外国人観光客向けの英語標識の設置など福岡市、バンコク都からの提言に対して、大連市側は指摘された点に関して早急に改善し、今後も、福岡市、バンコク都を視察するなど交流を続けたいと応じていた。

(4) フォトマッピングセッションから気づいたこと

今回は街歩きの際に撮影した、大連の魅力、あるいは改善して欲しい点などの写真を国ごとのチーム（大連、バンコク、福岡）に分かれて、「魅力的  魅力的でない」、「伝統的  現代的」の4元のマップに写真を配置して、それぞれのチームのマップを比較した。価値観、文化歴史観の違いに気づいた。すると以下の点に気づいた。

- ・ バンコクのひとが「伝統的」と思った写真を、大連の人は「現代的」と考えていた。
- ・ 福岡の人たちが「現代的」かつ「魅力的」なエリアに配置した写真の多くには人がたくさん写っていた。福岡の人たちは人とのコミュニケーションの場・空間（ソフト面）に魅力を感じていた。
- ・ 一方大連の人たちの「現代的」かつ「魅力的」なエリアには、インフラが整然とした空間（ハード面）の写真が多く配置されていた。大連の人は、そのような風景を魅力的と考えていた。

こうした価値観、歴史的なものへの時間軸の違いに気づくためにも、相互比較アプローチがまちづくりにおいては大切だ。様々なバックグラウンド、異なる価値観、文化歴史観を考慮に入れた、観光客・来街者にとっても、住民にとっても魅力的なまちづくりをしていく必要がある。

Ⅲ 共同宣言

2008 年第 8 回アジア太平洋都市サミット市長会議共同宣言

2008 年 9 月 28 日から 10 月 1 日にかけて「2008 年第 8 回アジア太平洋都市サミット市長会議」が中国・大連市において行われた。参加した各都市及び地区は、相互の理解と友好を深めるため、双方向、また多方向にわたる友好交流と協力を強め、繁栄と発展を促進するとともに、次の共同認識に達した。

1. 各参加代表者は、「未来の挑戦に向けて、各都市及び地区は相互尊重、相互寛容の基本に立ち、協力を強め、共同の進歩を促進すべきである」との考えで一致した。
2. 友好交流と協力の発展については、各都市及び地区所在国が署名・発表した文書を基礎とし、各地区間の協力の意志を尊重する。
3. 様々な形で、ハイ・テクノロジー、港湾物流、経済貿易、行政管理等の分野の相互の交流と協力を推進する。
4. 環境保護、文化教育、スポーツ、観光、コンベンション等の面での友好的協力を積極的に進める。
5. 市民及び青少年の交流を積極的に促進するとともに、双方が興味を持つほかの面においても友好的協力を進め、相互の人の往来を積極的に後押しする。
6. 各参加都市と地区の指導者は、常に相互の交流と協力について会談、協議することとする。

IV 参加者名簿

■ 会員都市参加者

都市(国) / City (Nation)	役 職 / Title	名前 / Name
バンコク都 (タイ王国) Bangkok Metropolitan Administration (The Kingdom of Thailand)	事務次官補 Deputy Permanent Secretary for the BMA	Mrs. Wanvilai Promlakano
	技術協力課長 Chief, Technical Cooperation Section	Mr. Piset Aramraks
	観光発展部 Officer, Tourism Development	Mr. Peerapat Ketkosol
	国際関係部 Officer, Foreign Relations	Mrs. Bongkoch Suwanakam
	国際関係部 Officer, Foreign Relations	Mrs. Sirintarat Nimcharoen
	国際関係部 Officer, Foreign Relations	Miss. Lalida Pumkao
	都市計画部 City Planner	Miss. Sukontha Yimpong
	国際関係部 Officer, Foreign Relations	Miss. Narumon Keawchamnon
釜山広域市 (大韓民国) Busan Metropolitan City (Republic of Korea)	政務副市長 Deputy Mayor for Political Affairs	鄭樂亨 Mr. Jeong Lakhyeong
	国際交流担当 International Relations Office, Cultural and Tourism Bureau	朴東錫 Mr. Park Dong Seok
	事務員 Staff	金正和 Ms. Kim Jung Hwa
	市民公園造成担当 Green Zone and Parks Division, Urban Development Office	李善烈 Mr. Lee Sun Yol
	事務員 Staff	張承福 Mr. Jang Seung Bok
	通訳 (中国語) Interpreter (Chinese)	曹維鮮 Ms. Cho Yoo Sun
	通訳 (英語) Interpreter (English)	黃貞恩 Ms. Hwang Jeong Eun
大連市 (中華人民共和国) Dalian People's Government (People's Republic of China)	市長 Mayor	夏徳仁 Mr. Xia Deren
	副市長 Deputy Mayor	朱程清 Mr. Zhu Chengqing
	大連市政治協商会議副主席 Vice Chairman, Dalian City Committee of the Chinese People's Political Consultative Conference	施中岩 Mr. Shi Zhongyan
	大連市外事弁公室主任 Director-General, Foreign Affairs Office	王洪俊 Mr. Wang Hongjun
	大連市外事弁公室副主任 Vice Director-General, Foreign Affairs Office	史明強 Mr. Shi Mingqiang
	大連市人民対外友好協会副会長 Vice Chairman, Dalian People's Association for Friendship with Foreign Countries	呉智超 Mr. Wu Zhichao
	保税區管理委員会副主任 Vice Director, Dalian Free Trade Zone Administration	黃明 Mr. Huang Ming
	大連市計画局副局長 Vice Director-General, Bureau of City Planning	陳衛兵 Mr. Chen Weibing

■ 会員都市参加者

都市(国) / City (Nation)	役 職 / Title	名前 / Name
大連市 (中華人民共和国) Dalian People's Government (People's Republic of China)	大連市人民政府發展研究センター主任 Director, Dalian Municipal People's Government Development Research Center	李才 Mr. Li Cai
	甘井子区政府副区长 Deputy District Head, Ganjingzi District	郭崇河 Mr. Guo Chonghe
	大連高新技術産業園区管理委員会副主任 Deputy Director, Dalian High-tech Industrial Zone Administrative Committee	張克 Mr. Zhang Ke
	大連市教育局副巡視員 Vice Inspector, Bureau of Education	梁振林 Mr. Liang Zhenlin
	大連市金融工作弁公室副主任 Deputy Director-General, Dalian Municipal Finance Office	張兵 Mr. Zhang Bing
	開發区管理委員会副主任 Deputy Director-General, Dalian Economic and Technology Development Area Administration	宋曉波 Mr. Song Xiaobo
	大連市林業局副局長 Vice Director, Forestry Bureau	王長訊 Mr. Wang Changxun
	大連市人事局処長 Director, Personnel Bureau	劉文凱 Mr. Liu Wenkai
	沙河口区政府副区长 Deputy District Head, Shahekou District	夏春光 Mr. Xia Chungung
	大連市婦人連合会副主席 Vice Chairman, Women's Federation	成世玉 Ms. Cheng Shiyu
	中国共産党主義青年団大連市委員会副主任 Deputy Director, Communist Youth League of China Dalian Committee	李大民 Mr. Li Damin
	大連市對外貿易經濟合作局副巡視員 Vice Inspector, Foreign Trade & Economic Cooperation Bureau	梅玉正 Ms. Mei Yuzheng
	大連市衛生局副局長 Deputy Director, Public Health Bureau	王范茗 Ms. Wnag Fanming
	大連市文化局副書記 Deputy Secretary, Culture Bureau	呂守卒 Mr. Lu Shouzu
	中山区政府副区长 Deputy District Head, Zhongshan District	郭雲峰 Mr. Guo Yunfeng
	港湾局局長 Director-General, Dalian Harbor Administration	才力 Mr. Cai Li
	大連市都市・農村建設委員会副巡視員 Vice Inspector, Urban & Rural Construction Committee	陳興 Mr. Chen Xing
	都市建設管理局副巡視員 Vice Inspector, Urban Construction Bureau	崔克義 Mr. Cui Keyi
	大連市經濟委員会副主任 Deputy Director, Economic Commission	劉江軍 Mr. Liu Jiangjun
	大連市環境保護局副局長 Vice Director-General, Environmental Protection Bureau	揚声亮 Mr. Yang Shengliang
	大連港集團副理事長 Deputy Director-General, Dalian Port Corporation Limited	朱宝学 Mr. Zhu Baoxue
	大連金钥匙广告有限公司社長 President	廉美花 Ms. Lian Meihua
	大連漫步广告有限公司編集長 Editor in chief, Dalian Manbu Advertising Co.,LTD.	笹淵桂

■ 会員都市参加者

都市(国) / City (Nation)	役 職 / Title	名前 / Name
大連市 (中華人民共和国) Dalian People's Government (People's Republic of China)	大連トステム建材有限公司董事・総経理 President, Tostem Housing Products (Dalian) Co., Ltd.	野澤徳則 Mr. Nozawa Tokunori
	キヤノン大連事務機有限公司部長 Manager, Canon Dalian Business Machines, Inc.	劉国璽 Mr. Liu Guoxi
	全日本空輸株式会社大連支店支店長 General Manager, All Nippon Airways Co., Ltd. Dalian Office	日野昭 Mr. Hino Akira
	新潟県大連経済事務所所長代理 Acting President, Niigata Economic & Trade Dalian Office	魏純勇 Mr. Wei Chunyong
	日本財産保険（中国）有限公司副社長 Vice president, Japan Property Insurance Company	田嘉銘 Mr. Tian Jiaming
	富山県大連事務所所長 Director, Dairen Office of Toyama Prefecture	Mr. 養口正浩
	株式会社 日本航空インターナショナル大連支店支店長 General Manager, Japan Airlines International Co., Ltd. Dalian Office	黒田篤 Mr. Kuroda Atsushi
	みずほコーポレート銀行（中国）有限公司 大連支店副支店長 Submanager, Mizuho Corporate Bank (China), Ltd. Dalian Branch	劉芝圃 Mr. Liu Zhipu
	秋田県貿易促進協会大連事務所顧問 Dalian Office, Akita Trade Promotion Association of Japan	Mr. 板垣隆
福岡市 (日本国) Fukuoka City (Japan)	大連神奈川経済貿易事務所所長 President, Kanagawa Economy & Trade Dalian Office	堀川富雄 Mr. Horikawa Tomio
	市長 Mayor	吉田 宏 Mr. YOSHIDA Hiroshi
	総務企画局国際部長 Executive Director, International Affairs Department, General Affair & Planning Bureau	山口 吉則 Mr. YAMAGUCHI Yoshinori
	住宅都市局都市計画部長 Executive Director, Urban Planning Department, Housing & Urban Planning Bureau	副島 広巳 Mr. SOEJIMA Hiromi
	総務企画局国際部国際課長 Director, International Affairs Department, General Affair & Planning Bureau	池田 澄男 Mr. IKEDA Sumio
	総務企画局国際部国際係長 Chief, International Affairs Department, General Affair & Planning Bureau	古賀 有子 Ms. KOGA Yuko
	住宅都市局都市計画部都市景観室計画係長 Chief, City Design Section, Urban Planning Department, Housing & Urban Planning Bureau	平野 慎一郎 Mr. HIRANO Shinichiro
	総務企画局国際部 Staff, International Affairs Department, General Affair & Planning Bureau	井上 聡子 Ms. INOUE Satoko
	総務企画局国際部 Staff, International Affairs Department, General Affair & Planning Bureau	中村 圭子 Ms. NAKAMURA Keiko
	総務企画局企画調整部 Staff, Planning & Coordination Department, General Affair & Planning Bureau	山脇 弘志 Mr. YAMAWAKI Hiroshi
	総務企画局国際部(通訳・中国語) Interpreter(Chinese), International Affairs Department, General Affair & Planning Bureau	千葉 由紀子 Ms. CHIBA Yukiko

■ 会員都市参加者

都市(国) / City (Nation)	役 職 / Title	名前 / Name
福岡市 (日本国) Fukuoka City (Japan)	総務企画局国際部 (通訳・韓国語) Interpreter(Korean), International Affairs Department, General Affair & Planning Bureau	朴龍得 Mr. PARK Yongdeuk
	総務企画局国際部 (通訳・英語) Interpreter(English), International Affairs Department, General Affair & Planning Bureau	田中 道子 Ms. TANAKA Michiko
広州市 (中華人民共和国) Guangzhou People's Government (People's Republic of China)	外事弁公室副主任 Vice Director-General, Foreign Affairs Office	劉保春 Mr. Liu Baochun
	計画局設計所副所長 Vice President, Design Office, Guangzhou Urban Planning Bureau	Mrs. 黎亦衆
	外事弁公室国際交流処長 Director, Division of International Relations, Foreign Affairs Office	Mr. 林奕孜
	計画局設計所部門部長 Division head, Design Office, Guangzhou Urban Planning Bureau	Ms. 許莉俊
	外事弁公室職員 Foreign Affairs Office	Ms. 黄瓊
	外事弁公室職員 Foreign Affairs Office	Ms. 武曉燕
ジャカルタ首都特別州 Jakarta Capital City Government (Indonesia)	都市間協力局国際機関・事業担当部長 Head, International Organization and Events Division, Inter-municipal Cooperation Bureau	Mr. Barani Manalu
濟州特別自治道 (大韓民国) Jeju Special Self-Governing Province (Republic of Korea)	国際諮問大使 Ambassador Advisor for International Relations	文河泳 Mr. Hayong Moon
	平和協力課交流協力担当課長補佐 Deputy Director, Peace and Cooperation Division	朴潤洙 Mr. Yoon-Soo Park
北九州市 (日本国) City of Kitakyushu (Japan)	副市長 Deputy Mayor	麻田 千穂子 Ms. Asada Chihoko
	企画文化局国際室国際政策課係長 Manager, International Policy Division, International Affairs Department, Planning and Cultural Affairs Bureau	加藤 紳明 Mr. Kato Nobuaki
	駐大連北九州市経済事務所 所長 Representative, Kitakyushu Business Promotion Office, Dalian	新田 龍二 Mr. Nitta Ryuji
	駐大連北九州市経済事務所 副所長 (通訳) Vice Representative, Kitakyushu Business Promotion Office, Dalian	呂 俐 Ms. Lu Li
	産業経済局産業振興部 部長 Executive Director, Industrial Promotion Department, Industry and Economics Bureau	窪田 秀樹 Mr. Kubota Hideki
	産業経済局産業振興部貿易振興課 係長 Manager, Trade Promotion Division, Industrial Promotion Department, Industry and Economics Bureau	田代 昇三 Mr. Tashiro Shozo
熊本市 (日本国) Kumamoto City (Japan)	副市長 Deputy Mayor	森田 弘昭 Mr. Morita Hiroaki
	産業政策課主幹 Assistant Director, Industrial Policy Section	森 博之 Mr. Mori Hiroyuki
	文化国際課 Cultural and International Affairs Section	北添 友子 Ms. Kitazoe Tomoko

■ 会員都市参加者

都市(国) / City (Nation)	役 職 / Title	名前 / Name
宮崎市 (日本国) Miyazaki City (Japan)	市長 Mayor	津村 重光 Mr. Shigemitsu Tsumura
	都市整備部景観課長 Division Chief, Landscape Division, City Maintenance Department	久保 三男 Mr. Mitsuo Kubo
	秘書広報課 課長補佐 Vice Division Chief, Secretariate and Public Relations Division	高島 弘行 Mr. Takashima Hiroyuki
	観光商工部観光課主任主事 Senior Staff, Tourism and Resort Section, Tourism Division	小野田貴哉 Mr. Onoda Takaya
長崎市 (日本国) Nagasaki City (Japan)	副市長 Deputy Mayor	椎木恭二 Mr. Shiinoki Kyoji
	都市計画部まちづくり推進室	山口緑朗 Mr. Yamaguchi Rokurou
浦項市 (大韓民国) Pohang City (Republic of Korea)	市長 Mayor	朴承浩 Mr. Park Seung-ho
	随行員 Attendant	金世堧 Mr. Kim Se-won
	経済通商局長 General Director, Economy & Industry Bureau	金淳泰 Mr. Kim Soon-tae
	国際交流担当 International Relations Section, Economy & Trade Division	鄭在和 Mr. Jeong Jae-hwa
	理事長 Director General	Mr. 朴世光
	広報企画担当 Publication and planning	Mr. 金東完
上海市 (中華人民共和国) Shanghai People's Government (People's Republic of China)	上海市政府副秘書長 Deputy Secretary-General, Shanghai Municipal People's Government	尹 弘 Mr. Yin Hong
	環境保護局局長 Director-General, Shanghai Environmental Protection Bureau (SEPB)	張 全 Mr. Zhang Quan
	環境保護局弁公室主任 Director, Administration Office, SEPB	楊春林 Mr. Yang Chunlin
	環境保護局汚染制御処処長 Director, Pollution Control Division, SEPB	蘇国棟 Mr. Su Guodong
	外事弁公室処長補佐 Assistant Director, Shanghai Foreign Affairs Office	黄仰水 Ms. Huang Yangbing
烏魯木齊(ウルムチ)市 (中華人民共和国) Urumqi Municipal Government (People's Republic of China)	市長 Mayor	吉尔拉・衣沙木丁 Mr. Jierla Yishamudin
	人民政府秘書長 Secretary General, Urumqi People's Government	李文富 Mr. Li Wenfu
	外事弁公室（僑務弁公室）主任 Director, Foreign Affairs Office	艾尼外尔・吾守尔 Mr. Ainiwaier Wushouer
	弁公庁秘書 Secretary	錢悦強 Mr. Qian Yueqiang
	外事弁公室礼賓処職員 Foreign Affairs Office	王宁 Mr. Wang Ning
	人民対外友好協会通訳 Interpreter, The Urumqi Peoples Association for friendship with foreign countries	艾力卡木 Mr. Aili Kamu
	外事弁公室礼賓処職員 Foreign Affairs Office	孜那提・阿不力克木 Ms. Zinnat Ablikim

■会員都市参加者

都市(国) / City (Nation)	役 職 / Title	名 前 / Name
ウラジオストク市 (ロシア) Vladivostok City (Russian Federation)	副市長 Deputy Mayor	Mr. Alexander Zubritskiy
	国際関係局長 Head, Foreign Relations Department	Mr. Viacheslav Kushnarev
	国際関係局専門員 Specialist, Foreign Relations Department	Ms. Alexandra Mudretsova
アジア太平洋 都市サミット事務局 (福岡アジア都市 研究所) (日本国) Asian Pacific City Summit Secretariat (Fukuoka Asian Urban Research Center) (Japan)	理事長 Director General	樗木 武 Mr. Chishaki Takeshi
	常務理事 Managing Director	桑田 哲志 Mr. Kuwata Tetsushi
	主任研究員 Senior Researcher	唐 寅 Mr. Tang Yin
	交流推進係長 Section Chief	山本 公平 Mr. Yamamoto Kohei
	研究主査 Chief Researcher	山下 永子 Ms. Yamashita Eiko
	研究主査 Chief Researcher	兼子 慎一郎 Mr. Kaneko Shinichiro
	係員 Staff	弥富 愛 Ms. Iyadomi Ai
	係員 Staff	大関 麻里子 Ms. Ozeki Mariko
	訪問研究員 Visiting researcher	長瀬 勇人 Mr. Nagase Hayato
	VI 都市塾／(株)九州インターメディア研究所 天神経済新聞編集長 Volunteer for Visitors Industry / Editor-in-Chief, r Tenjin Keizai Shimbun, KYUSHU INTERMEDIA LABORATORY. INC	森田 美代子 Ms. Morita Miyoko
	VI 都市塾／西日本鉄道(株) 新規事業室 Volunteer for Visitors Industry / Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.	洲脇 祐子 Ms. Suwaki Yuko
	We Love 天神協議会／西日本鉄道(株) 天神委員会 We Love Tenjin Association/Tenjin Committee, Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.	池田 明子 Ms. Ikeda Akiko
	We Love 天神協議会／(株)イムズ営業部 企画推進 チーム チーフ We Love Tenjin Association/Chief, Project Promotion Team, Sales Department, Inter Media Station IMS	山本 祐子 Ms. Yamamoto Yuko
	NPO 法人グリーンバード福岡 代表 President, NPO greenbird Fukuoka	木下 真裕 Mr. Kinoshita Masahiro
会員都市計		127

■ オブザーバー

都市（国）/ City (Nation)	代表者役職／Head of delegation	名前／Name
ボラレスガムワ市 Boralesgamuwa City (Sri Lanka)	市長 Mayor	Mr. K. D. Aruna Priyashantha
チェレムホボ行政地区 Cheremkhovo Area (Russia)	副区長 Vice Mayor	Ms. Svetlana Makhonkina
光陽市 Gwangyang City (Korea)	市長 Mayor	李聖雄 Mr. Lee Sung-woong
花巻市 Hanamaki City (Japan)	市長 Mayor	大石 満雄 Mr. Oishi Mitsuo
伊万里市 Imari City (Japan)	市長 Mayor	塚部 芳和 Mr. Tsukabe Yoshikazu
仁川市 Incheon City (Korea)	国際協力官室国際会議チーム長 Director, International Conference Team, International Affairs Department	姜明宗 Mr. Kang Myung-jong
ル・アーブル市 Le Havre	発展局局長 General Manager, Le Havre Développement	Mr. Gérard MERCHER
ロサンゼルス郡 Los Angeles County (USA)	Member, Los Angeles County Board of Supervisors ロサンゼルス郡管理委員会委員	Mr. Michael D. Antonovich
マンダレー市 Mandalay City (Myanmar)	市長兼都市発展委員会主席 Mayor, President of City Development Committee	Mr. Phone Zaw Han
ネピドー市 Naypyidaw City (Myanmar)	都市発展委員会副主任 Deputy Director, City Development Committee	Mr. U Thein Sint
プノンペン市 Phnom Penh City (Cambodia)	副市長 Deputy Mayor	Mrs. Touch Sarom
札幌市 Sapporo City (Japan)	総務局国際部長 Director, International Relations Department, General Affairs Bureau	高田 英基 Mr. Takada Hideki
シアヌークビル州 Sihanoukville Province (Cambodia)	州長 Governor	Mr. Sbong Sarath
トモホン市 Tomohon City (Indonesia)	市長 Mayor	Mr. Jefferson S. M. Rumanjar
トムスク市 Tomsk City (Russia)	第一副市長 The First Vice-Mayor	Mr. Nikolaychuk Nikolay
富山県 Toyama Prefecture (Japan)	富山県理事 財団法人とやま国際センター専務理事 Executive Director, Toyama Prefecture General Manager, Toyama International Center Foundation	佐々木 外志 Mr. Sasaki Sotoshi
ウランウデ市 Ulan-Ude City (Russia)	市長 Mayor	Mr. Gennady A. Aydayev
ヤンゴン市 Yangon City (Myanmar)	都市発展委員会主任 Director, City Development Committee	Mr. U Aung Than Win
財団法人自治体 国際化協会北京事務所 Council of Local Authorities for International Relations (Japan) Beijing Office	所長 Director	緒方 俊則 Mr. Ogata Toshinori
韓国地方自治団体 国際化財団北京事務所 Korea Local Authorities Foundation for International Relations Beijing Office	主席代表 Director General	李鍾成 Mr. Lee Jong Sung

■オブザーバー

都市（国）/ City (Nation)	代表者役職／Head of delegation	名前／Name
都市・自治体連合 アジア太平洋支部 United Cities and Local Governments Asia-Pacific Regional Section	事務総長 General Secretariat	Mr. Peter Woods
ロシア駐瀋陽総領事館 Consulate General of Russia in Shenyang	総領事 Consul General	Mr. Muravskiy Stanislav
中国遼寧省外事弁公室 Foreign Affairs Office of Liaoning Province	副主任 Vice Director-General	王之鋒 Mr. Wang Zhifeng
	オブザーバー計	23

V アジア太平洋都市サミット規約

第1章 総 則

(名称)

第1条 この組織の名称は、アジア太平洋都市サミット（英文名 Asian-Pacific City Summit。以下「都市サミット」という。）という。

(目的)

第2条 都市サミットは、都市化の進展に伴い発生する都市問題の解決に向け、アジア太平洋地域の諸都市が、都市の連携とネットワークの構築を目指すことにより、アジア太平洋地域の一層の発展と世界の恒久平和に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 都市サミットは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 市長会議の開催
- (2) 実務者会議の開催
- (3) その他都市サミットの目的を達成するために必要な事業

第2章 会員都市

(会員都市)

第4条 都市サミットの会員都市は、別表のとおりとする。

(代表者)

第5条 会員都市の代表者は、原則として市長又は市長相当職とする。

(加入)

第6条 都市サミットに新たに加入しようとする都市は、文書により、事務局に申請する。

- 2 事務局は、前項の申請について、その受理後最初に開かれる市長会議に付議する。
- 3 会員の資格は、市長会議における承認の日から効力を生じる。

(脱退)

第7条 会員都市は、事務局に、脱退を文書で申し出ることにより、脱退することができる。

- 2 脱退の効力は、事務局が前項の規定による申し出を受理した日から起算して30日を経過した日をもって生じる。
- 3 会員都市は、都市サミットを脱退した場合においても、この規約に基づき脱退前に負うこととされた義務については、脱退後も誠実にこれを履行しなければならない。

第3章 市長会議

(市長会議)

第8条 市長会議は、原則として、2年に1回開催する。

2 市長会議は、開催都市の代表者が招集する。

(構成)

第9条 市長会議は、会員都市の代表者をもって構成する。

2 市長会議には、会員都市の代表者が出席することを原則とする。ただし、代表者本人が出席できない会員都市は、代表者が他の者に権限を委譲し、出席させることができる。

3 会員都市以外の都市であっても、会員都市の紹介により、オブザーバーとして市長会議を傍聴することができる。

(権限)

第10条 市長会議の権限は、次のとおりとする。

- (1) 規約の改廃
- (2) 新規加入の承認
- (3) 市長会議及び実務者会議開催都市の決定
- (4) その他都市サミットの運営についての重要な事項の決定

(議長)

第11条 市長会議の議長は、原則として開催都市の代表者が務める。

(定足数及び議決方法)

第12条 市長会議の定足数は、全会員都市の2分の1とする。

2 市長会議の議決は、原則として、出席会員都市の過半数の賛成により議決する。

(経費)

第13条 市長会議の開催に関わる経費は、開催都市の負担とする。

2 市長会議の出席に関わる経費（渡航費及び滞在費）は、出席都市の負担とする。ただし、開催都市が、その判断により当該経費の一部を負担することを妨げない。

(開催都市の決定)

第14条 市長会議の開催を希望する会員都市は、事務局へ申請する。

2 事務局は、前項の申請について、その受理後最初に開かれる市長会議に付議する。

第4章 実務者会議

(実務者会議)

第15条 実務者会議は、原則として、2年に1回開催する。

2 実務者会議は、開催都市の代表者が招集する。

(構成)

第16条 実務者会議は、会員都市の実務者をもって構成する。

2 会員都市以外の都市であっても、会員の紹介により、オブザーバーとして実務者会議を傍聴することができる。

(権限)

第17条 実務者会議は、市長会議で決定された合意事項の実現を図るため協議を行う。

2 実務者会議の結果は、原則として、実務者会議の開催都市が市長会議に報告する。

(議長)

第18条 実務者会議の議長は、原則として開催都市が選出する者が務める。

(経費)

第19条 実務者会議に関わる経費は、第13条の規定を準用する。

(開催都市の決定)

第20条 実務者会議の開催都市の決定に関しては、第14条の規定を準用する。

第5章 事務局

(事務局)

第21条 都市サミットの事務局は福岡市に置く。

2 事務局の運営に要する経費は、福岡市が負担する。

3 事務局は、次の事業を行う。

(1) 会員都市間の連絡及び調整

(2) 市長会議、実務者会議、その他都市サミットの事業に関する連絡、調整及び支援

(3) 各種会議の記録や都市サミットの運営に関する情報の保管及び提供

(4) 都市サミットの運営全般に関する調査及び研究

(5) その他、都市サミットの運営に関する事項

4 その他、事務局の運営に関し必要な事項は、福岡市が別途定める。

附 則

この規約は、2002年8月31日から施行する。

附 則

この規約は、2008年9月29日から施行する。

別表

オークランド市（ニュージーランド）
バンコク市（タイ王国）
ブリスベン市（オーストラリア）
釜山広域市（大韓民国）
大連市（中華人民共和国）
福岡市（日本国）
広州市（中華人民共和国）
ホーチミン市（ベトナム社会主義共和国）
香港特別行政区政府（中華人民共和国）
ホノルル市（アメリカ合衆国）
イポー市（マレーシア）
ジャカルタ特別市（インドネシア共和国）
鹿児島市（日本国）
北九州市（日本国）
クアラルンプール市（マレーシア）
熊本市（日本国）
マニラ市（フィリピン共和国）
宮崎市（日本国）
長崎市（日本国）
那覇市（日本国）
大分市（日本国）
佐賀市（日本国）
上海市（中華人民共和国）
シンガポール共和国
ウルムチ市（中華人民共和国）
ウラジオストク市（ロシア連邦）
済州特別自治道（大韓民国）
浦項市（大韓民国）

Ⅶ 参考資料

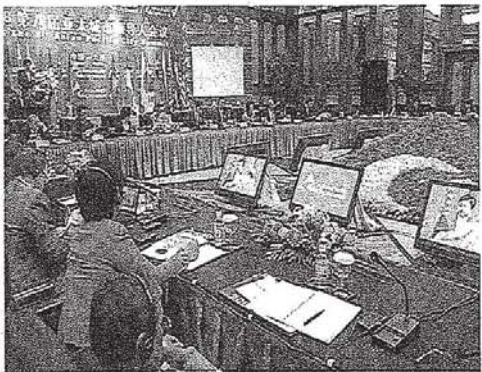
(1) アジア太平洋都市サミットの実施状況

■市長会議

開催地	開催日	全体会議テーマ	分科会テーマ	参加都市
第1回 福岡市	1994. 9. 22～ 9. 25	「アジア太平洋時代における都市の発展と人間居住環境との調和」	「都市と交通」 「都市と住宅」 「都市と環境・衛生」	11か国・地域 21都市
第2回 広州市	1996. 9. 27～ 10. 1	「21世紀における都市の発展」	「将来の都市計画と都市建設」 「現代都市の環境保護」 「都市の近代化と伝統文化」	11か国・地域 20都市
第3回 福岡市	1998. 7. 11～ 7. 13	「都市連携の将来展望」	「次世代教育の取り組み」 「保健医療体制の確立」 「都市と上下水道」	12か国・地域 23都市
第4回 釜山府	2000. 5. 13～ 5. 15	「新たな千年紀におけるアジア太平洋都市の経済発展」	「都市間交流と貿易の振興」 「観光産業の育成案」	11か国 22都市
第5回 福岡市	2002. 8. 30～ 9. 1	「21世紀型の新しい都市づくり～ガバナメントからガバナンスへ～」	「市民参加型都市づくり」 「顧客重視・成果重視の行政改革」 「e-ガバナンス・ITを開いた都市づくり」 「産学官の連携」	12か国 24都市
第6回 バンコク市	2004. 11. 30～ 12. 2	「持続可能な都市再開発：新しいアプローチ」	「新しい都市性、都市統治、住民参加」 「新たな行政経営：官民協力、万人のための機会構築」	10か国 14都市
第7回 ウルムチ市	2006. 8. 8～ 8. 10	「調和ある都市の発展」	「社会福祉」 「都市インフラの建設」 「新産業の開発」	5か国 13都市
第8回 大連市	2008. 9. 28～ 9. 30	「アジア太平洋先進都市～環境、資源、文化及び産業に関する新思考～」	「アジア太平洋をリードする都市の地域的責任と地域協力」 「現代都市資源の利用と管理」 「都市における経済社会の持続可能な発展と環境保護」 「現代都市文化の継承とイノベーション」 「自然の恵みと都市産業の選択」 「知識所有権の保護」 「都市生態の保護」 「都市の交通」	11か国 39都市・行政 地区

■実務者会議

開催地	開催日	テーマ	参加都市
第1回 福岡市	1995. 10. 26～10. 27	「アジア太平洋地域の都市における交通マネジメント」 (交通運営施策及び需要の抑制)	10か国・地域 20都市
第2回 福岡市	1997. 11. 26～11. 28	「ごみの処理処分」 (持続的発展をめざした環境への取り組み)	9か国 18都市
第3回 福岡市	1999. 11. 30～12. 2	「安全な水道水の供給」	10か国・地域 18都市
第4回 釜山府	2001. 9. 6～9. 8	「アジア太平洋都市間の観光交流の拡大方策」	7か国 17都市
第5回 熊本市	2003. 11. 9～11. 10	「市民協働の街づくり」	9か国 18都市
第6回 ウルムチ市	2005. 9. 10～9. 12	「多元的文化を通じての都市の発展」	3か国 9都市
第7回 北九州市	2007. 7. 30～8. 1	「住民による美しいまちづくりと都市の魅力」	9か国 19都市



福岡市や宮崎市など、アジア太平洋地域の39都市の市長らが参加した第8回アジア太平洋都市サミットの全体会議
＝29日、中国・大連市

【大連（中国遼寧省）29日電】中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」は29日、参加した39都市の市長などが参加した全体会議を開き、国境を超えたアジア

太平洋地域の都市連携の強化を図るため、環境、頭、環境対策として「二

連市の夏徳仁市長が冒頭、環境対策として「二

相のブレインだった経済相のフレンツのジョン・ホーキンス氏は「理想

的都市とは何か」とのテーマで基調講演を行い「市民一人一人の発想が

重要で、その発想を自由に発信できる創造的な経済都市が必要」と強調した。

環境や観光協力推進

中国・大連

が生まれた」として、人と自然の調和した都市政策の必要性を訴えた。

同サミットには、事務局を置く福岡市の吉田宏市長のほか、北九州、長

崎、熊本、宮崎の各市が、韓国・釜山、中国・上海などとともに会員都市として、各市の景観、環境、水保全、環境改

市の一部店舗なども含まれる見通しだ。

約百の大型店に、は今年二回で改修、低価格品を

大連市の担当者、中央のから繁華街でま

ちづくりについて説明を受ける福岡から

の参加者たち

＝29日、大連市

が生まれた」として、人と自然の調和した都市政策の必要性を訴えた。

同サミットには、事務局を置く福岡市の吉田宏市長のほか、北九州、長

崎、熊本、宮崎の各市が、韓国・釜山、中国・上海などとともに会員都市として、各市の景観、環境、水保全、環境改

コンシェルジュ大連 2008 年11月号

What's Up Dalian

世界トップレベルの会議が開催された秋の大連

2008第8回アジア太平洋都市サミットが盛大に開催

＝29日、中国・大連市

1994年福岡市の呼びかけで設立され、相互協力、都市の発展のためのネットワークをさらに推進することをめざす

「アジア太平洋先進都市一環、資源、文化および産業に関する新視座」をメインテーマとし、経済グローバル

化の時代を背景に、アジア太平洋先進都市の地域における責任と地域間協力、現代の都市が発展過程において直面する問題および戦略的視座について

の議論を深めた。今回は26の会員都市のほか、アジア太平洋地域の約100都市のトップによる意見交換や、政治、経済、学術の分野で世界的な著名人

らによる特別招待講演、経済団体や企業を招き、企業によるプロジェクト展示など多岐にわたる活動も行な

われ、密度の高いものとなった。また期間中「都市広場」展示コーナーにて、

各都市のプロモーションの場が設けられたほか、福岡、大連、バンコクのグループからキャラクターが大連の街へ

繰り出し、それぞれの視点から感じた「大連」を表現しようというイメージ

マッピングなどユニークな活動も行なわれ、交流が深められた。

2008 第8回アジア太平洋都市サミットは9月28日～29日、中国遼寧省大連市で開かれた。会場は大連市東区にある大連市会館。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

＝2008 第8回アジア太平洋都市サミット会場入り

各都市のプロモーションの場が設けられたほか、福岡、大連、バンコクのグループからキャラクターが大連の街へ繰り出し、それぞれの視点から感じた「大連」を表現しようというイメージマッピングなどユニークな活動も行なわれ、交流が深められた。

2008 第8回アジア太平洋都市サミットは9月28日～29日、中国遼寧省大連市で開かれた。会場は大連市東区にある大連市会館。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。参加者は約1000人。会場の入り口には、各都市の旗が掲げられていた。

会議出席のため中国・大連訪問へ
福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

■西日本新聞2008 年10月1日朝刊



都市サミット関連 福岡市の官民組織

【大連（中国遼寧省）30日電】中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」の二環として開催されている「まちづくり市民交流ワークショップ」は30日、福岡市から参加した官民連携型のまちづくり組織「We Love天神協議会」のメンバーらが、二環の大連市内視察を踏まえて、外国人の立場でまちづくりの提言を行った。

ワークショップは、同サミットの成果を具現化する事業の一つ。タイ・バンコクでも同様の事業を過去に行っており、福岡から十一人、バンコクからも四人が参加した。九月二十九日の市内視

察では、大連側が最大の繁華街「天津街」地区などを案内。百年前のレトロ風の街並みを再現する再開発事業や、外国人観光客向けの標識を増やす

生かしてらおと、福岡市の市民グループが企画し、大連に住む十一人が参加した。

会議出席のため中国・大連訪問へ
福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

アジア太平洋地域の市長らが集まり、環境問題など様々な都市の課題について話し合った。今回は、40都市の市長らが参加する。

福岡市長 吉田宏市長は29日、中国・大連市で開かれた「第8回アジア太平洋都市サミット」に出席することになった。

吉田市長は29日、都市サミットに関する市の取り組みについて発表するほか、現地の社会基盤整備の状況などを視察する。28日に出発し、10月1日に福岡の予定。

■インターネット報道等



您的位置: >> 大连新闻 >> 天健原创
水, 今天的风力较小, 西北风转西到西南风, 3级4级, 最高温度23度, 最低气温10度, 天气状况: 晴

福冈市长吉田宏参观广电中心 同留日学生座谈

2008-09-30 17:35:55

天健网消息 (记者 韩晓菲) 9月30日下午, 正在大连出席第八届亚太城市领导人会议的日本福冈市市长吉田宏一行应邀来到大连广电中心参观, 并同部分大连籍留日学生代表座谈。这是吉田市长继去年11月后第二次作客广电中心, 市广电局副局长段文武、天健网总经理梁武等陪同吉田市长亲切会面。

会见中, 段副局长首先介绍了吉田市长曾任《西日本新闻》报社总编辑的背景, 并对吉田市长积极推动福冈同大连媒体间的合作表示钦佩。吉田市长详细地询问了大连广播、电视发展的相关情况, 对两市电视台方面的合作表示满意, 并积极推动两地电视方面的合作。他还表示, 大连同福冈距离并不远, 如果能够及时地把两地地生活资讯互换并传递给媒体及时传播, 那对于两市进一步交流与合作将会起到促进作用。

会见后, 吉田市长一行还饶有兴致地参观了电视台播控中心、天健有线电视台播出前编机房、电视台直播间等广电设施。在电视台播控中心机房, 吉田市长认真地伏在电脑前, 向工作人员详细地询问了播出控制流程。

随后, 吉田市长一行来到六楼会议室, 同早已等在那里的11名大连籍的、曾在日本留学的青年代表亲切见面并座谈, 同学们愉快地回忆起了在日本留学经历, 吉田市长则欢迎他们有时间再到福冈作客。本次座谈会是由日本亚洲未来机构策划主办。

大连电视台新闻广播总监姜美娜、都市广播总监姜杰等陪同会见。



吉田宏市长同段文武副局长在广电中心大楼前握手。



吉田宏市长向段文武副局长赠送的礼品十分喜爱。



吉田宏市长同天健网总经理梁武亲切握手。



吉田宏市长一行参观天健有线电视台前编机房。



吉田宏市长参观电视台直播间。



图为同留日学生座谈现场。



吉田宏市长认真听取同学们的自我介绍。

责编: 陈良 来源: 大连天健网

第八届亚太城市领导人会议在大连举行

http://news.sina.com 2008年09月29日 05:37 中国新闻网

中新网大连9月29日电 (宋太盛) 第八届亚太城市领导人会议于29日在中国美丽的海滨城市——大连举行。来自13个国家、42个城市领导人及200余位代表齐聚大连, 现场说法, 交流经验, 以解决伴随城市化发展而出现的城市问题。此次会议通过了韩国济州道、浦项两个城市的入会申请, 从而使该组织的会员城市达到28个。

本次会议的主题是“亚太领军城市—环境、资源、文化及产业新思维”。韩国前总理李明博、中国民对外友协副会长李建平应邀到会, 世界创意产业之父、英国经济学家约翰·霍金斯, 日本立命馆大学理事长长田丰臣分别做了主题为《文化驱动力、生态学创新》、《亚太地区的新课题和高级人才的培养》的基调演讲。

韩国前总理李明博说, 她深知关心东北亚的发展和相互交流的重要性, 也特别珍惜这次会议交流的机会。她认为, 21世纪的城市并不是一个封闭的空间, 是多种人与文化、产业共存与交流的紧密舞台。由于科学技术和通信的发展, 世界各城市随时都会被充分地联系在一起, 所有城市和地区的界限正在变得没有太大意义了。中国的问题就是韩国的问题, 韩国的问题也是中国的问题, 同时这些问题也是亚太地区的问题。因此, 大家应该以更加坦诚开放的态度相互听取意见, 探寻共同的蓝图和方案。

李明博称, 亚太地区正在尝试探索克服由于城市急剧膨胀而产生的人口流入和环境问题、各阶层矛盾的对策和构想, 亚太地区城市间在相互了解、增进友谊、促进合作、信息共享等方面取得了长足的进步, 21世纪的亚太地区将是主导世界经济的新中心。

中国民对外友协副会长李建平副在会上说, 众多亚太地区主要城市的领导人, 其中绝大部分城市由市长或副市长带队参加此次会议, 共商亚太地区经济、社会、文化发展大计, 探讨区域间交流与合作事宜, 具有特殊的历史意义。大家在环境、资源、文化及产业新思维的发展方面都有切身体会和独到见解, 通过沟通与交流, 相互借鉴成功经验, 碰撞出创新的思想火花, 获得宝贵的管理经验, 并把会议的成果转化为建设各自美丽城市、为城市居民谋福祉的方法和措施, 开创亚太地区城市共同创新、合作、发展的新局面。

李建平副会长说, 城市之间的交流与合作已经成为中国国家关系发展的重要方面。截至2007年末, 中国城镇化水平已达44.9%, 全国的城市总数达到656个。经过近35年的发展, 我国与世界各国建立的友好省州和友好城市已经达到1500对。

“亚太城市领导人会议”于1994年由日本福冈市发起, 截止今日, 会员城市有亚太地区13个国家28个城市, 中国的会员城市包括上海、广州、乌鲁木齐和大连。(完) 【编辑: 庄百万】

【言论发表评论】 【转载】 【打印】



广州市代表团赴大连出席“第八届亚太城市领导人会议”

2008年10月07日 09:36 来源: 市外办



9月28日至10月1日, 市外办副主任刘保春率广州市代表团赴大连参加了“第八届亚太城市领导人会议”, 市规划局代表在会上作了题为“创造历史文化名城的新活力——广州新河浦历史文化街区保护与更新简介”的发言, 得到了与会城市代表的一致好评。会议期间, 刘保春还分别与福冈市市长吉田宏、UCLG亚太区秘书长彼得·伍德(Peter Woods)等会面。

亚太城市领导人会议由民友好城市日本福冈市于1994年发起, 共有亚太地区的二十七个城市作为其会员城市, 中国会员城市有上海、广州、大连和乌鲁木齐, 第二届亚太城市领导人会议于1996年在广州召开。

【TOP】 【打印本页】 【关闭窗口】



亚太城市领导人会议在大连举行

作者：宋太盛 来源：辽宁新闻网 发布时间：2008年09月29日

中新网辽宁9月29日电 (宋太盛)第八届亚太城市领导人会议于9月29日在中国美丽的海滨城市——大连举行。来自十三个国家、42个城市领导人及200余位代表齐聚大连，现场说法，交流经验，以解决伴随城市化发展而出现的城市问题。此次会议通过了韩国济州道、浦项两个城市的入会申请，从而使该组织的会员城市达到28个。

本次会议的主题是“亚太领军城市—环境、资源、文化及产业新思维”。韩国前总理李明博、中国人民对外友好协会副会长李建平应邀到会。世界创意产业之父、英国经济学家约翰·霍金斯，日本立命馆大学理事长长田丰臣分别做了主题为《文化驱动力、生态学创新》、《亚太地区的主题和高级人才的培养》的基调演讲。



韩国前总理李明博 (摄影：宋太盛)



中国人民对外友好协会副会长李建平 (摄影：宋太盛)

大连新闻网 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

报道大连 新闻热线

大连大学 | 社会生活 | 民生资讯 | 时政 | 财经 | 品牌 | 体育 | 理论 | 权威发布 | 深度报道 | 专题

您现在的位置：大连新闻网 > 图片新闻

人性化的天津街还期盼更有秩序

2008-10-01 www.dlxw.com

来源：大连晚报



“天津街上设置了很多供市民休息的椅子，在这里我拍到一对老夫妻的温馨画面。我们福冈的商业街没有这样的设施，我希望以后在福冈也能看到这样的场面。”昨日下午，在瑞士酒店7楼的多功能厅，来自福冈市政府的代表展示了自己在大连天津街拍摄到的一幅照片。在这个主题为“评价城市魅力”的研讨会上，来自我市出席第八届亚太城市领导人会议的部分日本福冈和泰国曼谷的代表，就天津街的现状和发展畅谈了自己的感想。

“天津街上有个铜像，是身着传统服装的中国人制作一种传统食品。”当听到翻译介绍，这个铜像制作的是烤红薯时，来自泰国曼谷城市规划的一位女士表示，用这种方式来展示中国的文化，是非常好的方式和手段。“大连的大树和鲜花特别多，这跟日本的天神商业街很像。”“我受天神协议会的山本小姐介绍，天津街一带值得福冈学习的有很多，譬如马路中间设置的小吃街，多彩多形的城市标识，还有那些造型各异的路障以及射灯，以及供人休息的长条椅子……”

但是代表们也异口同声地对大连的交通问题提出了意见。“有好几次过马路的时候，我差点被车子撞倒。”有代表说。

图片说明：会场上以投影仪向与会者展示图片，图为天津街步行商业街。



世界创意产业之父、英国经济学家约翰·霍金斯 (摄影：宋太盛)



日本立命馆大学理事长长田丰臣 (摄影：宋太盛)

韩国前总理李明博说，她深知关心东北亚的发展和相互交流的重要性，也特别珍惜这次会议交流的机会。她认为，二十一世纪的城市并不是一个封闭的空间，是多种人与文化、产业共存与交流与联系舞台。由于科学技术和通信的发展，世界各城市随时都会被充分地联系在一起，所有城市和地区的界限正在变得没有太大意义了，中国的问题就是韩国的问题，韩国的问题也是中国的问题，同时这些问题也是亚太地区的问题。因此，大家应该以更加坦诚开放的态度相互听取意见，探寻共同的蓝图和方案。

李明博说，亚太地区正在尝试探索克服由于城市急剧膨胀而产生的人口流入和环境问题、各阶层矛盾的对策和构想，亚太地区城市间在相互了解、增进友谊、促进合作、信息共享等方面取得了长足的进步，二十一世纪的亚太地区将是主导世界经济的新中心。

中国人民对外友好协会李建平副会长的会上说，众多亚太地区主要城市的领导人，其中绝大部分城市由市长或副市长带队参加此次会议，共商亚太地区经济、社会、文化发展大计，探讨区域交流与合作事宜，具有特殊的历史意义。大家在环境、资源、文化及产业新思维的发展方面都有切身体会和独到见解，通过沟通与交流，相互借鉴成功经验，碰撞出创新的思想火花，获得宝贵的管理经验，并把会议的成果转化为建设各自美丽城市、为城市居民谋福祉的方法和措施，开创亚太地区城市共同创新、合作、发展的新局面。

李建平副会长说，城市之间的交流与合作已经成为中国国家关系发展的重要方面。截至2007年末，中国城镇化水平已达44.9%全国的城市总数达到656个，经过近三十五年的发展，我国与世界各国建立的友好省州和友好城市已经达到1500对。

“亚太城市领导人会议”于1994年由日本福冈市发起，截止今日，会员城市包括亚太地区十三个国家二十八个城市，中国的会员城市包括上海、广州、乌鲁木齐和大连。

[编辑：冯淑丽]

【大连晚报】 【关于晚报】

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

大连晚报 2008年10月1日 晴间多云 11℃~24℃ 返回首页

第 8 回アジア太平洋都市サミット報告書
2009 年 3 月発行

編集・発行 アジア太平洋都市サミット事務局
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-10-1
財団法人福岡アジア都市研究所内
TEL : (092) 733-5687
FAX : (092) 733-5680
E-mail : Asiasummit@mail.url.or.jp
HP : <http://www.unc.or.jp/summit>
印刷 株式会社 西日本高速印刷
